

第三款 質問書草案

三八四

國際勞務事務局ハ前款ニ記述シタル準備報告書ヲ總會ニ提出スル處アリタルカ尙事務局ハ總會ニ於ケル討議ニ資スル爲質問書草案ヲ作成シ之ヲ右報告中ニ添附セリ今質問書草案ノ全文ヲ掲クレハ左ノ如シ

強制労働ニ關スル質問書草案

第一

- 一、國際勞務總會ハ強制労働ノ使用ヲ制限シ且規律スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ
- 二、條約ノ目的ノ爲強制労働ヲ左ノ如ク定義スルコトニ同意セラルルヤ
「關係労働者カ自ラ任意的ニ申出ツルニ非スシテ不履行ニ對スル處罰ノ脅威ノ下ニ之カ遂行ヲ強要セラルル一切ノ作業又ハ勞務、
- 三、右條約ハ獨立國ノ自治國民カ其ノ國民自體ニ對シ強制労働ヲ課スルコトヲ妨ケストスルコトニ同意セラルルヤ
- 四、強制労働ノ使用ニ付責任アル官廳ハ當該地方ノ最高中央官廳タルカ又ハ望マシト認メタルトキハ

首府所在國ノ官廳タルヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

- 五、強制労働カ尙ホ現存スル地域ニ於テハ斯ル労働ノ組織ニ關シ未タ完全ニシテ精細ナル規則ノ設ケナキ限リ右ノ如キ規則ヲ採用スヘク且右規則ハ強制労働ニ關スル統計ノ蒐集及記録ニ付規定スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ
 - 六、權限アル官憲ハ強制労働ノ使用ヲ許可スルニ先チ
 - (一) 其ノ作業又ハ勞務ハ之ヲ爲スコトヲ要求セラルル社會集團ノ直接利益ニ關スルモノタルコト
 - (二) 作業又ハ勞務ハ現實ノ又ハ緊急ノ必要性ヲ有スルモノナルコト
 - (三) 當該地方ニ於テ類似ノ作業又ハ勞務ニ對シ通常支拂ハルル賃銀率ヲ支拂フモ其ノ作業又ハ勞務ノ遂行ニ付任意労働ニ依ルコト不可能ナリト認メラレタルモノナルコト
 - (四) 當該作業又ハ勞務ハ利用シ得ヘキ勞力及作業ヲ爲ス能力ヲ考慮シ關係現住民ニ對シ過重ノ負擔ヲ課スルモノニアラサルコト
 - ノ諸條件ヲ具備スルコトヲ要ストスルコトニ同意セラルルヤ
 - 七、權限アル官廳ハ如何ナル場合ニ於テモ私人、會社又ハ社會集團以外ノ團體ノ利益ノ爲ニ強制労働ヲ課シ又ハ課スルコトヲ許可スヘカラストスルコトニ同意セラルルヤ
- 斯ル強制労働ノ現存スル處ニ於テハ能フ限リ速ニ之ヲ廢止スル爲全力ヲ盡スヘシトノ意見ヲ有セラル

三八五

ルヤ

尙ホ右ノ廢止ノ爲時間上ノ制限ヲ定ムヘシト考ヘラルルヤ若シ然リトセハ如何ナル時間上ノ制限ヲ提議セラルルヤ

三八六

八、行政官廳ノ官吏ハ其ノ管轄下ノ住民ニ對シ何等カノ形態ノ勞働ニ從事スルコトヲ獎勵スヘキ義務アリト雖モ住民ヲ強要シテ私的使用者ノ爲ニ勞働セシムルコトヲ得ストスルコトニ同意セラルルヤ
九、個人又ハ會社ニ與ヘラルル免許ハ右ノ個人又ハ會社カ利用シ又ハ取引スル生産物ヲ得ル爲何等カノ強制方法ニ依ルコトヲ許容スルコトヲ得ストスルコトニ同意セラルルヤ且既ニ右ノ如キ免許カ現存スル場合ニハ

(イ) 此ノ種ノ如何ナル取極メヲモ終熄セシムルカ如キ方法ニ依ルノ外之ヲ更新スルコトヲ得ス
(ロ) 未タ更新期ニ達セサル現存ノ免許ニ付テモ同様ノ方法ニ依リ且能フ限り速ニ之ヲ變更スル爲凡ユル努力ヲ盡スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

十、強制勞働ノ不法ナル強要ハ之ヲ刑法上ノ犯罪トシテ處罰スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

十一、緊急(不可抗力)ノ場合ハ之ヲ條約ノ適用範圍外トスヘシト考ヘラルルヤ
若シ然リトセハ「緊急ノ場合」ヲ左ノ如ク定義スルコトニ賛成セラルルヤ

「本條約ノ目的上緊急ノ場合トハ戰爭及住民ノ全部又ハ一部ノ生存又ハ幸福ヲ危險ナラシムル一切

ノ事件例ヘハ火災、洪水、饑饉、地震、猛烈ナル傳染病又ハ家畜流行病、獸類又ハ昆虫類ノ害物ノ侵害等ノ發生シタル場合」

十二、部落ノ清掃、衛生、關係部落ノ隣接地ニ在ル動物ノ水飲ミ場、共同便所及墓地ヘノ通路ノ維持、部落ノ夜警、純粹ニ地方的利害關係アル小灌漑溝及河川ノ浚渫等ニ關スル輕少ナル勞務ハ該部落民ノ負フヘキ通常ノ義務ニシテ上掲ノ定義ノ意味ニ於ケル強制勞働タラサルモノト看做スコトヲ得トスルコトニ同意セラルルヤ

十三、強壯ナル成年男子以外ノ者ニ對シテハ如何ナル種類ノ強制勞働ヲモ之ニ課スルコトヲ得ストスルコトニ同意セラルルヤ

十四、強制勞働ニ服セシムル爲一部落ヨリ一時ニ徵集セラルル者ノ數ハ其ノ部落ニ居住スル強壯ナル成年男子ノ一定割合ヲ超ユルコトヲ得スト考ヘラルルヤ

十五、一切ノ種類ノ強制勞働ニ徵集セラルル一勞働者ノ通常ノ最長服役期間ハ十二ヶ月ノ一期間中ニ於テ六十日ヲ超ユルコトヲ得ス又非常ニ遠距離ヨリ勞働者ヲ移送スルヲ要スル如キ例外的ノ場合ニアリテハ十二ヶ月ノ一期間中ニ於テ六ヶ月ヲ超ユルコトヲ得ストスルコトニ同意セラルルヤ

後ノ場合ニ於テ一勞働者カ一ケ年中ニ其ノ年度ニ付定メラレタル通常ノ最長期間ヨリモ長キ期間服役シタルトキハ右勞働者カ服役シタル期間中ニ含マルル通常ノ最長期間ノ數ニ相當スル年數ノ間該勞働

三八七

者ヲ強制労働ヨリ免除スヘシト考ヘラルルヤ

十六、強制労働者ハ特別ノ必要アル場合ヲ除キ食物及氣候ヲ著シク異ニシ爲ニ其ノ健康ヲ害スル虞アルカ如キ地方ニ之ヲ移送スヘカラストスルコトニ同意セラルルヤ

尙ホ右ノ如キ移送ヲ行フ場合ニハ食物及氣候ノ變化ニ對シ漸次慣レシムルノ措置ヲ執ルヘシト考ヘラルルヤ

十七、強制労働者カ規則正シキ労働ニ慣レ居ラサル一切ノ場合ニ於テハ特ニ労働時間及必要ナル食事方法ノ改善ニ關シ之ヲ規則正シキ労働ニ慣レシムルノ措置ヲ執ルヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

十八、強制労働者ノ通常ノ労働時間ハ一日八時間一週四十八時間ヲ超過スヘカラス且超過時間ノ労働ニ對シテハ通常ノ労働時間ニ對スルヨリモ高率ノ報酬ヲ支拂フヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

十九、強制運輸労働者ノ場合ニ於テハ單ニ其ノ旅程ノミナラス道路ノ性質、季節、運搬物ノ重量其ノ他關係事項ヲモ考慮シタル上通常ノ日程ヲ平均八時間労働ニ適應セシムヘク且一日ニ付八時間ヲ超ユル行程ヲ課シタルトキハ通常ノ賃銀率ヨリモ高率ノ報酬ヲ支拂フヘシト考ヘラルルヤ

二十、左記ニ同意セラルルヤ

(一) 強制運輸労働者ヲ含ム強制労働者ニ對シテハ如何ナル場合ニ於テモ其ノ使用セラルル地方ニ於テ類似ノ労働ニ付通常支拂ハルル賃銀率ニ依リ賃銀ヲ支給スヘキコト

(二) 賃銀ハ労働者一人毎ニ支拂ヒ其ノ會長其ノ他ノ權力者ニ支拂フヘカラサルコト

(三) 作業場所ニ往復スルニ要スル日數ハ賃銀支拂ノ目的上之ヲ作業日數トシテ計算スヘキコト

(四) 賃銀中ヨリノ控除ハ諸税支拂ノ爲ニモ又ハ労働者ヲシテ作業ヲ遂行スル状態ヲ維持セシムル目的ヲ以テ給セラルル特殊ノ食物、被服又ハ設備等ノ爲ニモ又ハ工具類ノ供給ノ爲ニモ一切之ヲ行フヘカラサルコト

二十一、左記ニ同意セラルルヤ

(一) 権限アル官廳又ハ強制労働者ヲ使用スル官廳ハ労働者カ労働状態ニ基因スル災害又ハ疾病ニ因リ生計ヲ維持スル能力ノ全部又ハ一部ヲ失ヒタルトキハ其ノ者ノ將來ノ生計ニ對シ責任ヲ負フヘキコト

(二) 権限アル官廳又ハ行政官廳ハ死亡シ又ハ無能力トナリタル強制労働者ノ被扶養者ニ付テモ同様ニ其ノ生活ニ困窮シ居ラサルコトヲ確認スヘク必要ニ應シテハ其ノ生計ヲ保證スルノ措置ヲ講スヘキコト

二十二、任意労働ノ監督ノ爲ニ設ケラレタル現在ノ労働監督官廳ノ職務ヲ擴張シテ強制労働ノ監督ヲ行ハシムヘク又斯ル監督官廳無キトキハ強制労働ヲ取締ル規則ノ適用ヲ確保スル爲一切ノ場合ニ於テ他ノ適當ナル措置ヲ講スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

二十三、強制運輸労働者以外ノ強制労働者カ其ノ家庭ヨリ遠隔ノ地ニ在ル作業場所ニ於テ建設又ハ保存ノ事業ノ爲極メテ長期ニ亘リ滞留セシメラルル場合ニハ労働者ノ健康ヲ保證シ且必要ナル醫療ヲ確保スル措置ヲ講シ尙ホ特ニ

- (イ) 作業開始ノ前及服役中一定期間毎ニ労働者ノ體格検査ヲ行ヒ
- (ロ) 事故ノ發生ニ備フル爲必要ナル薬局及病院ノ設備ト共ニ適當ナル醫療班ヲ設ケ
- (ハ) 作業場所ノ保健状態、飲料水、食糧及必要ニ應ジ住居並ニ被服ノ供給ヲ確保スヘシ

トスルコトニ同意セラルルヤ
二十四、權限アル官廳ハ強制労働ノ方法ニ依ルコトヲ許可スルニ先チ上掲質問第二十三ニ記載セル一切ノ措置ヲ適當ニ講スルノ可能性ヲ確認スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

二十五、強制労働者カ作業場所ニ往復スル旅行ハ利用シ得ヘキ一切ノ運輸手段ヲ最モ完全ニ使用シテ其ノ旅行ヲ便利ナラシムヘキ行政官廳ノ費用ニ於テ且其ノ責任ノ下ニ爲サルヘキモノトスルコトニ同意セラルルヤ

私的企業ノ利益ノ爲ニ強制労働カ今尙ホ存在スル場合ニハ此等ノ旅行ノ費用ハ右企業側ノ負擔タルヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

強制労働ノ期間滿了ノ際自由労働者タラント欲スル労働者ニハ之ヲ許可スヘシトスルコトニ同意セラ

ルルヤ

二十六、人又ハ貨物ノ運送ノ爲ノ強制的勞務（荷物運搬夫、船頭其ノ他）ノ場合ニハ權限アル官廳ハ就中左ノ事項ヲ規定セル規則ヲ公布スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

- (イ) 體格検査カ可能ナル場合ニハ肉體上適當ナル旨ノ健康證明ヲ得タル成年男子ヲ限リ此ノ種ノ勞働ニ使用スヘキコト

(ロ) 荷物ノ最大重量

(ハ) 労働者ノ家庭ト服役地トノ最大距離

(ニ) 一ヶ月又ハ他ノ期間ニ付服役スヘキ最大日數

(ホ) 此ノ種ノ強制労働ヲ要求シ得ル者及之ヲ要求シ得ル限度

尙ホ右ニ關シ荷物ノ最大重量、労働者ノ家庭ト服役地トノ最大距離、一ヶ月又ハ他ノ期間ニ付服役スヘキ最大日數ヲ幾干ト提議セラルルヤ

二十七、權限アル官廳ハ左記ノ地方的ノ公ノ目的ノ爲強制労働ヲ要求スル權限ヲ地方下級官廳ニ委任スルコトヲ得ト考ヘラルルヤ

- (一) 地方道路ノ維持及掃除但シ主要道路及鋪礫道路ノ場合及道路ノ開設ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
- (二) 地方的目的ヲ有スル公共建築物（必要ト認メララルトキハ宿泊所ヲ含ム）ノ建設及維持

(三) 行政官廳ノ官吏ノ職務執行中ニ於ケル行動及行政官廳ノ必需品ノ移動ヲ容易ナラシムルニ必要ナル作業(運搬、食糧、糧秣及宿舍ノ提供)ニシテ權限アル官廳カ立法其ノ他ニ依リ決定シタルモノ

二十八、權限アル官廳ハ地方下級官廳ノ課スル強制労働ノ條件ニ付未タ精細ナル規定ノ設ケナキ限り之ヲ精確ニ規定スヘク且此等ノ條件ハ服役者ノ種類、各個人ノ最長服役期間、労働時間、賃銀、補償及監督ニ關シ權限アル官廳自體カ要求スル強制労働ニ付規定セルモノト同一タルヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

二十九、強制耕作ハ専ラ饑饉又ハ食糧供給ノ缺乏ニ備フル用意ノ手段トシテ且常ニ之ニ依リ生産セラレタル食糧ハ賃銀ニ代ヘテ之ヲ生産シタル各個人又ハ部落ノ所有ニ歸スヘシトノ條件ノ下ニ採用セラレヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

尙ホ強制耕作ハ如何ナル場合ニ於テモ輸出スル爲農作物ノ生産ヲ促進スル目的ヲ以テ之ヲ課シ又ハ教育ノ手段トシテ之ヲ課スルコトヲ得ストスルコトニ同意セラルルヤ

第二

國際労働總會ハ關係住民ニ對シ労働ヲ強制スルニ至ルカ如キ壓迫ヲ加フルコトヲ避クル目的ヲ以テ未開地域ノ經濟的開發ニ關聯シ重要ナル事項ニ付注意ヲ喚起セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ利用シ得ヘキ労働量及住民ノ労働能力並ニ生活上及労働上ノ習慣ノ急激ナル變化カ住民ノ社會狀態ノ上ニ及ホス惡影響等ノ諸點ハ經濟的開發ニ關聯シテ考慮セラルヘキ要件ナルコト及特ニ右ノ諸點ハ

- (一) 其ノ地域ニ於ケル工業、鑛山業及農業的企業ノ數及範圍ノ増加
 - (二) 許可セラルヘキ土民ニ非サル者ノ居留地
 - (三) 森林其ノ他ノ免許ニシテ獨占の性質ヲ有シ又ハ有セサルモノ
- 等ヲ決定スルニ際シ考慮セラルヘキ要件ナルコトヲ勸告中ニ於テ表示スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

第三

國際労働總會ハ住民ニ對シ經濟的壓迫ヲ人爲的ニ増加スルノ間接手段ニ訴ヘ特ニ

- (一) 私的企業ノ利益ノ爲ニ住民ニ労働ヲ強制スル意思ヲ以テ定メタル稅率ニ依リ住民ニ課稅スルコト
- (二) 土地ノ所有、占有又ハ使用ニ付不法ナル制限ヲ設ケテ獨立労働者ノ生活ノ樹立ヲ困難ナラシムルコト
- (三) 一般的ニ承認セラレタル浮浪ノ意義ヲ濫リニ擴張スルコト

(四) 他人ニ使用セラルル労働者ニ對シ他ノ労働者ニ比シ有利ナル地位ヲ與フル結果ヲ生スルカ如キ規則 ("Pass laws")ヲ設クルコト

等ニ依リテ賃銀労働ヲ求メシメントスルコトヲ非難セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

第四

國際労働總會ハ關係部落ノ食糧供給ヲ危険ナラシメサル程度ニ於テ強制労働ニ對スル要求ヲ取締ルコトノ必要ニ付注意ヲ喚起セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

第五

國際労働總會ハ男子ニ課セラルヘキ強制労働ニ關シ該労働ノ負擔カ婦人及兒童ニ及フコトナキ様凡ユル注意ヲ拂フヘキコトヲ勸告スヘシト考ヘラルルヤ

第六

國際労働總會ハ人又ハ貨物ノ運送ニ付強制労働ニ依ルノ必要ヲ減スル爲凡ユル努力ヲ拂フヘキコト及特ニ動物又ハ機械ニ依ル運輸方法ヲ利用シ得ル時及場所ニアリテハ強制労働ニ依ルコトヲ禁止スヘキコトヲ勸告スルコトニ同意セラルルヤ

第七

國際労働總會ハ他ノ職業又ハ一定ノ地域若ハ産業ニ對スル任意ノ労働移動ヲ阻止スル制限ヲ設クルコトヲ非難セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

トヲ非難セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

第四款 審議ノ經過

強制労働問題ニ關シテハ詮衡委員會ニ於テハ總會ニ於テ豫備的一般討議ヲ行ハスシテ直ニ委員會ニ附託審議セシムヘシトノ決定ヲ見其ノ旨六月一日ノ第五次總會々議ニ報告シタル處佛蘭西労働者側代表「ジューオー」氏ハ本問題ノ重要性ニ鑑ミ特ニ豫備的一般討議ヲ行フヘシト提議シ之ニ對シ政府側及使用者側ニ於テモ賛成シ結局右「ジューオー」氏ノ提議ハ大多數ヲ以テ可決セラレタリ仍テ六月三日午前午後ニ亘リ本問題ニ關スル一般討議ヲ爲シ然ル後ニ之ヲ委員會ニ附託セリ

委員會ニ於テハ六月一日午後ヨリ六月十五日午前ニ亘リ前後十一回ノ會議ヲ開キ事務局作成ノ質問書草案ヲ基礎トシテ審議ヲ進メタルカ右質問書草案ハ條約案ノ採擇ヲ目的トスル質問ト勸告ノ採擇ヲ目的トスル質問トヨリ成レル處委員會ニ於テハ右ノ双方ニ若干ノ修正ヲ加ヘテ可決シ之ヲ總會ニ報告セリ労働者側ハ委員會ニ於テ多數ヲ以テ可決セラレタル質問書ノ傾向夫レ自體並ニ團結ノ自由、八時間制、收税ノ爲ノ強制労働及統制機關ノ設置等ノ重大ナル點ニ於テ多數派ト意見ヲ異ニスルノ故ヲ以テ別ニ少數派報告ヲ提出セリ

尙ホ委員會ハ質問書ニ掲ケラルル強制労働以外ノ凡ユル形式ノ強制労働就中長期契約労働ノ廢止問題

ヲ近キ將來ノ總會ノ議題トスル爲調査ヲ行フヘシトスル趣旨ノ一決議案ヲ可決セリ
總會ニ於テハ六月十七日午後ノ第十八次會議、同第十八日午前ノ第十九次會議、同二十日午前ノ第
十三次會議及同午後ノ第二十四次會議ニ於テ委員會ノ可決セル質問書案及決議案ヲ審議セルカ質問書
案ニ付テハ條約案ノ採擇ヲ目的トスル部分ハ若干ノ修正ヲ加ヘラレタル上八十三票對十七票ヲ以テ又
勸告ノ採擇ヲ目的トスル部分ハ何等ノ修正モ加ヘラレスシテ夫レ夫レ採擇セラレ又決議案ニ付テハ六
十四票對二十一票ヲ以テ委員會案通り可決セラレ次テ本問題ヲ明年總會ノ議題トスルコトハ百一票對
十五票ヲ以テ可決セラレタリ

第二節 總會ニ於ケル一般討議

前述シタルカ如ク強制労働問題ニ關シテハ六月三日午前及午後ノ總會第六次及第七次會議ニ於テ一般
討議行ハレタルカ今主ナル討論者ニ付其ノ論旨ヲ記セハ左ノ如シ
葡萄牙政府側代表「ド、クエヴェド」氏ハ質問書案ヲ見ルニ強制労働トハ一般ニ行ハルルモノヲ指スマ
或ハアル特殊ノ場合ニ課セラルル懲罰ナリヤ明瞭ナラス若シ後者ノ意味ニ於ケルモノナラハ葡萄牙ニ
於テハ既ニ五十年前ニ法律ヲ以テ之ヲ廢止シタリ次ニ問ハントスル處ハ強制労働ハ歐洲ニ適用セラ
ルルヤノ問題ナリ更ニ forced labour トハ何ソヤ compulsory labour トハ何ソヤ右ハ兵役ヲ含ムヤノ問

題ナリ何レニスルモ強制労働ナル文字ハ誤解ヲ生セシムル虞アリ凡ユル文明國ニ於テハ義務労働存ス
文明ハ或ル程度ノ強制ヲ要求ス然レトモ之ヲ以テ強制労働ナリト謂フハ當ラス文明國カ文明ノ程度低
キ國家ニ文明ヲ輸入スルニ當リテハ其ノ利益ヲ受クル國民ニ對シテ或ル程度ノ労働ヲ要求スルコトヲ
得ヘシ又原始的民族ニ對シテハ労働ヲ教育セサルヘカラス故ニ餘リニ嚴格ナル法規ヲ制定スルニ至ラ
ハ却テ其ノ實施ヲ困難ナラシムルニ至ルヘシ然ラスンハ世界ヲ通シテ文明ノ進歩ハ脅威ヲ蒙リ文明國
ハ人道的觀念ノ爲ニ却テ人道的結果ヲ齎ラシ得サルニ至ルヘキナリ葡萄牙ハ強大ナル植民地國ニシテ
由來亞細亞、亞弗利加、大洋洲ニ於テ又嘗テハ米國ニ於テ「アルブケルク」及「アルメダ」ニ依リ定メ
ラレタル文明ノ法則ヲ行ヒ來レリ葡萄牙ハ其ノ葡萄牙人タルト土民タルトニ依リテ何等ノ差別待遇ヲ
爲サス然レトモ國家ハ其ノ保護ノ下ニ在ル國民ヲ啓發スルノ權利ヲ有ス之ニ對シテ不必要ナル制限ヲ
加フルハ不可ナリ又國家ハ其ノ國民ニ對シテ労働ヲ要求スルノ權限ヲ有セサルヘカラス固ヨリ國家カ
其ノ行政ヲ行フニ當リテ不必要ナル強制力ヲ用フルハ不可ナリ而シテ葡萄牙ノ労働法制ハ不必要ナル
強制方法ヲ許ササルノミナラス土民ニ對シテ凡ユル保護手段ヲ規定セリ要スルニ葡萄牙ノ植民地ニハ
質問書ニ規定スルカ如キ強制労働ハ存セス唯一時ノ事情ニ應スル懲戒的労働存スルノミナリト述ヘタ
リ

印度労働者側顧問「シヴァ、ラオ」氏ハ強制労働問題ニ利害關係アル有色労働者及土民ハ實ニ世界ノ白人

ノ人口ヲ凌駕セリ即チ英佛白ノ三國カ亞弗利加ニ於テ有スル植民地ニハ九千萬ノ人口アリ亞細亞ニハ約二千五百萬ノ土民アリ蘭領東印度ニハ五千萬、濠洲ニハ一千萬ノ勞働者アリ從テ印度、支那及日本ニ於ケルモノヲ除クモ猶ホ右ノ如キ莫大ナル人口ニ達ス而シテ事務局作成ノ準備報告書ヲ見ルニ之ニ記載セラレタル資料ニ依リテ直ニ結論ヲ下スハ甚タ危險ナルコトヲ感ス蓋シ各國政府カ事務局ニ對シテ資料ヲ提供スルニ當リテ實情ヲ胡魔化シタリト認メサルヲ得サレハナリ印度ニ付見ルモ或ル程度ノ強制勞働カ或ル地方ニ存在スルニ拘ラス報告書ニハ何等ノ記載ナシ而シテ或ル地方ニ於テハ官吏ノ有スル強制勞働使用權ヲ制限スル法規カ存スルモ實際ニ於テハ其ノ法規ハ勵行セラレサルカ如シトシ次テ英領印度地方ニ於ケル茶園及珈琲園ニ於テハ自由契約ノ形式ヲ採レルモ勞働者カ一度耕地ニ連レ込マルルヤ雇主ヲ變更スルコトモ家庭ニ歸ルコトモ能ハスシテ男モ女モ子供モ陋屋ニ群居ヲ餘義ナクセシメラルル状態ニシテ之ヲ以テ猶自由勞働ト稱スルコトヲ得ヘキヤトシ轉シテ本問題ヲ討議スルニ當リテ最モ關係深キ有色人種ヨリノ代表者ノ鈔キコトヲ遺憾トス國際勞働總會ノ組織ニ關スル此ノ欠陥ハ成ルヘク速ニ之ヲ匡正セラレンコトヲ希望ストシ更ニ阿弗利加ニ於テハ白人間ニ完全ナル自治ヲ要求スルノ聲高マリツツアルカ若シ之カ實現セラルルニ至ラハ阿弗利加ニハ自治ノ名ノ下ニ少數ノ白人カ幾百萬ノ土民ヲ統治スル寡頭政治ヲ見ルコトトナルヘシ余ヲシテ云ハシムレハ歐洲ノ軍國的国家ハ世界ノ凡ユル地方ニ於テ植民地ノ開發ナル美名ノ下ニ強制勞働ヲ行ヒツツアリト爲シサレハ本總會ニ

於テハ強制勞働ヲ全廢スヘキカ將又制限ニ止ムヘキカヲ問ハントスルモノナリ余ハ總會ノ據テ立ツ正義ト人道トノ根本原則ノ下ニ強制勞働ヲ過去ノモノタラシメンコトヲ切望スト述ヘタリ

印度政府側代表「チャタージ」氏ハ「シヴァ、ラオ」氏ハ印度ニ於テ今尙ホ強制勞働カ行ハレツツアリト述ヘタルモ印度ニ於テハ既ニ法律ヲ以テ強制勞働ヲ禁止セリ余ハ印度政府代表トシテ理事會ニ於テモ本問題ヲ國際勞働總會ノ議題トスルコトヲ主張シ從テ強制勞働ニ關シテハ常ニ同情的態度ヲ取リツツアルモノニシテ此ノ重要ナル問題ノ解決ニ依リ幾千萬ノ勞働者ノ利益ヲ増進スルコトヲ望ム點ニ於テ「シヴァ、ラオ」氏ト全然意見ヲ同ウスルモノナリト述ヘタリ

佛蘭西勞働者側代表「ジューオー」氏ハ本問題ニ關シテ本年ハ單ニ質問書ヲ作成スルニ止マルカ各國政府ヲシテ回答ヲ容易ナラシムル爲ニハ質問書ハ能フ限り精細ナルコトヲ要ス各國政府カ強制勞働ノ問題ニ對シテ如何ナル態度ヲ取ルモ我々勞働者トシテハ凡ユル強制勞働ノ全廢ヲ主張スルモノナリ或ハ強制勞働ハ土民ノ文化ヲ高メ之ヲ教育スル爲ニ文明ノ要求スル處ナリト論スル者アルヘキモ余ハ問ハントス強制勞働ノ方法ヲ以テシテ彼等ニ勞働ヲ教育スルコトヲ得ヘキカト更ニ彼等ヲ其ノ家庭ヨリ引離シ未知ノ土地ニ連レ行キテ彼等ヲシテ好シテ勞働ニ向ハシムルコトヲ得ヘキカト否強制勞働ハ凡テ彼等ヲシテ勞働ヲ嫌忌セシムルモノナリ又論者ハ強制勞働ハ例外ノ場合ニノミ認メラルヘキモノナリト謂ハン然レトモ余ハ右ノ例外ノ場合カ原則トナルヘキコトヲ虞ルルモノナリ余ハ凡ユル形式ノ強制

勞働ヲ全廢シ之ニ對シテハ例外ヲ認メサランコトヲ要求ス土民ニ對シテ爲スヘキコトハ唯其ノ智的標準ヲ高ムルニ在ルノミナリ最後ニ國際的規則ヲ以テ植民地國家ノ權能ヲ侵害スルコトヲ得ストスル議論ニ對シテハ若シ然リトスレハ我々ノ努力ハ全ク徒勞ニ歸スルモノナリト答ヘントス本問題ハ實ニ人道問題ニシテ國家的及個人的利害關係ヲ超越セル國際的見地ヨリ決定スヘキモノナリト斷セリ

西班牙政府側代表「ガスコン、イ、マリソ」氏ハ強制勞働ハ勞働者ニ對シテ教育的效果ヲ有スト謂フ者アルモ斯ル效果ヲ有セサルノミナラス却テ土民ヲ衰微セシムル場合尠カラス次ニ質問書案第一部第三即チ「右條約ハ獨立國ノ自治國民力其ノ國民自體ニ對シ強制勞働ヲ課スルコトヲ妨ケストスルコトニ同意セラルルヤ」ノ中ニハ矛盾ノ點アルカ如シ又總會カ強制勞働ヲ制限スル條約ヲ採擇スルトキハ強制勞働ノ存續ヲ承認スルコトトナルヘシ吾人ハ強制勞働カ永久ニ存在スルコトニハ反對ナリ然レトモ義務勞働ハ全ク之ト異リ或ル場合ニハ承認スルコトヲ得ヘシ或ル論者ハ凡テノ文明國家ハ勞働ヲ以テ國民ノ義務ナリト述ヘタルカ例ヘハ勃牙利ニ於テハ勞働ハ凡テノ市民（婦女子ヲ含ム）ノ義務ナル旨ヲ定ムル法律アルモ右ハ植民地ニ於ケル強制勞働トハ全然異ルモノナリ余ハ強制勞働ノ問題ニ付テハ條約案ヲ作成シ之ニ依リテ公益事業ノ如キ例外ノ場合ニ於テノミ之ヲ認ムヘキモノナリト思惟ス吾人ノ目的ハ強制勞働カ經濟的理由ノ爲ニ必要ナリトセラルル現狀ヨリ勞働者カ勞働ノ自由ヲ有スル時代ヘノ推移ヲ容易ナラシムルニ在リ西班牙ニ付テ云ヘハ西班牙カ米國ニ於テ植民事業ヲ行ヒツツアリ

タル時早ク十六世紀中葉以前ニ土民勞働者ノ保護ニ關スル法制ヲ設ケタリ例ヘハ鑛山ニ於テハ強制勞働ハ禁止セラレ勞働者ハ一日八時間ノ勞働ニ服シタリ斯クノ如クニシテ二十世紀ニ至リ國際聯盟ニ依リ定メラレタル原則ハ西班牙ニ於テハ既ニ十六世紀ニ行ハレツツアリタリト述ヘタリ

白耳義使用者側顧問「ケーアン」氏ハ使用者團ヲ代表シテ本問題ハ道德的及經濟的基礎ヲ有ス即チ一方ニ於テ植民地國ハ其ノ保護ノ下ニ在ル人民ノ道德的智的社會的標準ヲ高ムルノ義務ヲ有スルト共ニ他方ニ於テハ植民地ノ隱レタル資源ヲ開發スルノ義務ヲ有ス文化事業ハ植民地ノ經濟發展ニ依リ維持セラルルコトヲ要スルト共ニ植民地ノ繁榮ハ土民ノ文化ノ向上ト相俟テ達セララルモノナリ而シテ此ノ二ノ政策ノ爲ニハ自由ナル土民勞働ノ供給ヲ必要トス使用者團ハ私人ノ利益ノ爲ニスル強制勞働ハ嚴ニ禁止セララルヘキコトニ意見ノ一致ヲ見タリ使用者團ハ質問書案ヲ興味ヲ以テ研究シ委員會ニ於テ良好ナル結果ニ到達スルコトニ助力ヲ惜マサルモノナリ尙ホ使用者團ハ委員會ニ對シテ數個ノ提案ヲ爲スヘシ例ヘハ實益少ナキ點或ハ植民地開發ノ特殊事情ニ合致セサルカ如キ點ノ削除ヲ求ムヘシ然レトモ委員會ノ事業ニ對シテハ忠實ニ協力スヘシト述ヘタリ

本邦勞働者側代表松岡駒吉氏ハ日本語ヲ以テ左ノ如キ演說ヲ爲シタリ

強制勞働ニ關スル質問書案ノ第一問ニ對スル修正ノ提議ニ就テ云ハンニ余ハ此ノ決議ノ趣旨ハ強制勞働ノ制度ヲ制限スルニ非スシテ之ヲ全廢スルニ在ルコトヲ主張セント欲ス從テ第一問ノ趣旨ハ之

ヲ根本的ニ變更スヘキナリ余カ此ノ立場ヲ主張スル理由ハ左ノ如シ即チ第一ニ最モ開化セル國ニ於テスラ勞働階級ハ未タ賃銀奴隸タル地位ヨリ脱却スルコトニ於テ成功セス強制勞働カ理論的ニ存在セサル日本ニ於テスラ「監獄部屋」制度トシテ廣ク知ラルル契約ノ名ノ下ニ行ハルル一種ノ強制勞働ノ存在スルコト事實ナリ勿論之ハ法律ニ依リ禁止セララルル處ナリ余ハ常ニ法律上禁止セララルルニモ拘ラス存在スル此ノ種ノ勞働ノ廢止ヲ主張シ來ルルヲ以テソレ丈ケ益々強ク強制勞働廢止ノ一般原則ヲ支持スルモノナリ但シ余ハ茲ニハ一般ニ解セラルルカ如キ強制勞働ノ根本問題ニ限局スヘシ若シ既ニ勞働ハ商品ニ非ストノ原則ヲ樹立セル國際勞働機關カ同時ニ強制勞働ヲ制限シ且規律セントスルコトニ依リテ強制勞働其ノモノヲ認ムルナラハソハ國際勞働機關カ自殺ヲ爲スコトヲ意味スルニ外ナラス第二ニ余ハ若シ二十世紀ニ於テ諸強國民カ政治的ニノミナラス又經濟的ニモ弱小國民ヲ搾取スルナラバソハ捨置キ難キ恥辱ナリト思惟ス而シテ若シ總會ニシテ強制勞働ニ關スル質問書案ノ第一問ヲ其ノ儘ニ認ムルナラハソハ有色人種ノ憤怒ヲ誘致スルノミナラス全人類ノ非難ヲ招カスルモノナルヘシ特ニ余ハ白色人種ヲ代表スル政府及使用者ノ代表者ニ訴ヘントス諸賢ハ今日此處ニ優越ノ地位ニ立チ世界文明ノ代表者ナリ余ハ諸賢ニ對シ諸賢カ保持スル誇ルヘキ地位故ニ此ノ不名譽ナル強制勞働制度ヲ廢止センコトヲ望ムモノナリ

濠洲政府側代表「グランヴィル、ライリー」氏ハ濠洲ニ於テハ人口少ナシト雖モ如何ナル種類ノ強制勞働

モ嘗テ存シタルコトナクシテ現在ニ及ヘリ但シ濠洲ノ管理ニ屬スル或ル地方ニ於テハ此ノ問題ハ起リ得ヘシ例ヘハ「バプア」ニハ道路事業ニ付強制勞働ト稱シ得ヘキ制度アリ又運輸勞働ニ付テモ強制方カ認メラルル場合ナキニ非ス「ニュー、ギニア」ニ於テハ強制勞働ハ全ク行ハレサルモ之カ爲ニ運輸交通上多大ノ不便ヲ生スルコトアリ尙ホ土民勞働ノ強制ハ實際ニ於テハ土民自身ニ依リ行ハレツツアルコトニ注意スヘキナリ余ハ強制勞働ノ濫用ニ對シテ保障ヲ設クルコトノ必要ハ之ヲ認ムルモ條約ノ採擇ニ依テ未開發地域ノ行政權ヲ制限スルコトニハ賛成スルコトヲ得ス尙ホ「バプア」及「ニュー、ギニア」ニ行ハルル勞働ニシテ土民ヲシテ充分ナル食糧ヲ得シムルコトヲ目的トスルモノアリ右ハ強制ヲ用キスシテハ到底行ハレ難キモノナリ若シ強制耕作ヲ行ハサレハ土民ハ勞働ヲ爲サシテ餓死スル外ナシ故ニ總會カ斯クノ如キ特殊ナル場合ニ於テ強制勞働ヲ認メ之ニ關スル質問書ヲ作成スルコトニ付テハ異議ヲ有セスト述ヘタリ

英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ本問題ニ關シテハ其ノ國家ヲ異ニシ團體ヲ異ニスルニ從ヒ各種ノ意見アルカ如シト雖モ猶ホ其ノ根本ニ於テ一致點ヲ發見スルコトハ決シテ困難ニ非ス即チ吾人ハ何人ト雖モ強制勞働ヲ欲セサル點ニ於テハ意見ヲ同ウスヘシ茲ニ於テ注意ヲ要スルコトハ條約ト平和條約第四百二十一條トノ關係ナリ同條ニ依レハ本條約ヲ一定ノ領域ニ適用スルト否トハ全ク批准シタル締盟國ノ自由ナルカ余ハ茲ニ吾人カ留意セサルヘカラサル困難存スト思惟ス締盟國カ後日或ル地域ノ狀

況ニ適應セサルノ故ヲ以テ全然之ニ適用スルコトヲ得ストシ又ハ重要ナル變更ヲ加ヘテノミ適用スルコトヲ得ヘシト爲スカ如キ條約案ヲ起草スル必要ナキナリトシ次ニ本年ハ第一回討議ニシテ質問書ヲ作成スルヲ以テ足ルモ質問書案ノ討議ニ當リテハ各國政府カ成ル可ク「然リ」ト答ヘ得ル様作成スヘキモノト信ストシ最後ニ國際勞働機關カ本問題ニ關シ全世界ニ亘リテ詳細ナル準備報告書ヲ作成シタルコトニ對シテ感謝ノ意ヲ表スト結ヒタリ

伊太利政府側代表「ヂョルダニ」氏ハ植民地ニ於ケル凡テノ強制勞働ハ之ヲ出來得ル限り速ニ廢止スル爲ニ充分ナル努力ヲ爲スヘキモノナリト信ス事務局作成ノ質問書ヲ討議スルコトハ右ノ目的ヲ達スル爲ニ頗ル有益ナリ即チ討議ヲ行フコトニ依リテ吾人ハ此ノ悲シムヘキ現象ヲ充分ニ知悉シ得ルノミナラス總會及植民地國カ土民ノ福利ニ付多大ノ關心ヲ有スルコトヲ土民ニ知ラシムルコトヲ得ヘシ伊太利ニ關シテハ土民ノ權利ノ尊重ト土民ニ最大ノ繁榮ヲ與ヘントスル希望トカ常ニ伊太利ノ植民地政策ヲ動カシツツアリト述ヘタリ

支那勞働者側代表馬超俊氏ハ支那人勞働者ハ世界何レノ土地ニモ居住スルヲ以テ強制勞働ノ問題ニ關シテハ支那人勞働者ハ凡ユル種類ノ強制勞働ヲ廢止スヘシトノ說ニ共鳴スルモノナリ經濟の原則トシテハ勞働者ヲシテ其ノ最モ適スル勞働ニ從事セシムルヲ可トスヘク強制ニ依ル勞働ハ能率最モ低シクニ道德の原則トシテハ人類ハ自己ノ勞働ヲ選擇スルノ自由ヲ有シ且適當ナル報酬ヲ得ルノ權利ヲ有セ

サルヘカラス此ノ二原則ニ照スモ強制勞働ハ不正不當ノモノトシテ斷セサルヲ得ス或ハ經濟的開發ノ爲ニハ強制勞働ヲ必要トスト云フ者アルヘキモ「ジューオー」氏ノ云ヘルカ如ク經濟的問題ハ決シテ人道問題ニ打チ克ツコトヲ許ササルナリサレハ多數者ヨリ搾取シ且人類ノ正義ヲ犧牲トシテ少數者ノ經濟發展ヲ期スルカ如キ制度ハ世界ノ文明ヲ害スルモノニシテ存在ヲ許スヘカラサルモノナリト述ヘタリ次テ本邦政府側代表湯澤三千男氏ハ左ノ趣旨ノ演說ヲ試ミタリ

強制勞働ニ關シ國際的規律ヲ設クルコトハ國際勞働機關ノ基調タル正義及人道ニ合致スルモノナルカ故ニ余ハ質問書ハ必スヤ本機關ノ各締盟國ニ送付セラルヘキモノナリト思惟ス此ノ點ニ關シテハ余ハ日本勞働者代表松岡氏カ今朝述ヘタル處ト同意見ナルコトヲ欣快トスルモノナリ但シ同氏ハ偶々所謂「監獄部屋」制度ナルモノニ言及シ恰モ一種ノ強制勞働カ日本ノ或ル部分ニ存在スルカノ如ク述ヘラレタリ然レトモ同氏カ熟知セラルル如ク右ハ吾カ刑法ノ適用ヲ受クル犯罪ニシテ當該行政官廳ハ嚴ニ其ノ取締ノ任ニ當リツツアル處ナリ

余ハ此ノ機會ニ於テ準備報告書ニ關シ一言セント欲ス右報告書中ニハ臺灣及日本ノ委任統治下ニ在ル太平洋諸島ニ於テ課セラルル夫役ニ關スル記事存スルモ右ハ租稅ノ一種ニ過キスシテ所謂強制勞働トハ全ク性質ヲ異ニスルモノナリ蓋シ強制勞働トハ余ノ解スル處ニ依レハ處罰ノ脅威ノ下ニ強制的ニ行ハルル勞働ニシテ代理又ハ代償ヲ許ササルモノナルニ反シ我カ國ノ場合ニ於テハ夫役ハ法律

ノ規定ニ從テ租税ノ一形式トシテ關係住民全體ヨリ取立ツルモノナレハナリ若シ之ニ從フコトヲ欲セサルトキハ代人ヲ差出シ又ハ金錢ノ納付ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得且又右ノ勞働ヲ遂行スルコトヲ怠ル場合ニ於テモ之カ爲ニ決シテ處罰セラルルコトナシ

平和會議以來日本ハ人種平等ノ大義ヲ擁護シ以テ今日ニ至レリサレハ余ハ結論トシテ我カ政府ノ名ニ於テ日本ハ衷心強制勞働ノ禁止ヲ支持シ且其ノ慣行ニ反對スルモノナルコトヲ茲ニ宣言スルモノナリ

支那使用者側顧問「シア」氏ハ本日午前使用者側ノ集會ニ出席シタル際ニハ使用者團ノ作成シタル宣言書ニ衷心賛意ヲ表シタルモ「ジュノーオー」氏ノ演說ヲ聽クニ及ンテ甚シキ感動ヲ受ケタリ仍テ支那使用者側ハ其ノ態度ヲ變更スルコトトナレリ即チ余ハ「ジュノーオー」氏ノ說ニ賛成シ強制勞働ノ全廢ヲ支持スルモノナリト述ヘタリ

第三節 委員會

第一款 委員會ノ經過

強制勞働委員會ハ六月一日午後第一次會議ヲ開催シ役員ノ選舉ヲ行ヒタル處佛蘭西政府側代表「ゴ

チエ」氏委員長ニ、佛蘭西使用者側代表「ラムベール・リボー」氏及西班牙勞働者側顧問「ベステイロ」氏副委員長ニ夫レ夫レ選任セラレタリ

(一) 質問書案ノ審議

次テ六月四日午後第二次會議ヲ開催シ先ツ議長ハ遂條審議ニ入ルニ先チ委員會ハ一切ノ強制勞働ノ廢止ヲ各國政府ニ提案スル質問書ヲ採擇スヘキヤ又ハ事務局原案ノ如ク一定ノ制限ノ下ニ強制勞働ヲ認ムル質問書ヲ採擇スヘキヤノ問題ヲ決定スルノ要アリト宣言シタル處佛蘭西勞働者側代表「ジュノーオー」氏ハ總會ニ於テ述ヘタル處ヲ敷衍シ強制勞働ノ廢止トハ質問書案ヲ放棄スルノ意思ニ非ス即チ第一問ヲ「國際勞働總會カ強制勞働ノ使用ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ」ト修正スレハ足ルト述ヘ次ニ白耳義使用者側顧問「ケーアン」氏モ總會ニ於テ爲シタル使用者團ノ聲明ヲ繰返シ使用者團ハ私的使用者ノ利益ノ爲ニスル強制勞働ノ廢止ヲ主張スルモ公益事業ヲ目的トスル強制勞働ニ關シテハ意見ヲ述ヘス此ノ點ニ關シテハ政府側ノ意見ヲ聞クコトヲ望ムト述ヘタリ

第一部

第一問

茲ニ於テ委員長ハ第一問ニ關スル討議ヲ爲スヘキコトヲ提議セリ

南阿労働者側代表「アンドリュース」氏ハ左ノ如キ修正案ヲ提出セリ

「國際労働總會ハ強制労働ノ使用禁止ヲ目的トスル條約案ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ」

之ニ對シ獨逸政府側顧問「フォン、レフ、ヘンベルヒ」氏ハ國ニ依リテハ凡テノ強制労働ヲ直ニ禁止スル趣旨ノ條約ヲ承認スルコト困難ナルヘク斯ル質問ハ條約案ニ附隨スル勸告中ニ挿入スルヲ可トスヘシト述ヘ又瑞典労働者側顧問「バックルンド」氏ハ強制労働禁止ノ條約ヲ採擇スルコトハ必スシモ凡テノ強制労働ノ即時禁止ヲ意味セスシテ其ノ間必要ナル經過期間ヲ設クルノ趣旨ナリト述ヘタリ
次テ國際労働事務局長「アルペール、トーマ」氏ハ「ジューオー」氏ヨリノ希望ニ應ジ若シ右ノ趣旨ニ依リ第一問ヲ書キ改ムレハ左ノ如クナルヘシト述ヘタリ

- (一) 各國政府ハ強制労働ノ禁止ニ同意スルヤ
- (二) 若シ然リトセハ右ノ禁止ヲ實現スル爲ニハ一定ノ經過期間ノ必要アリト考ヘラルルヤ又右實現ノ方法ハ如何ニスヘシト考ヘラルルヤ
- (三) 若シ直ニ禁止スルコトカ不可能ニシテ從テ經過期間ノ必要アリトセハ如何ナル制限ヲ提案セラルルヤ

茲ニ於テ「アンドリュース」氏ハ事務局長ノ提案ヲ承認シテ自己ノ修正案ヲ撤回シ斯クテ第一問ハ事務局長ノ提案ヲ骨子トシテ左ノ如ク修正セラレタル上第三次會議ニ於テ全會一致ヲ以テ可決セラレタリ

一 (イ) 國際労働總會ハ一切ノ形式ニ於ケル強制労働ノ使用ヲ禁止スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

(ロ) 若シ然リトセハ斯ル禁止ヲ充分ニ行フコトヲ得ル迄ニハ經過期間ノ必要アリト考ヘラルルヤ

(ハ) 若シ一切ノ形式ニ於ケル強制労働ノ使用ヲ禁止スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇スルコト可能ナリト考ヘラレサルカ又ハ禁止カ可能ナルモ經過期間ノ必要アリト考ヘラルルトキハ國際労働總會ハ強制労働ノ使用ヲ制限シ且規律スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

第二問

印度労働者側顧問「シヅ、ラオ」氏ハ質問書案ニ掲ケラルル定義ハ狹キニ失スルヲ以テ之ヲ擴張シ強制労働ノ凡テノ形式即チ最初ハ自由ナル契約ノ形式ヲ有スル労働カ或ル事情ノ下ニ強制労働トナリ得ル場合モ包含セシメサルヘカラス之ヲ爲ニハ質問書中ニ「若ハ労働者カ任意的ニ放棄スルコトヲ得サルカ如キ」ナル字句ヲ挿入セサルヘカラスト述ヘ此ノ修正案ハ労働者側ノ熱心ナル支持ヲ得就中「ジューオー」氏ハ労働者カ契約ノ條項ヲ知ラサルハ勿論署名スルコトスラ能ハスシテ契約ヲ締結シタル場合ノ如キハ産業國ニ於ケル個人契約又ハ團體契約トハ全然異ルモノナリ又土民労働者カ例ヘハ三年ノ長期ニ亘ル契約ヲ締結シタル場合ニハ一定期間後ニハ契約ヲ破棄スルコトヲ得ヘシトスルモ猶之ニ對シテ保護手段ヲ講セサルヘカラスト述ヘタリ之ニ對シ佛蘭西政府側顧問「カルド」氏ハ強制労働ノ問

題ト契約労働ノ問題トヲ關聯セシムルコトハ不可ナリ佛蘭西ノ植民地ニ於テハ契約労働ニ關シテハ法制アリ此ノ問題ハ國際労働事務局ニ於テ既ニ調査ヲ遂ケ適當ナル時期ニ於テ總會ノ議題トナルヘシト述ヘタリ

六月五日午前第三次會議ヲ開催シタルカ南阿政府側代表「ガーゾーン」氏ハ左ノ如キ修正案ヲ提出シタルモ十五票對十四票ヲ以テ否決セラレタリ

「労働者カ任意的ニ契約シタルニ非サル及不履行ニ對スル處罰ノ脅威ノ下ニ強制セラルル凡テノ作業又ハ労働但シ政府ノ監督ノ下ニ課セラルル懲役ヲ除ク」

次テ「ジューオー」氏ハ「處罰ノ脅威ノ下ニ」ノ次ニ「又ハ義務ノ脅威ノ下ニ」ナル字句ヲ挿入スヘシトスル修正案ヲ提出シタルカ右ハ二十一票對十一票ヲ以テ否決セラレタリ

斯クテ本問ハ滿場一致ヲ以テ事務局原案通り可決セラレタリ

次ニ委員長ハ南阿政府側代表「ガーゾーン」氏ノ提出ニ係リ左ノ新ナル質問ヲ追加スヘシトスル提案ヲ上程セリ

「平和條約第四百二十一條ノ規定ニ鑑ミ右ノ條約ハ一切ノ締盟國ニ依リ變更ヲ加ヘラレスシテ承認セラルル様作成セラルヘシト考ヘラルルヤ」

之ニ對シ「ジューオー」氏、「トバロヴィッチ」氏(セルブ、クルアート、スロヴェニス)労働者側顧問)ノ如

キハ其ノ不必要ナル所以ヲ力説シ事務局長、「バックルンド」氏(瑞典労働者側顧問)、「ロス」氏(英吉利労働者側顧問)、「ヴァーノン」氏(英吉利政府側顧問)等ハ「ガーゾーン」氏ノ説ニ賛成シタルカ結局本修正案ハ事務局長ニ依リ左ノ形式ニ修正セラレタル上滿場一致ヲ以テ可決セラレタリ

「右條約ハ一締盟國ニ依ル其ノ批准カ當該國ノ植民地及保護國ニ對シ平和條約第四百二十一條ニ規定セラレタル留保又ハ變更ヲ加ヘスシテ條約ヲ適用スルコトヲ意味スヘキ様ニ起草スヘシト考ヘラルルヤ」

次テ委員長ハ第二問ニ關聯シ労働者團ニ依リ提出セラレタル左ノ決議案ニ關シ討議スヘキコトヲ宣セリ

「労働者團ハ第二問カ強制労働ノ一切ノ形式就中长期契約労働ヲ完全ニ包含セサルニ鑑ミ強制労働ノ完全ナル禁止ノ問題ヲ成ルヘク速ニ次ノ何レカノ國際労働總會ノ議題トスル目的ヲ以テ他ノ凡クニ強制労働制度ニ關シ充分ナル調査ヲ爲サンコトヲ國際労働事務局ニ命令センコトヲ要求ス」

之ニ對シ事務局長ハ本問題ニ付テハ既ニ國際労働事務局ニ於テ調査シツツアリテ適當ナル機會ニ總會ニ上程セラレヘシト述ヘ且労働者團ノ決議案ニ對シ輕微ナル修正ヲ加フヘキコトヲ提議シタルニ労働者團ハ之ヲ承認シ結局本案ハ左ノ形式ニ於テ十八票對零ヲ以テ可決セラレタリ

「委員會ハ強制労働ノ禁止ヲ以テシテモ土民労働者カ苦情ヲ述ヘ得ル一切ノ形式ノ強制労働特ニ長

期契約ヲ廢止スヘカラサルニ鑑ミ總會カ國際勞働事務局ニ對シ能フ限り速ニ強制勞働ノ完全ナル廢止ノ問題ヲ次ノ何レカノ國際勞働總會ノ議題トスル目的ヲ以テ他ノ一切ノ場合ノ強制勞働ニ付必要ナル調査ヲ爲スヘキコトヲ命令センコトヲ要求ス」

第三問

六月五日午後第四次會議ヲ開催シ第三問ヲ審議セルカ先ツ英吉利勞働者側顧問「ロス」氏ハ勞働者團ヲ代表シテ本問ヲ削除スヘキコトヲ提議シ次テ勞働者側ヨリ數名賛成演說ヲ爲シ結局右ハ十六票對十四票ヲ以テ可決セラレ從テ本問ハ削除セラルルコトナレリ

第四問

英吉利勞働者側顧問「ロス」氏ハ左ノ如キ修正案ヲ提出セリ

「強制勞働ノ使用ニ付責任アル官廳ハ首府所在國ノ最高關係官廳タルヘシトスルコトニ同意セラルルヤ」

之ニ對シ英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ斯クノ如ク修正セラルルトキハ植民地政府ハ非常ナル困難ヲ感スヘシ依テ第四問ハ此ノ儘トシ唯解釋上強制勞働ヲ使用スル責任ハ終局的ニハ中央官廳ニ存スヘキモ地方官廳ハ各個ノ場合ニ於テ中央官廳ニ是非ヲ問フノ義務ナク從テ之ニ關シ或ル權限ノ委任カ必要ナリ尙或ル場合ニハ土民會長カ強制勞働使用ノ責任アルモ右ハ中央官廳ノ責任ノ下ニノミ行ハル

ヘキナリト述ヘ次テ事務局員「グリムショウ」氏ハ「ロス」氏ノ提案ニ依ルトキハ自治制ノ進歩シ居ル植民地ヲ包含シ得サル不便アルコトヲ指摘シタルヲ以テ「ロス」氏ハ其ノ修正案ヲ撤回セリ次テ印度政府側顧問「クロウ」氏ハ「最高中央官廳」ヲ「最高關係官廳」トスヘシトスル修正案ヲ提出シタルカ和蘭勞働者側顧問「パウエル」氏ハ右修正案ハ首府所在國ノ官廳ニ對シ其ノ責任ノ一部ヲ或ル下級官廳ニ委任スルコトヲ認ムル結果トナルヘシトシテ事務局原案ヲ支持シ次テ獨逸勞働者側顧問「フルトウエングラー」氏ハ次ノ如キ妥協案ヲ提出シタルニ右ハ二十四票對零ヲ以テ可決セラレタリ

「強制勞働ノ使用ニ付責任アル官廳ハ首府所在國ノ官廳タルカ又ハ右カ不可能ナルトキハ當該地方ニ於ケル最高中央官廳タルヘシトスルコトニ同意セラルルヤ」

第五問

和蘭勞働者側顧問「パウエル」氏ハ本問ニ「特ニ作業ノ組織、就業時間及賃銀支拂方法ニ關シ」ナル字句ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出シタル處委員長ハ「パウエル」氏ノ修正案ニ依リ附加セラレタル第五問ヲ表決ニ付スヘシト宣シ結局右ハ二十票對四票ヲ以テ可決セラレタリ次テ英吉利勞働者側顧問「ロス」氏ハ第五問ノ次ニ左ノ一問ヲ挿入スヘキコトヲ提議セリ

「強制勞働カ現存スル領域ニ於テハ其ノ實行ヲ規律スル法律規定又ハ行政命令ハ權限アル官廳ニ於

テ關係アル労働者及労働者ノ徵集セラルルヘキ住民ニ其ノ意味ノ通スル様一又ハ二以上ノ土人語ヲ以テ印刷シ(及廣ク散布シ)且右印刷物ノ寫ハ原價ニテ労働者又ハ其ノ他ノ者ノ利用ニ供スヘキモノト考ヘラルルヤ

之ニ對シテハ佛蘭西使用者側顧問「ヌヴー」氏、英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏、白耳義政府側顧問「ルブレ」氏等ハ右修正案ヲ實施スル上ニ於テ多少ノ困難アルモ決シテ不可能ニハ非ストシテ之ヲ支持シ結局本提案ハ二十票對一票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」労働者側顧問「トバロヴィッチ」氏ハ法令ノ適用ヲ受クル労働者側ヨリ壓力ヲ加フルニ非サレハ法令ノ實施カ充分ナラサル危険アリ故ニ土民労働者カ強制労働ニ關スル條約ノ適用ヲ支持シ得ル地位ニ在ルコト必要ナリ之カ爲ニハ彼等ニ團結ノ自由ヲ與ヘサルヘカラスト述ヘ労働者團ヲ代表シテ左ノ新ナル質問ヲ追加スヘキコトヲ提議セリ

「強制労働條約ノ適用ヲ受クル地方ノ労働者ニ對シ労働組合組織ノ自由ヲ與フルコトハ必要ナリトスルコトニ同意セララルルヤ」

之ニ對シテハ先ツ白耳義使用者側代表「ジュラール」氏ハ總會ハ曩ニ團結自由ノ問題ニ關シテ積極的ノ決定ニ到達スルコト能ハサリシコトヲ喚起シ最モ文明ノ進歩セル國ニ關シテモ既ニ然リトセハ文明ノ程度低キ國民ノ場合ニ於テ一層ノ成功ヲ希望スルコトハ殆ト難シトシテ反對ノ意思ヲ表明シ佛蘭西使

用者側顧問「ル、ヌヴー」氏ハ本問題ニ關スル條約案ニ於テハ私的使用者ノ爲ニスル強制労働ハ禁止セラレ唯公共ノ目的ノ爲ニスルモノノミヲ取扱フコトトナルヘシ然ラハ此ノ問題ト團結自由ノ問題トヲ結ヒ付クルコトハ困難ナルヘシ尙委員會ハ既ニ權限アル官廳ハ最高官廳殊ニ首府所在國ノ官廳タルヘキコトニ意見ノ一致ヲ見タリ從テ労働者團ノ希望セルカ如キ強制労働ニ關スル必要ナル保障ハ充分ニ得ラルヘシト述ヘタリ

之ニ對シ「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」労働者側顧問「トバロヴィッチ」氏ハ現在植民地ニ於テ公益事業カ行政官廳ニ於テ行ハルル場合ニ於テモ私人ニ讓渡セラルルコト多シ然リトセハ賃銀、保健其ノ他ノ問題ニ關シ労働者カ法令通り實施セラルル様常ニ監視スルノ必要アリ尙又首府所在國ノ労働者ト植民地ノ労働者トノ連絡ノ方面ヨリ觀察スルコトヲ必要トス即チ首府所在國ノ労働組合ハ植民地迄擴張セラレサルヘカラス若シ「團結ノ自由」ナル字句カ適當ナラストセハ「團結權」ト改メ左ノ如ク變更スルコトヲ得ヘシト述ヘタリ

「強制労働ニ關スル法規ハ關係労働者ニ對シ其ノ經濟的利益ノ保護ノ爲團結權ヲ認ムヘシトスルコトニ同意セララルルヤ」

次テ委員長ハ労働者團ノ提案ニ係ル新シキ質問ニ付テハ労働者團ニ起草センコトヲ求メテ次回ニ於テ其ノ確定文ニ付表決スヘシト述ヘ斯クテ本問ハ第五次會議ニ於テ労働者側ニ依リ起草セラレタル左ノ

案文ニ付表決ヲ行ヒタル處右ハ二十一票對十二票(棄權一票)ヲ以テ否決セラレタリ

「強制労働ノ廢止又ハ制限ヲ容易ナラシムル爲メ労働者カ現在強制労働制度ノ下ニ在ル領域ニ於テ自由ニ組織スル爲メ爲ス努力ヲ促進シ又ハ少クトモ阻害セサルコト有用ナルヘシト考ヘラルルヤ」

第六問

本問ニ付テハ六月六日午前ノ第五次會議ニ於テ審議セラレタルカ先ツ白耳義政府側顧問「ルブレー」氏ハ左ノ如キ修正案ヲ提出セリ

- (一) 其ノ作業又ハ勞務ハ之ヲ爲スコトヲ要求セラルル社會集團又ハ個人ノ重要ナル直接利益ニ關スルモノタルコト
 - (二) 作業又ハ勞務ハ現實ノ又ハ緊急ノ必要性又ハ有用性ヲ有スルモノナルコト
 - (三) 當該地方ニ於テ類似ノ作業又ハ勞務ニ對シ通常行ハルル賃銀率ヲ支拂フモ其ノ作業又ハ勞務ノ遂行ニ付任意労働ヲ得ルコト不可能ナリト認メラレタルモノナルコト
 - (四) 當該地方ニ於テ類似ノ作業又ハ勞務ニ對シ通常行ハルル賃銀率ヲ支拂フモ任意労働ニ依リテ當該作業ヲ遂行シ又ハ必要ナル努力ヲ得ルコト不可能ナリト認メラレタルモノナルコト
- 提案者「ルブレー」氏ハ強制労働ノ禁止中ニ強制耕作ノ禁止ヲモ含マシムルコトハ不可ナリ蓋シ農業ハ土民ノ主要否唯一ノ産業ニシテ農業ヲ進歩セシメスシテ土民ノ生活状態ヲ改善セシムルコトハ不可

能ナリ而シテ之カ爲ニハ或ル場合ニハ強制ヲ用フルコトハ止ムヲ得サルナリ又土民ノ營養状態カ不良ニシテ疾病率ノ多キコト及阿佛利加ノ或ル地方ニハ饑饉カ瀕々トシテ起ルコトニ鑑ミ強制耕作ハ之ヲ禁止スヘカラサルモノナリ之レ本修正案ヲ提出シタル所以ナリト述ヘタル處佛蘭西政府側顧問「カルド」氏ハ「ルブレー」氏ノ修正案ヲ支持シ阿佛利加土民ハ一般的ニ營養不良ノ状態ニ在リテ首府國トシテハ土民ヲシテ饑饉ニ瀕セシメサランカ爲凡ユル努力ヲ爲ス義務ヲ有スト述ヘタリ次テ「ルブレー」氏ハ「社會集團」ノ次ノ「又ハ個人」ナル字句ヲ附加スルコトヨリ成ル其ノ修正案ノ部分ヲ撤回シタルモ「直接利益」ノ前ノ「重要ナル」ノ語ヲ挿入スルコトヨリ成ル其ノ修正案ニ付表決スヘキコトヲ主張シ結局右修正案ハ二十三票對零ヲ以テ可決セラレタリ

次テ「ルブレー」氏ハ「必要性」ノ次ニ「又ハ有用性」ナル語ヲ附加スルコトヨリ成ル第二項ニ對スル修正案ヲ撤回シ斯クテ第二項ハ事務局原案通り可決セラレタリ

次テ第三項ノ審議ニ移レルカ英吉利労働者側顧問「ロス」氏ハ之ヲ削除シテ第四項ヲ以テ之ニ代ヘ且第六問ノ終リニ左ノ新ナル質問ヲ加ヘ以テ權限アル官廳ヲシテ確實ナル賃銀ノ支拂ヲ保證セシムヘシト述ヘタリ

「六(其三)權限アル官廳ハ強制労働ニ對シ支拂ハルヘキ賃銀カ充分ノモノナルコトヲ確認スルニ非サレハ強制労働ヲ許可スヘカラストスルコトニ同意セラルルヤ」

之ニ對シ南阿政府側代表「ガーゾーン」氏ハ貸銀問題ニ關シテハ質問書ノ他ノ部分即チ第二十問ノ討議ノ際ニ讓ルヲ可トスル旨ヲ述ヘ「ロス」氏モ之ヲ諒トセリ

次テ「ルブレ」氏ノ修正案第四項ニ對シテハ事務局員「グリムショウ」氏ハ斯クテハ官廳カ貸銀支拂ニ必要ナル資金ヲ有セサルカ如キ場合ニモ作業遂行上必要ナル勞働者ヲ得ラレサリシモノトシテ強制勞働ヲ使用スルカ如キコトアルヘシト難シ結局本修正案ハ十七票對十二票ヲ以テ否決セラレタリ

斯クテ質問書第六問(三)及(四)項ハ事務局原案通り採擇セラレタリ

尙ホ本問ニ關シテハ第六次會議ニ於テ英吉利勞働者側顧問「ロス」氏カ左記ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出セルカ右ハ十八票對十一票ヲ以テ否決セラレタリ

〔五) 權限アル官廳ハ一切ノ強制勞働者ニ勞働狀態ニ關スル一切ノ要求ヲ右官廳ニ提出スルヲ認ムル一定ノ手續ヲ定ムルニ非サレハ強制勞働ヲ許可スヘカラストスルコトニ同意セララルヤ〕

第七問

本問第一項ハ異議ナク採擇セラレタリ

次テ英吉利勞働者側顧問「ロス」氏ハ第二項ヲ削除スヘシトスル修正案ヲ提出シ白耳義勞働者側顧問「パウエルス」氏ハ右修正案ヲ支持シタルカ結局十八票對九票ヲ以テ第二項ハ存置セララルコトトナ

レリ

次ニ英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ第七問ニ對スル補充的質問ヲ追加スヘシトスル提案ヲ爲セリ

「土民ノ會長カ強制勞働ニ關シ傳統の權利ヲ保有スル處ニ於テハ行政官廳ハ能フ限り會長ノ其ノ住民ニ對スル傳統の權力ヲ維持スルノ必要ヲ考慮シ右ノ勞働カ公ノ目的ニ向ケラレ且之カ實行ノ條件カ行政官廳ノ強制ノ下ニ行ハルル類似ノ性質ノ作業ト同一ノ方法ニ於テ規律セララルヘキコトヲ確保スヘシト考ヘラルヤ」

提案者「ヴァーノン」氏ハ右提案ノ理由トシテ土民ノ會長ニ依リ使用セララルル強制勞働ヲヨリ有效ナル方面ニ轉換セシムルコトハ經濟的發展ヲ促進スルニ付最モ必要ナリト述ヘタル處和蘭勞働者側顧問「ハデー、サリム」氏ハ之ニ反對シタルカ採決ノ結果本案ハ十五票對十四票ヲ以テ可決セラレタリ

第八問

英吉利勞働者側顧問「ロス」氏ハ第八問ヲ「私的使用者ノ爲ニ勞働セシムル爲ニ土民ニ強制ヲ加フルコトハ官吏ノ義務ニ非ストスルコトニ同意セララルヤ」且新ニ第二項トシテ「住民カ法令ヲ遵守シ且一般歳入ニ對スル相當ナル部分ヲ正規ニ納付スル場合ニ於テハ權限アル官廳ハ勞働ノ慣習ヲ變更スル爲ニ強制力ヲ用フヘカラスト考ヘラルヤ」ヲ附加スヘシト提案セリ

六月六日午後第六次會議ヲ開催シ右提案ニ付表決ヲ行ヒタル處十九票對十二票ヲ以テ否決セラレタリ

第九問

本問ハ異議ナク採擇セラレタリ

第十問

白耳義労働者側顧問「パウエルス」氏ハ本問ノ末尾ニ「且右刑罰ハ眞ニ適切ノモノトスヘシ」ナル字句ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出シタルカ右ハ二十票對零ヲ以テ可決セラレ且右ノ如ク修正ヲ加ヘラレタル本問ハ異議ナク可決セラレタリ

第十一問

本問ニ關シテハ三個ノ修正案提出セラレ其ノ中印度政府側顧問「クロウ」氏ノ提出ニ係ル「混虫類」ノ次ニ「又ハ植物」ノ字句ヲ挿入スヘシトスル修正案及南阿政府側代表「ガーゾーン」氏ノ提出ニ係ル「一部」ヲ「重要ナル部分」トスヘシトスル修正案ハ何レモ滿場一致ヲ以テ可決セラレタルモ「セルブ、クロアート、スロヴェニス」労働者側顧問「トバロヴィッチ」氏ノ提出ニ係ル「戦争」ヲ削除スヘシトスル修正案ハ十八票對十票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ和蘭政府側代表「シュリーケ」氏ハ第十一問（其ノ二）トシテ左ノ新ナル質問ヲ挿入スヘシトスル修正案ヲ提出セリ

「強制労働カ租税ニ等シキモノ又ハ之ニ代フルモノトシテ要求セラルル處ニ於テハ權限アル官廳ハ

左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ストスルコトニ同意セラルルヤ

- (一) 其ノ作業又ハ勞務ハ之ヲ爲スコトヲ要求セラルル社會集團ノ直接利益ニ關スルモノタルコト
- (二) 作業又ハ勞務ハ現實ノ又ハ緊急ノ必要性ヲ有スルモノナルコト
- (三) 當該作業又ハ勞務ハ利用シ得ヘキ勞力及作業ヲ爲ス能力ヲ考慮シ關係現住民ニ對シ過重ノ負擔ヲ課スルモノニ非サルコト

(四) 労働者ハ其ノ義務ノ遂行中近接地ニ滯留シ得ルコト

(五) 作業又ハ勞務ノ遂行ハ宗教、社會生活及農業ノ必要ニ從テ地方官廳ニ依リ指揮セラルヘキコト之ニ對シ和蘭労働者側顧問「ハデー、サリム」氏ハ既ニ通常ノ強制労働及第十二問ニ掲ケラルルカ如キモノノ二種ノ強制労働アル以上本案ノ如キ第三種ヲ認ムル必要ヲ見ス余ハ一切ノ強制労働ニ反對スルヲ以テ租税トシテモ之ヲ支持スルコトヲ得スト述ヘ「セルブ、クロアート、スロヴェニス」労働者側顧問「トバロヴィッチ」氏ハ之ニ賛成シ斯克ノ如キ修正案ハ新ナル強制労働ヲ生セシムルニ外ナラスト斷言セルカ英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ「セイロン」及「サイブラス」兩島ニ於ケル實狀ヲ述ヘテ「シュリーケ」氏ノ修正案ヲ支持セリ次テ委員長ハ質問書ハ單ニ各國政府ニ對シ現在ノ狀況ハ如何及如何ニシテ之ヲ救済スヘキカヲ質問スルニ在リ之ヲ如何ニ決定スヘキヤハ一九三〇年ノ總會ノ爲スヘキ任務ナリトテ本質問ヲ追加スルコトニ賛意ヲ表セリ

次テ英吉利勞働者側顧問「ロス」氏ハ本修正案ノ前文ヲ左ノ如ク修正スヘキコトヲ提案シタルニ「シュリーケ」氏ハ之ニ同意セリ

「強制勞働カ租税ニ等シキモノ又ハ之ニ代フルモノトシテ要求セラルル處ニ於テハ此ノ慣行ハ能フ限リ速ニ廢止スヘク又若シ然ラストセハ權限アル官廳ハ左ノ諸條件ヲ具備スルコトヲ要ストスルコトニ同意セラルルヤ」

次テ事務局員「グリムショウ」氏ハ若シ委員會ニシテ新ナル第十一問(其ノ二)、「シュリーケ」氏ニ依リ提出セラレ且「ロス」氏ニ依リ修正ヲ加ヘラレタルモノ)ヲ採擇スルトセハ第十二問ヲ削除スルヲ必要トスヘシ蓋シ兩者ハ相互ニ交錯關係ヲ有スルヲ以テ其ノ一ヲ削除スルヲ要スレハナリト述ヘタル處印度政府側顧問「クロウ」氏及英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ兩者ハ必スシモ交錯スルモノニ非ストシテ此ノ意見ニ反對セリ

茲ニ於テ「シュリーケ」氏ニ依リ提出セラレ且「ロス」氏ニ依リ修正セラレタル第十一問(其ノ二)ヲ表決ニ付シタル處右ハ滿場一致ヲ以テ可決セラレタリ

第十二問

本問ニ關シテハ既ニ述ヘタル如ク之ヲ削除スヘシトスル説ト存置スヘシトスル説トニ分レタルカ更ニ英吉利勞働者側顧問「ロス」氏ハ左ノ修正案ヲ提出セリ

「部落ノ清淨、衛生、關係部落ノ隣接地ニ在ル動物ノ水飲ミ場、共同便所及墓地ヘノ通路ノ維持、部落ノ夜警、純粹ニ地方的利害關係アル小灌溉溝及河川ノ浚漂等ニ關スル輕少ナル勞務ハ繼續スルコトヲ得ヘシトスルコトニ同意セラルルヤ且其ノ場合ニ於テハ第十一問(其ノ二)ニ含マルル制限ハ是等ノ場合ニモ亦適用スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ」

次テ委員長ハ本問ニ關スル表決ハ次回ニ延期スルコトヲ述ヘ斯クテ本問ハ第七次會議ニ於テ引續キ審議セラレタルカ右「ロス」氏ノ修正案ハ十八票對七票ヲ以テ否決セラレ次テ英吉利政府側代表ハ「純粹ニ地方的利害關係アル小灌溉溝及河川ノ浚漂等ニ關スル輕少ナル勞務」ノ次ニ「及同様に種類ノ一切ノ他ノ勞務ニシテ其ノ満足ナル遂行カ専ラ社會集團ノ利益トナルヘキモノ」ナル字句ヲ挿入スヘシトスル修正案ヲ提出セルカ右ハ二十票對七票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ白耳義勞働者側顧問「パウエル」氏ヨリ第二項トシテ「肯定ノ場合ニ於テハ是等ノ勞務ハ兒童、婦人、老人及身體的不適者ヨリ強要スヘカラストスルコトニ同意セラルルヤ」ヲ附加スヘシトスル修正案ノ提出アリタルカ右ハ十八票對八票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ政府代表團ハ同シク第二項トシテ「肯定ノ場合ニ於テハ右ノ作業ノ強要ニ付テハ關係住民ノ年齢及身體的能力ヲ考慮スヘシト考ヘラルルヤ」ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出セルカ右ハ十七票ヲ以テ(勞働者側棄權)可決セラレタリ

斯クテ修正ヲ加ヘラレタル第十二問全體ヲ表決ニ付シタル處右ハ二十票對三票ヲ以テ可決セラレタリ
第十三問

本問ニ關シテハ白耳義労働者側顧問「パウエルス」氏ハ左ノ修正案ヲ提出セリ

「成年男子ノミカ強制労働ニ對シ要求セラルヘク且左ノ條件ノ制限ヲ課セラルヘシトスルコトニ同意セラルルヤ」

(イ) 政府ノ醫務官ニ於テ關係アル者カ傳染病ニ罹リ居ラサルコト及右ノ者カ一定ノ條件ニ於テ要求セラルル作業ヲ遂行スルニ身體上適スルコトヲ確認スル爲豫メ身體検査ヲ爲スコト

(ロ) 雇傭契約ニ依リテ既ニ義務ヲ有スル者ヲ免除スルコト

(ハ) 學校ノ教師及生徒ヲ免除スルコト

(ニ) 各社會集團ニ於テ家族及社會生活ニ必要トスル強壯ナル成年男子ノ數ヲ維持スルコト

(ホ) 夫婦及家族關係ヲ尊重スルコト

之ニ對シ南阿政府側代表「ガーゾン」氏ハ「成年男子」ノ前ニ「十八歳以上ノ」ナル字句ヲ附加スヘシト提議シ又和蘭労働者側顧問「ハデー、サリム」氏ハ「十八歳以上」ノ代リニ「十八歳以上四十五歳未滿」トスヘシト提議シタルカ右ノ中最後ノ提案ニ對シテハ英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ土民ニハ出產證明書ナキ爲精確ニ年齢ノ制限ヲ設クルコト不可能ナリトノ理由ニ依リ反對セリ

茲ニ於テ「ガーゾン」氏ニ依リ修正セラレタル「パウエルス」氏ノ修正案ヲ表決ニ付シタル處右ハ二十二票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

第十四問

本問ニ關シテハ先ツ白耳義労働者側顧問「パウエルス」氏ハ左記ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出シ十七票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

「右ノ割合ハ季節、關係アル一般及ハ地方的ノ公ノ作業状態ニ應シテ變更スヘク且當該部落ノ普通生活ノ經濟ノ必要ヲ尊重スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ」

次テ英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ本問ヲ左ノ通りトスヘシトスル修正案ヲ提出シ十七票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

「土民ヲシテ其ノ家族ヨリ別居セシムヘキ強制労働ニ服セシムル爲地方部落ヨリ一時ニ徵集セラルル者ノ數ハ其ノ部落ニ居住スル強壯ナル成年男子ノ一定割合ヲ超ユルコトヲ得ストスルコトニ同意セラルルヤ」

最後ニ英吉利労働者側顧問「ロス」氏ハ右ノ労働者ノ割合ヲ明瞭ニ定ムヘシトスル提案ヲ爲シタルカ右ハ十三票對五票ヲ以テ可決セラレタリ

第十五問

本問ハ六月七日午後ノ第八次會議ニ於テ審議セラレタルカ先ツ英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ「六

十日」ノ次ニ「作業場所ニ往復スルニ要スル時間ヲ含ミ」ナル字句ヲ挿入スヘシトスル修正案ヲ提出シタルカ右ハ十九票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

次テ政府代表團ハ「十二箇月ノ一期間中ニ於テ六箇月」トアルヲ「二箇年ノ一期間中ニ於テ六箇月」トシ且第二項ヲ削除スヘシトスル修正案ヲ提出シ右修正案ノ前段タル「二箇年ノ一期間中ニ於テ六箇月」トスルコトハ十七票ヲ以テ異議ナク可決セラレタルカ後段タル第二項ヲ削除スヘシトスルコトニ付テハ事務局員「グリムショウ」氏ハ第二項ヲ削除スルニ至ラハ労働者ノ利益ノ爲ニ設ケタル緩和規定ヲ失フコトトナルヘキヲ以テ之ヲ存置スヘシト主張シ委員會モ之ニ賛シ原案第二項ハ存置スルコトトナレリ次テ英吉利労働者側顧問「ロス」氏ハ原案第一項中ニ「二十四箇月ノ繼續期間中ニ於ケル右ノ如キ期間ノ間ニハ少クとも三箇月ノ間隔ヲ存置スヘキコト」ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出シ異議ナク採擇セラレタリ

次テ和蘭政府側代表「シュリーケ」氏ハ第一項ノ末尾ニ「第十一問(其ノ二)ニ掲ケラルル作業ノ期間ヲ含ミ」ナル字句ヲ挿入スヘシトスル修正案ヲ提出シタルニ瑞典労働者側顧問「バックルンド」氏ハ右修正案ノ「第十一問(其ノ二)」ノ次ニ「及第十二問」ヲ挿入センコトヲ希望シ「シュリーケ」氏モ之ニ同意シ斯クテ以上ノ如ク修正セラレタル「シュリーケ」氏ノ修正案ハ十二票對一票ヲ以テ可決セラレタリ次テ「シュリーケ」氏ハ第十五問(其ノ二)トシテ左ノ新ナル質問ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出セリ

「一労働者カ第十一問(其ノ二)ニ掲ケラルル作業又ハ勞務ノ爲ニ徵集セララルヘキ通常ノ最長期間ハ十二箇月ノ一期間中ニ三十日ヲ超ユルコトヲ得ストスルコトニ同意セララルヤ」

右ニ對シ「バックルンド」氏ハ「第十一問(其ノ二)」ノ次ニ「及第十二問」ヲ附加スヘシト提議シ斯クテ右ノ如ク修正セラレタル本修正案ハ十一票對五票ヲ以テ可決セラレタリ

第十六問

本問ニ關シテハ英吉利政府側代表ハ左ノ修正案ヲ提出セリ

「健康ヲ害スルカ如キコトナクシテ移送セララルヘキ旨ノ相當ナル醫師ノ陳述アルニ非サレハ且労働者ヲシテ異ル生活状態ニ慣レシムル爲ニ必要ナリトシテ右ノ陳述中ニ述ヘラレタル一切ノ豫防手段カ講セララルルニ非サレハ労働者ヲ食物及氣候ノ著シク異ル地方ニ移送スヘカラストスルコトニ同意セララルヤ」

佛蘭西労働者側代表「ジューオー」氏ハ之ニ對シ第一項ハ原案ノ儘トシ第二項中ニ「權限アル醫師ノ忠言ニ基キ」ナル字句ヲ挿入スヘキコトヲ提議シ仍テ「ヴァーノン」氏ハ其ノ修正案ヲ撤回シ「ジューオー」氏ノ提議ニ賛成シ結局「ジューオー」氏ノ提案ハ可決セラレタリ

又和蘭労働者側顧問「パウエルス」氏ハ第一項ノ次ニ左記ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出セリ

「如何ナル場合ニ於テモ労働者ノ移送ハ其ノ慰安及保健ノ爲ノ一切ノ必要ナル措置ヲ嚴格ニ施スニ

非サレハ之ヲ許スヘカラストスルコトニ同意セラルルヤ」

之ニ對シ「ジューオー」氏ハ「慰安」トアルヲ「設備」(accommodation)トスヘキコトヲ提議シタルニ
提案者モ之ニ同意シ結局右修正案ハ前記ノ變更ヲ加ヘテ二十二票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

第十七問

本問ニ關シテハ白耳義労働者顧問「パウエルス」氏ハ「特ニ労働時間」ヲ「特ニ漸進的訓練、労働時
間、休憩時ノ定メ」トスヘシトスル修正案ヲ提出セルカ右ハ異議ナク採擇セラレタリ

第十八問

本問ニ關シテハ英吉利及南阿政府側代表ハ左ノ修正案ヲ提出シ十六票對十三票ヲ以テ可決セラレタリ

「強制労働者ノ通常ノ労働時間ハ任意労働ニ適用セラルル法定最長時間ヲ超過スヘカラス且右ノ最
長時間ヲ超過スル労働時間ニ對シテハ通常ノ労働時間ニ對スルヨリモ高率ノ報酬ヲ支拂フヘシトス
ルコトニ同意セラルルヤ」

又白耳義労働者顧問「パウエルス」氏ハ本問ニ左記ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出セリ

「週休日ヲ設クヘク且右休日ハ願クハ日曜日又ハ能フ限り關係アル領域又ハ地方ニ於ケル傳統又ハ
習慣ニ依リテ定メラレタル日ト合致セシムヘシトスルコトニ同意セラルルヤ」

右ニ對シ「ジューオー」氏ハ「願クハ日曜日」ナル語ヲ削除スルヲ可トスル旨ヲ述ヘ提案者モ之ニ同意

シ斯クシテ本案ハ右ノ如ク變更セラレ尙輕微ナル修正ヲ加ヘラレタル上左ノ形式ニ於テ十九票對十票
ヲ以テ可決セラレタリ

「週休日ヲ規定スヘク且右休日ハ能フ限り關係アル領域又ハ地方ニ於ケル傳統又ハ習慣ニ依リテ定
メラレタル日ト合致セシムヘシトスルコトニ同意セラルルヤ」

第十九問

本問ニ關シテハ何等ノ異議ナク原案通り可決セラレタリ

第二十問

本問ニ關シテハ和蘭政府側代表「シュリーケ」氏ハ「第十一問(其ノ二)ニ掲ケラルル作業又ハ勞務ノ場
合ヲ除キ……………ニ同意セラルルヤ」トスヘシトスル修正案ヲ提出セルカ右ハ十一票對十一票ヲ
以テ不採擇トナレリ

英吉利労働者側顧問「ロス」氏ハ本問(一)ヲ左ノ通り修正スヘシトスル修正案ヲ提出セリ

「強制運輸労働者ヲ含ム強制労働者ニ對シテハ如何ナル場合ニ於テモ其ノ使用セラルル地方又ハ其
ノ徵集セラルル地方ノ何レカ賃銀率ノ高キ地方ニ於テ類似ノ労働ニ付通常支拂ハラルル處ヨリ低カラ
サル率ニ依リ賃銀ヲ支給スヘキコト」

右ハ二十二票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

英吉利政府側代表ハ本問(二)ニ「但シ右ノ方法カ部落ノ規律及慣習ト合致セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス」ナル字句ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出シ之ニ對シテハ瑞典勞働者側顧問「バックルンド」氏、佛蘭西勞働者側代表「ジョーオ！」氏、英吉利勞働者側顧問「ロス」氏等反對シ結局右ハ十六票對五票ヲ以テ否決セラレタリ

又白耳義勞働者側顧問「パウエルス」氏ハ本問(一)ノ貸銀ヲ支給スヘキコトノ前ニ「現金ヲ以テ」ナル字句ヲ挿入シ且第二項ニ左記ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出セリ

「正規ノ間隔ニ於ケル支拂ヲ確保シ且關係勞働者ノ要求ニ基キ願クンハ其ノ通常ノ住所ニ歸リタル後直ニ返スヘキ貸銀ノ部分ノ控除ヲ認ムル必要」

右修正案ハ第一ノ部分ハ二十二票ヲ以テ異議ナク可決セラレタルモ第二ノ部分ハ提案者之ヲ撤回セリ斯クテ修正ヲ加ヘラレタル第二十問全體ハ異議ナク可決セラレタリ

第二十一問

本問ニ關シテハ白耳義勞働者側顧問「パウエルス」氏ハ本問ヲ左ノ通りトスヘシトスル修正案ヲ提出セリ

「左記ニ同意セラレルヤ」

(イ) 權限アル官廳又ハ強制勞働者ヲ使用スル一切ノ官廳ハ災害又ハ疾病カ右勞働者ヲシテ全部的ニ

又ハ一部のニ自己ヲ養フコトヲ不能ナラシムル場合其ノ生存ヲ確保スル義務ヲ有スヘキコト

(ロ) 勞働者カ其ノ正規ノ住所ニ滞在セサル場合ニハ災害又ハ疾病カ其ノ勞働ニ基因スルカ否カニ付

區別ヲ爲スヘカラサルコト

(ハ) 全部的又ハ一部のノ永久の不能ノ場合ニハ不能ノ程度ニ應シテ計算セラレル手當ノ請求權ヲ確保スヘキコト

(ニ) 權限アル官廳ハ不能トナリ又ハ死亡シタル勞働者ノ被扶養者ノ生活ヲ確保スヘキ措置ヲ執ルヘキコト

右修正案ハ十六票對一票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ英吉利勞働者側顧問「ロス」氏ノ提出ニ係ル第二十一問(三)トシテ左ノ條項ヲ追加スヘシトスル修正案ヲ審議セリ

(三) 勞働者ノ傷害又ハ死亡ニ對スル使用者ノ責任ニ關スル現行ノ法律及行政命令ハ強制勞働ニ關スル法律及命令ニ規定セラレル方法ヲ以テ權限アル官廳ニ於テ之ヲ印刷シ、公示シ及販賣スヘキコト

右修正案ハ二十票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

次テ英吉利政府側代表ノ提出ニ係ル原案(一)及(二)ヲ左ノ通りトスヘシトスル修正案ニ付審議セリ

- 「(一) 労働状態ニ基因スル災害又ハ疾病ニ對スル労働者補償ニ關スル法律ハ任意労働ニ對スルト同様ニ強制労働ニ適用スヘキコト
- (二) 死亡シ又ハ無能力トナリタル労働者ノ被扶養者ノ爲ノ補償ヲ規定スル法律ハ強制的タルト任意的タルトヲ問ハス一切ノ労働ニ等シク適用スヘキコト」

右修正案ハ三十票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

第二十二問

本問ニ關シテハ別ニ異議ナク原案通り採擇セラレタリ

尙本問ニ關シテハ白耳義労働者側顧問「パウエルス」氏ハ左ノ一問ヲ附加スヘシトスル提案ヲ爲セルカ氏ハ結局之ヲ撤回セリ

- 「作業ニ於テ犯サレタル過失ニ付テハ左ノ事項ニ關シ決定ヲ爲スヘシト考ヘラルルヤ
- (イ) 制裁ノ種類及何レノ官廳カ強制労働ヲ監督スル權限アル機關ノ下ニ之ヲ課スヘキヤ
- (ロ) 右ノ措置ハ強制労働者ノ注意ニ齎スヘキヤ」

第二十三問

本問ニ關シテハ英吉利労働者側顧問「ロス」氏ハ「食糧」ノ次ニ「燃料及炊事道具」ヲ挿入スヘシトスル修正案ヲ提出セルカ右ハ異議ナク採擇セラレタリ

次テ白耳義労働者側顧問「パウエルス」氏ノ提出ニ係ル「其ノ家庭ヨリ遠隔ノ地ニ在ル」ヲ削除スヘシトスル修正案ヲ審議セルカ右ハ十二票對一票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ「パウエルス」氏ノ提出ニ係ル本問ニ左記ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ審議セリ

「労働者ノ家族ニ關シテ更ニ精細ナル措置ヲ講スヘク且少クトモ左記ノ措置ヲ執ルヘシト考ヘラルルヤ

- (イ) 妻カ作業ノ行ハルル地方ニ夫ト同伴スル權利及之ニ關聯シテ關係官廳カ無償ニテ妻ニ食糧及住居ヲ與フヘキ義務ヲ定ムルコト

- (ロ) 作業カ長期ニ亘ルトキハ特ニ賃銀ノ一部ヲ安全ナル方法ヲ以テ家族ニ送付スルコトヲ容易ナラシムルコトニ於テ家族ノ生計ヲ確保スル爲措置ヲ執ルコト」

右修正案ニ對シテハ和蘭労働者側顧問「ハヂー、サリム」氏ハ反對ノ意見ヲ表明シ獨逸政府側顧問「フオン、レフヘンベルヒ」氏モ(イ)ニ反對シ且(ニ)ニ付「労働者ノ同意ヲ得テ又ハ其ノ要求ニ基キ」ナル字句ヲ挿入スヘキコトヲ提議シタル處「パウエルス」氏ハ其ノ修正案中ノ(イ)ヲ撤回シ且「レフヘンベルヒ」氏ノ提案ニ同意シ斯クテ本修正案ハ上記ノ變更ヲ加ヘテ二十票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

第二十四問

本問ハ異議ナク原案通り採擇セラレタリ

第二十五問

本問ニ關シテハ白耳義労働者側顧問「パウエルス」氏ハ第一項ノ次ニ左ノ新シキ項ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出セリ

(イ) 一定期間ノ作業ニ従事スルコトヲ不能ナラシムル疾病又ハ災害ノ場合又ハ(ロ)理由ノ如何ニ拘ラス作業ノ終了ノ場合ニ於テハ作業請負人ノ費用ヲ以テ送還ヲ確保スヘシトスルコトニ同意セラルヤ

右修正案ハ異議ナク可決セラレタルモ修正案中ノ若干ノ語ノ精確ナル意味ニ關シ討議アリタル後「パウエルス」氏ハ「作業請負人」ヲ「権限アル官廳」トスルコトニ同意セリ

次テ原案第二項ハ二十三票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

次テ佛蘭西労働者側代表「ジューオー」氏ハ第三項ニ「其ノ無料ニテ送還セラルル権利ヲ喪失セシメスシテ」ナル字句ヲ挿入スヘシト提議シタルカ右ハ採擇セラレ斯クテ第三項ハ上記ノ修正ヲ加ヘテ異議ナク可決セラレタリ

第二十六問

六月十日午前第九次會議ヲ開催シ先ツ本問ヲ審議セルカ労働者團ハ「體格検査カ可能ナル場合ニハ」ノ字句ヲ削除スヘシトスル修正案ヲ提出セル處白耳義政府側顧問「ルブレ」氏、瑞典労働者側顧問「バックルンド」氏、英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏、獨逸政府側顧問「フォン、レフ、ペンベルヒ」氏等

ハ何レモ實際上體格検査ノ不可能ナル場合アルコトヲ指摘シテ之ニ反對シ採決ノ結果本案ハ十六票對十一票ヲ以テ否決セラレタリ

斯クテ本問ハ原案通り採擇セラレタリ

第二十七問

本問ニ關シテハ労働者團ハ左ノ通りトスヘシトスル修正案ヲ提出セリ

「上級官廳カ地方的ノ公ノ目的ノ爲強制労働ヲ許可スルノ權限ヲ下級官廳ニ委任スル處ニ於テハ此ノ慣行ハ廢スヘシト考ヘラルヤ」

之ニ對シテ英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏及和蘭政府側代表「シュリーケ」氏ハ何レモ右ノ如キ慣行ヲ禁止スルノ困難ナル所以ヲ力説シタルモ本修正案ハ十二票對九票ヲ以テ可決セラレタリ

第二十八問

本問ニ關シテハ英吉利労働者側顧問「ロス」氏及「セルプ、クロアート、スロヴェーヌ」労働者側顧問「トバロヴィチ」氏ヨリ「同一タルヘシ」ヲ「ヨリモ劣レルモノタルヲ得ス」ト修正スヘシトスル修正案ノ提出アリ又佛蘭西労働者側代表「ジューオー」氏ヨリハ「下級官廳ノ課スル」ヲ「下級官廳ノ監督ノ下ニ行ハルヘキ」トスヘシトスル修正案ノ提出アリタルカ結局前者ハ十九票ヲ以テ後者ハ二十四票ヲ以テ何レモ異議ナク可決セラレタリ

第二十九問

本問ニ關シテハ白耳義使用者側顧問「ペルトランド」氏ハ強制耕作ヲ原案ノ如ク消極的ノ場合ノミニ限ルヘキコトニ反對シ一般的ニ之ヲ認ムヘキ旨ノ修正案ヲ提出シタルモ「ヴァーノン」、「ジューオー」ノ諸氏之ニ反對シ結局右修正案ハ否決セラレタリ

次テ「セルブ、クロアート、スロヴェーニヤ」労働者側顧問「トバロヴィチ」氏ノ提出ニ係リ本問ニ左記ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ審議セリ

「強制労働制度ノ採用以外ニ本問第一項ニ掲ケラレタル災厄ニ備フル用意ノ措置ニ訴フルコト可能ナルヘシト考ヘラルルヤ」

右ハ三十四票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

以上ヲ以テ事務局原案タル質問書第一部ノ審議ハ全部終了シタルカ英吉利労働者側顧問「ロス」氏ハ更ニ新ニ「強制労働ハ地下ニ於テ使用スヘカラストスルコトニ同意セラルルヤ」及「部落民ノ或ル者ニ依リ犯サレタル犯罪ニ對シ全部ヲ罰スルコトヲ得ヘキ」「團體的處罰法」ハ處罰方法ノ一トシテ部落ニ依ル強制労働ニ關スル規定ヲ包含スヘカラストスルコトニ同意セラルルヤ」ナル質問ヲ加フヘキコトヲ提案シ何レモ採擇セラレタリ

第二部

六月十日午後第十次會議ヲ開催シ第二部ノ審議ニ移レルカ本部ニ關シテハ英吉利労働者側顧問「ロス」

氏ハ第二項(ロ)ノ始メニ「若シアラハ」ナル字句ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出シ次テ佛蘭西使用者側顧問「ル、ヌヅ」氏ハ使用者側ヲ代表シテ本問ハ經濟問題ニシテ強制労働ノ問題トハ直接關係ナク從テ國際労働機關ノ權限外ニ屬スルモノト認ムル旨ヲ表明シタル後第二部ハ「ロス」氏ノ修正ヲ加ヘラレタル上十一票對七票ヲ以テ可決セラレタリ

第三部

本部ニ關シテハ英吉利労働者側顧問「ロス」氏ハ第二項ノ「獨立」ナル語及「不法ナル」ナル語ヲ削除スヘシトスル修正案ヲ提出セルカ事務局員「グリムショウ」氏ハ「ロス」氏ノ修正案ノ最初ノ部分ハ英文ト佛文トノ間ニ差異アルコトニ依リ起リタルモノニテ英文ヲ適當ニ變更スヘシト述ヘタルヲ以テ「ロス」氏ハ其ノ修正案ノ此ノ部分ヲ撤回セリ次テ「ロス」氏ノ修正案ノ第二ノ部分ニ付審議セルカ結局右修正案ハ十三票對十二票ヲ以テ否決セラレタリ

第四部

本部ハ二十七票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

第五部

本部モ二十六票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

第六部

本部モ三十一票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ

第七部

本部ニ關シテハ英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏及南阿政府側代表「ガーゾーン」氏等ヨリ削除說出
テタルモ結局本部ハ十五票對十一票ヲ以テ原案通り可決セラレタリ

斯クテ事務局ノ作成ニ係ル質問書案全部ノ審議ヲ了シタルカ次テ労働者團ハ本質問書ニ左記ヲ附加ス
ヘシトスル提案ヲ爲シタリ

「國際労働事務局ニ附屬シテ土民労働ニ關スル常設委員會ヲ創設スルコト便宜ナルヘシト考ヘラル
ルヤ」

右ノ委員會ハ職務ノ一トシテ土民労働ニ關スル請願ヲ受理審査シ且之ニ關シ報告ヲ爲スヘシト考ヘ
ラルルヤ

平和條約第四百八條ノ規定ニ依リ土民労働ニ關スル條約ニ付事務局ニ送付セラルル報告ハ總會ニ報
告スル爲土民労働ニ關スル他ノ問題ノ研究資料ト共ニ右委員會ニ送付セラルヘシト考ヘラルルヤ」
右ニ對シテハ南阿政府側代表「ガーゾーン」氏、獨逸政府側顧問「フォン、レップヘルヒ」氏等ヨリ反
對說出テタルヲ以テ立案者タル印度労働者側顧問「シヴァ、ラオ」氏ハ「土民労働」ヲ「強制労働」ト
改ムヘキコトヲ提議シ更ニ「フォン、レップヘルヒ」氏ハ「常設委員會」ヲ「常設専門家委員會」ト修
正スヘシトセル處「ジューオー」氏ハ労働者團ヲ代表シテ之ニ同意シ斯クテ委員長ハ各項毎ニ賛否ヲ決

スヘキ旨ヲ宣シタルカ第一項ハ十八票對十四票ヲ以テ否決セラレ從テ本問全體ハ自然消滅トナレリ

(二) 委員會報告案ノ審議

六月十五日午前第十一次會議ヲ開催シ報告委員ノ提出セル總會ニ對スル委員會報告案ニ付テ審議セル
カ右ハ若干ノ修正ヲ加ヘラレタル上可決セラレタリ尙労働者側ハ委員會ニ於テ多數ヲ以テ可決セラレ
タル質問書ノ傾向夫レ自體並ニ團結ノ自由、八時間制、收税ノ爲ノ強制労働及統制機關ノ設置等ノ重
大ナル點ニ於テ多數派ト意見ヲ異ニスルノ故ヲ以テ別ニ少數派報告ヲ總會ニ提出セリ

第二款 委員會決定ノ質問書草案

強制労働ニ關スル質問書案

甲、條約案ノ採擇ヲ目的トスル質問

一、國際労働總會ハ一切ノ形式ニ於ケル強制労働ノ使用ヲ禁止スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇ス
ヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ斯ル禁止ヲ充分ニ行フコトヲ得ル迄ニハ經過期間ノ必要アリト考ヘラルルヤ

若シ一切ノ形式ニ於ケル強制労働ノ使用ヲ禁止スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇スルコト可能ナリ
ト考ヘラレサルカ又ハ禁止カ可能ナルモ經過期間ノ必要アリト考ヘラルルトキハ國際労働總會ハ強制

労働ノ使用ヲ制限シ且規律スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

二、右條約ハ一締盟國ニ依ル其ノ批准カ當該國ノ殖民地及保護國ニ對シ平和條約第四百二十一條ニ規定セラレタル留保又ハ變更ヲ加ヘスシテ條約ヲ適用スルコトヲ意味スヘキ様ニ起草スヘシト考ヘラルルヤ

三、右條約ノ目的ノ爲強制労働ヲ左ノ如ク定義スルコトニ同意セララルルヤ

労働者カ自ラ任意的ニ申出ツルニ非スシテ不履行ニ對スル處罰ノ脅威ノ下ニ或ル者ヨリ之カ遂行ヲ強要セラルル一切ノ作業又ハ勞務

四、緊急(不可抗力)ノ場合ハ之ヲ條約ノ適用範圍外トスヘシト考ヘラルルヤ若シ然リトセハ「緊急ノ場合」ヲ左ノ如ク定義スルコトニ賛成セララルルヤ

本條約ノ目的上緊急ノ場合トハ戰爭及住民ノ全部又ハ重要ノ部分ノ生存又ハ幸福ヲ危殆ナラシムル一切ノ事件例ヘハ火災、洪水、飢饉、地震、猛烈ナル傳染病又ハ家畜流行病、獸類、昆虫類又ハ植物ノ害物ノ侵害等ノ發生シタル場合

五、地方住民ノ間ニ傳統的且慣習的ナル種類ノ村落ノ勞務ニシテ右村落内ノ住民ニ依リ村落ノ附近ニ於テ遂行セラルルモノハ社會集團ノ構成員ニ課セラルル普通ノ義務ニシテ第三問ニ掲ケラルル定義ノ意味ニ於ケル強制労働ヲ構成セサルモノト考フルコトヲ得ルモノト考ヘラルルヤ

六、(イ) 強制労働ノ使用ニ付責任アル官廳ハ首府所在國ノ官廳タルカ又ハ右カ不可能ナルトキハ當該地方ニ於ケル最高中央官廳タルヘシト考ヘラルルヤ

(ロ) 上級官廳カ地方的ノ公ノ目的ノ爲強制労働ヲ許可スルノ權限ヲ下級官廳ニ委任スル處ニ於テハ此ノ慣行ヲ廢スヘシト考ヘラルルヤ

(ハ) 權限アル官廳ハ未タ精細ナル規定ノ設ケナキ限リ地方下級官廳ノ監督ノ下ニ行ハルヘキ強制労働ニ付條件ヲ精確ニ定ムヘク且是等ノ條件ハ服役者ノ種類、各個人ノ最長服役期間、労働時間、賃銀、補償及監督ニ關シ權限アル官廳自體ニ依リ課セラルル強制労働ノ實行ニ付本質問書中ニ指示セララルル處ヨリハ劣レルモノタルヲ得スト考ヘラルルヤ

七、權限アル官廳ハ第十二問ニ掲ケラルル強制労働ノ外強制労働ノ使用ヲ許可スルニ先チ

(イ) 其ノ作業又ハ勞務ハ之ヲ爲スコトヲ要求セラルル社會集團ノ重要ナル直接利益ニ關スルモノタルコト

(ロ) 作業又ハ勞務ハ現實ノ又ハ緊急ノ必要性ヲ有スルモノナルコト

(ハ) 當該地方ニ於テ類似ノ作業又ハ勞務ニ對シ通常支拂ハルル賃銀率ヲ支拂フモ其ノ作業又ハ勞務ノ遂行ニ付任意労働ニ依ルコト不可能ナリト認メラレタルモノナルコト

(ニ) 當該作業又ハ勞務ハ利用シ得ヘキ勞力及作業ヲ爲ス能力ヲ考慮シ關係現住民ニ對シ過重ノ負擔

ヲ課スルモノニアラサルコト

ノ諸條件ヲ具備スルコトヲ要スト考ヘラルルヤ

八、権限アル官廳ハ如何ナル場合ニ於テモ私人、會社又ハ社會集團以外ノ團體ノ利益ノ爲ニ強制勞働ヲ課シ又ハ課スルコトヲ許可スヘカラスト考ヘラルルヤ

斯ル強制勞働ノ現存スル處ニ於テハ能フ限り速ニ之ヲ廢止ルル爲全力ヲ盡スヘシトノ意見ヲ有セラルルヤ

尙ホ右ノ廢止ノ爲時間上ノ制限ヲ定ムヘシト考ヘラルルヤ若シ然リトセハ如何ナル時間上ノ制限ヲ提議セラルルヤ

九、部落ノ會長カ強制勞働ニ關シ傳統的權利ヲ保有スル處ニ於テハ行政官廳ハ能フ限り會長ノ其ノ住民ニ對スル傳統的權力ヲ維持スルノ必要ヲ考慮シ右ノ勞働カ公ノ目的ニ向ケラレ且之カ實行ノ條件カ行政官廳ノ強制ノ下ニ行ハルル類似ノ性質ノ作業ト同一ノ方法ニ於テ規津セラルヘキコトヲ確保スヘシト考ヘラルルヤ

十、行政官廳ノ官吏ハ其ノ管轄下ノ住民ニ對シ何等カノ形態ノ勞働ニ從事スルコトヲ獎勵スヘキ義務アリト雖モ住民ヲ強要シテ私的使用者ノ爲ニ勞働セシムルコトヲ得ストスヘシト考ヘラルルヤ

十一、個人又ハ會社ニ與ヘラルル免許ハ右ノ個人又ハ會社カ利用シ又ハ取引スル生産物ヲ得ル爲何等

カノ強制方法ニ依ルコトヲ許容スルコトヲ得スト考ヘラルルヤ且既ニ右ノ如キ免許カ現存スル場合ニハ(イ)此ノ種ノ如何ナル取極メヲモ終熄セシムルカ如キ方法ニ依ルノ外之ヲ更新スルコトヲ得ス且(ロ)未タ更新期ニ達セサル現存ノ免許ニ付テモ同様ノ方法ニ依リ且能フ限り速ニ之ヲ變更スル爲凡ユル努力ヲ盡スヘシト考ヘラルルヤ

十二、強制勞働カ租税ニ等シキモノ又ハ之ニ代フルモノトシテ要求セラルル處ニ於テハ此ノ慣行ハ能フ限り速ニ廢止スヘク且之カ廢止迄ハ権限アル官廳ハ

(イ) 其ノ作業又ハ勞務ハ之ヲ爲スコトヲ要求セラルル社會集團ノ重要ナル直接利益ニ關スルモノタルコト

(ロ) 作業又ハ勞務ハ現實ノ又ハ緊急ノ必要性ヲ有スルモノナルコト

(ハ) 當該作業又ハ勞務ハ利用シ得ヘキ勞力及作業ヲ爲ス能力ヲ考慮シ關係現住民ニ對シ過重ノ負擔ヲ課スルモノニアラサルコト

(ニ) 勞働者ハ其ノ作業ノ遂行中其ノ自宅ノ附近ニ止マルモノナルコト

(ホ) 作業又ハ勞務ノ遂行ハ宗教、社會生活及農業ノ必要ニ從テ地方官廳ニ依リ指揮セラルヘキモノナルコト

ノ諸條件ヲ具備スルコトヲ要スト考ヘラルルヤ

十三、(イ) 強制労働カ尙ホ現存スル地域ニ於テハ斯ル労働ノ組織ニ關シ未タ完全ニシテ精細ナル規則ノ設ケナキ限リ右ノ如キ規則ヲ採用スヘク且右規則ハ強制労働ニ關スル統計ノ蒐集及記録就中作業ノ組織、就業時間及賃銀支拂方法ニ付規定スヘキモノト考ヘラルルヤ

(ロ) 強制労働カ現存スル領域ニ於テハ其ノ實行ヲ規律スル法律規定又ハ行政命令ハ權限アル官廳ニ於テ關係アル労働者及労働者ノ徵集セラルヘキ住民ニ其ノ意味ノ通スル様一又ハ二以上ノ土人語ヲ以テ印刷シ(及廣ク散布シ)且右印刷物ノ寫ハ原價ニテ労働者又ハ其ノ他ノ者ノ利用ニ供スヘキモノト考ヘラルルヤ

十四、任意労働ノ監督ノ爲ニ設ケラレタル現在ノ労働監督官廳ノ職務ヲ擴張シテ強制労働ノ監督ヲ行ハシムヘク又斯ル監督官廳無キトキハ強制労働ノ使用ヲ取締ル規則ノ嚴格ナル適用ヲ確保スル爲一切ノ場合ニ於テ他ノ適當ナル措置ヲ構スヘキモノト考ヘラルルヤ

十五、強制労働ノ不法ナル強要ハ之ヲ刑法上ノ犯罪トシテ處罰スヘク且右刑罰ハ眞ニ適切ノモノトスヘシト考ヘラルルヤ

十六、十八歳以上ノ成年男子ノミカ左ノ制限及條件ニ從テ強制労働ニ徵集セラルヘキモノト考ヘラルルヤ

(イ) 政府ノ醫務官ニ於テ關係アル者カ傳深病ニ罹リ居ラサルコト及右ノ者カ要求セラレタル作業及

之ヲ行フヘキ條件ニ身體上適スルコトヲ豫メ決定スルコト

(ロ) 雇傭契約ニ依リテ既ニ義務ヲ有スル者ヲ免除スルコト

(ハ) 學校ノ教師及生徒ヲ免除スルコト

(ニ) 各社會集團ニ於テ家族及社會生活ニ必要トスル強壯ナル成年男子ノ數ヲ維持スルコト

(ホ) 夫婦及家族關係ヲ尊重スルコト

十七、労働者ヲシテ其ノ家族ヨリ別居セシムヘキ強制労働ニ服セシムル爲一定部落ヨリ一時ニ徵集セラルル者ノ數ハ其ノ部落ニ居住スル強壯ナル成年男子ノ一定割合ヲ超ユルコトヲ得スト考ヘラルルヤ右ノ割合ハ季節及關係者ニ依リ其ノ地方ニ於テ自己ノ爲ニ行ハルヘキ作業ニ應シテ規律セラルヘク且概シテ云ヘハ當該部落ノ普通生活ノ經濟的必要ヲ尊重スヘキモノト考ヘラルルヤ

最後ニ右ノ割合ハ之ヲ規定スヘシト考ヘラルルヤ且如何ナル割合ヲ提案セラルルヤ

十八、一切ノ種類ノ強制労働ニ徵集セラルル一労働者ノ通常ノ最長服役一期間ハ十二箇月ノ一期間中ニ於テ作業場所ニ往復スルニ要スル時間ヲ含ミ六十日ヲ超ユルコトヲ得ス又非常ニ遠距離ヨリ労働者ヲ移送スルヲ要スル如キ例外的ノ場合ニアリテハ二十四箇月ノ一期間中ニ於テ六箇月(右ノ期間中ニハ第十二問ニ掲ケラルル作業ニ使用セラルル期間ヲ含ムヘク且二十四箇月ノ繼續期間中ニ於ケル二箇月ノ如キ期間ハ少クトモ三箇月ノ期間ヲ以テ隔ツルコトヲ要スト解シテ)ヲ超ユルコトヲ得スト考ヘラルルヤ

非常ニ遠距離ヨリ労働者ヲ移送スル場合ニ於テハ一労働者カ一箇年中ニ右ノ如ク定メラレタル通常ノ最長期間(六十日ノ)又ハ定ムルコトヲ得ヘキ一層短キ最長期間ヨリモ長キ期間服役シタルトキハ右労働者カ服役シタル期間中ニ含まルル通常ノ最長期間ノ數ニ相當スル年數ノ間該労働者ヲ強制労働ヨリ免除スヘシト考ヘラルルヤ

一労働者カ第十二問ニ掲ケラルル作業又ハ勞務ノ爲ニ徵集セラルヘキ通常ノ最長服役期間ハ十二箇月ノ一期間中ニ三十日ヲ超ユルコトヲ得スト考ヘラルルヤ

十九、強制労働者ハ特別ノ必要アル場合ヲ除キ食物及氣候ヲ著シク異ニシ爲ニ其ノ健康ヲ害スル虞アルカ如キ地方ニ之ヲ移送スヘカラスト考ヘラルルヤ

右ノ移送カ避ケ難キ場合ニハ權限アル醫師ノ忠言ニ基キ食物及氣候ノ新條件ニ漸次慣レシムルノ措置ヲ執ルヘシト考ヘラルルヤ

如何ナル場合ニ於テモ労働者ノ移送ハ其ノ設備及保健ノ爲ノ一切ノ必要ナル措置ヲ嚴格ニ施スコトヲ得ルニ非サレハ之ヲ許スヘカラスト考ヘラルルヤ

強制労働者カ慣レ居ラサル規則正シキ労働ヲ爲スコトヲ要求セラルル場合ニ於テハ之ヲ規則正シキ労働ニ慣レシムルコトヲ確保スル爲メ特ニ漸進的訓練、労働時間、休憩時ノ定メ及必要ナル食物ノ増加又ハ改善ニ關シ必要ナル措置ヲ執ルヘシト考ヘラルルヤ

二十、強制労働者ノ通常ノ労働時間ハ任意労働ニ適用セラルル法定最長時間ヲ超過スヘカラスト且右ノ

最長時間ヲ超過スル労働時間ニ對シテハ通常ノ労働時間ニ對スルヨリモ高率ノ報酬ヲ支拂フヘシト考ヘラルルヤ

週休日ヲ規定スヘク且右休日ハ能フ限り關係アル領域又ハ地方ニ於ケル傳統又ハ習慣ニ依リテ定メラレタル日ト合致セシムヘシト考ヘラルルヤ

二十一、強制運輸労働者ノ場合ニ於テハ單ニ其ノ旅程ノミナラス道路ノ性質、季節、運搬物ノ重量其ノ他一切ノ關係事項ヲモ考慮スヘキモノト解シ通常ノ日程ヲ平均八時間労働ニ適應セシムヘク且一日ニ付八時間ヲ超ユル行程ヲ課シタルトキハ通常ノ賃銀率ヨリモ高率ノ報酬ヲ支拂フヘシト考ヘラルルヤ

二十二、左ノ如ク考ヘラルルヤ

(イ) 運輸労働者ヲ含ム強制労働者ニ對シテハ如何ナル場合ニ於テモ其ノ使用セラルル地方又ハ其ノ徵集セラルル地方ノ何レカ賃銀率ノ高キ地方ニ於テ類似ノ労働ニ付通常支拂ハルル處ヨリ低カラサル率ニ依リ現金ヲ以テ賃銀ヲ支給スヘキコト

(ロ) 賃銀ハ労働者一人毎ニ支拂ヒ其ノ會長其ノ他ノ權力者ニ支拂フヘカラサルコト

(ハ) 作業場所ニ往復スルニ要スル日數ハ賃銀支拂ノ目的上之ヲ作業日數トシテ計算スヘキコト

(ニ) 賃銀中ヨリノ控除ハ諸税支拂ノ爲ニモ又ハ労働者ヲシテ作業ヲ遂行スル状態ヲ維持セシムル目的ヲ以テ労働者ニ給セラルル特殊ノ食物、被服又ハ設備等ノ爲ニモ又ハ工具類ノ供給ノ爲ニモ一切之

ヲ行フヘカラサルコト

二十三、左ノ如ク考ヘラルルヤ

- (イ) 勞働狀態ニ基因スル災害又ハ疾病ニ對スル勞働者補償ニ關スル法律ハ任意勞働ニ對スルト同様ニ強制勞働ニ對シテモ等シク適用スヘキコト
- (ロ) 死亡シ又ハ無能力トナリタル勞働者ノ被扶養者ノ爲ノ補償ヲ規定スル法律ハ強制的タルト任意的タルトヲ問ハス一切ノ勞働ニ等シク適用スヘキコト
- (ハ) 横限アル官廳又ハ強制勞働者ヲ使用スル一切ノ官廳ハ災害又ハ疾病カ右勞働者ヲシテ全部的ニ又ハ一部のニ自己ヲ養フコトヲ不能ナラシムル場合ニ其ノ生存ヲ確保スル義務ヲ有スヘキコト
- (ニ) 強制勞働者カ其ノ自己ノ家庭ニ於テ生活シ居ラサル場合ニハ災害又ハ疾病カ其ノ勞働ニ基因スルカ否カニ付區別ヲ爲スヘカラサルコト
- (ホ) 全部的又ハ一部のノ永久的不能ノ場合ニハ不能ノ程度ニ應シテ計算セララルル手當ノ請求權ヲ確保スヘキコト
- (ヘ) 權限アル官廳ハ不能トナリ又ハ死亡シタル強制勞働者ノ被扶養者ノ生活ヲ確保スル措置ヲ執ルヘキコト
- (ト) 強制勞働者ノ疾病、傷害又ハ死亡ニ對スル補償又ハ手當ニ關スル現行法律又ハ行政命令ハ強制

勞働ニ關スル法律及命令ノ場合ニ規定セララルル方法ヲ以テ權限アル官廳ニ於テ之ヲ印刷シ、公示シ及販賣スヘキコト

- 二十四、(イ) 強制運輸勞働者以外ノ強制勞働者カ作業場所ニ於テ建設又ハ保存ノ事業ノ爲極メテ長期ニ亘リ滯留セシメララルル場合ニハ勞働者ノ健康ヲ保證シ且必要ナル醫療ヲ確保スル措置ヲ講シ尙ホ特ニ(一)作業開始ノ前及服役中一定期間毎ニ勞働者ノ體格検査ヲ行ヒ(二)事故ノ發生ニ備フル爲必要ナル藥局及病院ノ設備ト共ニ適當ナル醫療班ヲ設ケ(三)作業場所ノ保健狀態、飲料水、食糧、燃料及炊事道具並ニ必要ニ應シ住居及被服ノ供給ヲ確保スヘシト考ヘラルルヤ
- (ロ) 作業カ長期ニ亘ルトキハ就中強制勞働者ノ要求ニ基キ又ハ其ノ同意ヲ得テ安全ナル方法ヲ以テ賃銀ノ一部ヲ家族ニ送付スルコトヲ容易ナラシムルコトニ依リテ勞働者ノ家族ノ生計ヲ確保スル爲一定ノ措置ヲ執ルヘシト考ヘラルルヤ
- (ハ) 強制勞働者カ作業場所ニ往復スル旅行ハ利用シ得ヘキ一切ノ運輸手段ヲ最モ完全ニ使用シテ其ノ旅行ヲ便利ナラシムヘキ行政官廳ノ費用ニ於テ且其ノ責任ノ下ニ爲サルヘキモノト考ヘラルルヤ
- (ニ) 一定期間ノ作業ニ從事スルコトヲ不能ナラシムル疾病又ハ災害ノ場合ニ於テ權限アル官廳ノ費用ヲ以テ強制勞働者ノ送還ヲ確保スルコト必要ナリト考ヘラルルヤ
- (ホ) 強制勞働ノ期間滿了ノ際自由勞働者タラント欲スル勞働者ニハ其ノ無料ニテ送還セララルル權利

ヲ喪失セシメスシテ之ヲ許可スヘシト考ヘラルルヤ

(ヘ) 権限アル官廳ハ強制労働ノ方法ニ依ルコトヲ許可スルニ先チ本問ニ記載セル一切ノ措置ヲ適當ニ講スルノ可能性ヲ確認スヘシト考ヘラルルヤ

二十五、人又ハ貨物ノ運送ノ爲強制労働ヲ使用スル場合(荷物運搬夫、船頭其ノ他)ニハ権限アル官廳ハ就中左ノ事項ヲ規定セル規則ヲ公布スヘシト考ヘラルルヤ

(イ) 體格検査カ可能ナル場合ニハ肉體上適當ナル旨ノ健康證明ヲ得タル成年男子ヲ限リ此ノ種ノ労働ニ使用スヘキコト(ロ) 荷物ノ最大重量(ハ) 労働者ノ家庭ト服役地トノ最大距離(ニ) 一箇月又ハ他ノ期間ニ付服役スヘキ最大日數(ホ) 此ノ種ノ強制労働ヲ要求シ得ル者及之ヲ要求シ得ル限度

右ニ關シ荷物ノ最大重量、労働者ノ家庭ト服役地トノ最大距離、一箇月又ハ他ノ期間ニ付服役スヘキ最大日數ヲ幾干ト提議セラルルヤ

二十六、強制耕作ハ専ラ饑饉又ハ食糧供給ノ缺乏ニ備フル用意ノ手段トシテ且常ニ食糧又ハ生産物ハ賃銀ニ代ヘテ之ヲ生産シタル各個人又ハ部落ノ所有ニ歸スヘシトノ條件ノ下ニ採用セラルヘシト考ヘラルルヤ

尙ホ強制耕作ハ如何ナル場合ニ於テモ輸出スル爲農作物ノ生産ヲ促進スル目的ヲ以テ之ヲ課シ又ハ教育ノ手段トシテ之ヲ課スルコトヲ得スト考ヘラルルヤ

強制労働制度ノ採用以外ニ本問第一項ニ掲ケラレタル災厄ニ備フル用意ノ措置ヲ案出スルコト可能ナルヘシト考ヘラルルヤ

二十七、部落民ノ或ル者ニ依リ犯サレタル犯罪ニ對シ全部落ヲ罰スルコトヲ得ヘキ「團體的處罰法」

ハ處罰方法ノ一トシテ部落ニ依ル強制労働ニ關スル規定ヲ包含スヘカラスト考ヘラルルヤ

二十八、強制労働ハ地下労働ノ爲ニ使用スヘカラスト考ヘラルルヤ

乙、勸告ノ採擇ヲ目的トスル質問

第一

國際労働總會ハ關係住民ニ對シ労働ヲ強制スルニ至ルカ如キ壓迫ヲ加フルコトヲ避クル目的ヲ以テ未開地域ノ經濟的開發ニ關聯シ重要ナル事項ニ付注意ヲ喚起セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ利用シ得ヘキ労働量及住民ノ労働能力並ニ生活上及労働上ノ習慣ノ急激ナル變化カ住民ノ社會狀態ノ上ニ及ホス惡影響等ノ諸點ハ經濟的開發ニ關聯シテ考慮セラルヘキ要件ナルコト及特ニ右ノ諸點ハ

(イ) 其ノ地域ニ於ケル工業、鑛山業及農業的企業ノ數及範圍ノ増加

(ロ) 若シアラハ許可セラルヘキ土民ニ非サル者ノ居留地

(ハ) 森林其ノ他ノ免許ニシテ獨占的性質ヲ有シ又ハ有セサルモノ

等ヲ決定スルニ際シ考慮セラルヘキ要件ナルコトヲ勸告中ニ於テ表示スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

四五二

第二

國際勞働總會ハ住民ニ對シ經濟的壓迫ヲ人爲的ニ増加スルノ間接手段ニ訴ヘ特ニ

(イ) 私的企業ノ利益ノ爲ニ住民ニ勞働ヲ強制スル意思ヲ以テ定メタル稅率ニ依リ住民ニ課稅スルコト

ト

(ロ) 土地ノ所有、占有又ハ使用ニ付不法ナル制限ヲ設ケテ勞働者ノ完全ナル獨立生活ノ樹立ヲ困難

ナラシムルコト

(ハ) 一般的ニ承認セラレタル浮浪ノ意義ヲ濫リニ擴張スルコト

(ニ) 他人ニ使用セラルル勞働者ニ對シ他ノ勞働者ニ比シ有利ナル地位ヲ與フル結果ヲ生スルカ如キ

規則ヲ設クルコト

等ニ依リテ賃銀勞働ヲ求メシメントスルコトヲ非難セル勸告ヲ採擇スシト考ヘラルルヤ

第三

國際勞働總會ハ關係部落ノ食糧供給ヲ危殆ナラシメサル程度ニ於テ強制勞働ニ對スル要求ヲ取締ルコトノ必要ニ付注意ヲ喚起セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

第四

國際勞働總會ハ男子ニ課セラルヘキ強制勞働ニ關シ該勞働ノ負擔カ婦人及兒童ニ及フコトナキ様凡ユル注意ヲ拂フヘキコトヲ勸告スヘシト考ヘラルルヤ

第五

國際勞働總會ハ人又ハ貨物ノ運送ニ付強制勞働ニ依ルノ必要ヲ減スル爲凡ユル努力ヲ拂フヘキコト及特ニ動物又ハ機械ニ依ル運輸方法ヲ利用シ得ル時及場所ニアリテハ強制勞働ニ依ルコトヲ禁止スヘキコトヲ勸告スヘシト考ヘラルルヤ

第六

國際勞働總會ハ他ノ職業又ハ一定ノ地域若ハ産業ニ對スル任意ノ勞働移動ヲ阻止スル制限ヲ設クルコトヲ非難セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

決議案

委員會ハ強制勞働ノ廢止ヲ以テシテモ勞働者カ苦情ヲ述ヘ得ル一切ノ形式ノ強制勞働特ニ長期間ノ契約ヲ廢止スルニ至ラサルヘキコトニ鑑ミ總會カ國際勞働事務局ニ對シ能フ限り速ニ強制勞働ノ完全ナル廢止ノ問題ヲ次ノ何レカノ國際勞働總會ノ議題トスル目的ヲ以テ他ノ一切ノ場合ノ強制勞働ニ付必要ナル調査ヲ爲スヘキコトヲ命令センコトヲ要求ス

第四節 總會

第一款 總會ノ經過

(一) 質問書ニ關スル審議

強制労働ニ關スル委員會報告ハ六月十七日午後ノ第十八次會議、同十八日午前ノ第十九次會議、同二十日午前ノ第二十三次會議及同午後ノ第二十四次會議ニ於テ討議セラレタルカ先ツ委員會報告委員タル和蘭政府側代表「シユリーケ」氏ハ報告ノ詳細ニ付テハ之ヲ報告書ニ讓リ茲ニハ其ノ中ノ特異ナル點ノミヲ述フヘシ先ツ本報告書ハ他ノ委員會報告書ニ比スレハ甚シク浩瀚ナルカソハ本問題カ新ナル問題ナルノミナラス頗ル重要ナルモノト思料シタレハナリ而シテ委員會ニ於テハ正義人道ノ觀念ニ基キ強制労働ニ苦シミツツアル多數ノ人民ヲ救済スルノ精神ヲ以テ審議カ進メラレタリ固ヨリ各委員ノ間ニハ夫々立場ヲ異ニスルニ從テ意見ヲ異ニセル場合ナキニ非ス殊ニ團結權問題、労働時間問題及常設委員會設置問題ニ付テハ最モ議論ノ多キ問題ナリシカ右ニ關シテハ報告書ニ添附セラルル少數派報告ヲ見レハ明ナリト述ヘ次テ佛蘭西労働者側代表「ジューオー」氏ハ少數意見ヲ述フヘシト冒頭シ先ツ質問書案第一問中ニ強制労働ノ廢止ヲ挿入シ得タルハ満足ナルモ質問書ヲ全般的ニ見ルトキハ必スシモ此

ノ精神カ主流ヲ爲シ居ラス然レトモ又一面ヨリ見ルトキハ質問書案中隨所ニ強制労働者保護ノ規定ヲ存スルヲ以テ労働者團ハ質問書案ニ對シ賛成投票ヲ爲シタリ次ニ使用者團代表者ハ植民地國カ植民地ヲ開拓スヘキ義務アルコト及未開地ノ富源ヲ現狀ノ儘ニ放置スルコトハ文明ニ反スルコトヲ述ヘタルカ其ノ謹得シタル富ハ私人ノ有ニ歸セシムヘキモノニ非スシテ人類全體ノ爲ニ使用セサルヘカラス而シテ労働者團ハ之カ監督ノ爲ニ常設委員會ヲ設置スヘキコトヲ提案シタルニ使用者團及政府側ノ多クハ之ニ反對シタルカ其ノ理由ヲ解スルニ苦シムモノナリ又團結權ノ問題ニ付テハ土民労働者カ未タ組合組織運動ヲ爲ス迄ニ發達シ居ラストノ理由ノ下ニ労働團以外ノ者ハ凡テ之ニ反對シタルカ歐洲ニ於ケル組合運動ノ初期ニ於ケル状態ヲ想起セハ斯ル理由ハ決シテ探ルニ足ラス又八時間制労働問題ニ關シテモ多數意見ハ之ニ反對シタルカ總會ニ於テハ事務局原案カ復活スルコトヲ希望シテ止マス更ニ又會長ニ依ル強制労働ヲ慣行ナリトシテ認ムルコトノ不可ナルコトヲ指摘セサルヘカラス之ヲ要スルニ總會ニ於テ如何ナル決定ヲ見ルトスルモ假ニ本問題ニ關シ何等ノ國際的規律ノ方法ヲ講セストノ決定ニ到達シタリトスルモ猶ホ輿論ト稱スル規制ノ存スルコトヲ忘ルヘカラスト述ヘタリ

條約案ノ採擇ヲ目的トスル質問

第一問

次テ議長ハ一般討議ト同時ニ質問書案第一問ニ關スル討議ヲ開クヘキコトヲ提案シ右手續ノ承認セラ

ルルヤ和蘭政府側代表「ノールレンス」氏ハ少數派報告ヲ見ルニ恰モ本總會カ單ニ質問書ヲ討議スルニ非スシテ條約案ヲ審議シツツアルカ如キ感ヲ抱カシム然レトモ此ノ點ハ誤解ナキヲ要ス余ハ質問書ニハ本問題ニ關スル一切ノ質問ヲ包含セシムヘキモノナリト解ス尙ホ私見ニ依レハ少數意見中ニハ相當理由ノ存スルモノアルモ唯之ヲ質問ト爲ス場合ニハ各國政府ノ回答ヲ故意ニ困難ナラシムルカ如キコトナキ様作成スルコトヲ要スト述ヘ印度使用者側顧問「ダス」氏ハ本問題ノ根本ハ強制労働ノ廢止ニ在リテ此ノ點ニ付テハ委員會ニ於テモ意見ノ一致ヲ見タリ唯之カ實現ニ付テハ若干ノ困難ナル問題アリテ意見ノ相違ヲ來タシタルハ事實ナルモ全世界ヲ一率ノ労働條件ヲ以テ規律セントスルノ不可能ナルハ云フ迄モナシ次ニ長期契約労働ノ廢止問題ニ付テハ余ハ衷心ヨリ賛意ヲ表スルト共ニ同時ニ明年ノ總會ノ議題ト爲サンコトヲ望ムモノナリ殊ニ印度ニ於テハスル契約ニ依リ苦シミツツアル多數ノ労働者カ存スルヲ以テ斯ル制度ノ一日モ早ク廢止セラレンコトヲ希望ス又少數意見トシテ提出セラレタル土民労働ニ關スル委員會設置ノ問題ニ對シテハ強制労働問題ノ範圍外ナルヲ以テ反對セサルヲ得スト述ヘタリ

英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ労働者團ノ提出ニ係ル少數派報告ノ主要ナル點ハ五點ナリ第一點ハ團結權ノ問題ニシテ本問題ニ付テハ英吉利政府ハ常ニ賛意ヲ表シツツアル處ナルカ強制労働問題カ圓滿ニ審議セラレツツアル際ニ斯ル一石ヲ投シテ之ヲ混亂セシムルハ不可ナリ第二點タル八時間制ノ

確立ニ關シテハ之ヲ單ナル強制労働ノミノ問題トシテ取扱フコトナク任意労働ノ一般の問題トシテ考慮スヘキモノナリト云ハントス次ニ第三點ハ部落ニ於ケル強制労働ノ問題ナルカ此ノ點ニ付テハ労働者側ハ歐洲諸國ニ存スル資本主義ノ立場ヨリノミ批評スルモ斯ル觀念ヲ以テ強制労働ノ問題ヲ解決セントスルハ不可ナリ殊ニ部落ノ會長ニ依ル強制労働ハ永年ノ慣行ニ依ルモノナルコトヲ知ラサルヘカラス第四點トシテ掲ケラルル收税ノ爲ノ強制労働ノ問題ニ付テハ余モ亦之カ廢止ヲ希望ス然レトモ労働者ノ云フカ如ク此ノ問題ヲ質問書ヨリ削除スルトキハ現在行ハレツツアル此ノ種ノ強制労働ハ今後モ引續キ行ハルルコトトナルニ非スヤ余ハ労働者團カ何故ニ此ノ問題ヲ質問書ヨリ削除セントスルカ諒解ニ苦シム處ナリ最後ノ五點ハ強制労働ニ關スル統制ヲ目的トスル機關ヲ國際労働事務局内ニ設置スヘシトスル問題ナルカ之ニ對シテハ先ツ國際労働事務局ヲシテ斯ル仕事ヲ行ハシムルコトハ不可能事ヲ強ユルコトトナルヘシ又斯ル問題ニ關シテ國際的機關ヲ設置スルコトハ却テ目的トスル問題ノ解決ヲ困難ナラシムルニ至ルヘシ從テ英吉利トシテハ強制労働ノ濫用ヲ禁止スル捷徑ハ當該官吏ヲシテ取締ヲ勵行セシムルニ在リト認ムルモノナリ尙ホ余ハ強制労働ハ早晚廢止スヘキモ猶ホ當分ノ間ハ存續スルモノト思推セサルヲ得ス然ルニ「ジューオー」氏ハ強制労働ノ廢止ヲ希望スルカ故ニ經過規定ヲ設クルコトニハ反對ナリト云ヘルカ余ハ反問セン氏ハ災害ヲ欲セサルカ故ニ災害補償ノ規定ヲ設クルコトニ反對セラルルヤト述ヘタリ

英吉利労働者側代表「ブルトン」氏ハ吾人ハ歐洲諸國カ永ク土民労働ニ對シテ行ヒタル不正義ヲ出來得ル限リ償フヘキ義務ヲ有ス此ノ意味ニ於テ本質問書案ニ賛意ヲ表スルモノナリ次ニ事務局作成ノ追加報告書ヲ見ルニ英吉利ニ關シテ私的使用者ノ爲ニスル強制労働ニ關スル記載アリ之ニ付テ英吉利政府ハ速ニ適當ナル措置ヲ執ルヘキコトヲ希望ス労働者團ノ提出ニ係ル修正案ハ凡テ合理的ノモノニシテ之カ總會ニ於テ採擇セラルヘキコトヲ望ンテ止マサルモノナリトシ時間制ノ問題ニ付テモ自己ノ意思ニ依ラスシテ労働ヲ強制セラルル労働者ニ對シテ歐洲ニ於ケルト同様ナル労働時間制ヲ定ムルコトハ必要ナリト述ヘタリ

佛蘭西労働者側代表「ジューオー」氏ハ少數意見ニ對シテ述ヘラレタル反對意見ニ答フヘシト前提シ如何ナル總會ニ於テモ労働者ハ空想家ナリト看做サレツツアルカ吾人ハ常ニ實際ヲ重ンシ實行シ得サルカ如キ提案ハ決シテ爲サス常設委員會ノ設置問題ニ關シ英吉利政府代表ハ不可能事ヲ強ユルモノナリト論シタルモ余ハ國際労働事務局カスル責任ヲ負擔スルコトヲ不可能ナリトハ思惟スルコトヲ得ス蓋シ現ニ強制労働問題ニ關シテ専門家委員會存スルカ之カ故ニ國際労働事務局カ輿論ノ反感ヲ買ヒタリト云フカ如キコトナク又之カ爲ニ國家ノ主權カ侵害セラレタリト考フルコトヲ得サルニ非スヤ余ハ決シテ國家ノ主權ヲ侵害スルコトヲ欲セス然レトモ國際労働總會ハ各國ノ國內的利害關係ノミヲ取扱フコトヲ得ス更ニ又總會ハ國際的立場ヨリ問題ヲ考慮セサルヘカラス從テ之ヲ欲セサル國家ハ凡テノ國

際的規約ニ反對スルモノナリト斷セサルヘカラサル結果トナルヘシ次ニ時間制問題ニ關シテ反對論者ハ華盛頓條約中ニ例外規定ノ存スルコトヲ以テ反對ノ理由ト爲シタルカ右ノ例外規定ハ歐洲ト著シク氣候ヲ異ニスル地方ニ例外的ニ認メラルル趣旨ニシテ原則トシテハ世界ノ何レノ地方ニ於テモ労働時間ハ八時間ヲ最大限度トスヘク況ンヤ殖民地ノ如キニ在リテハ之レ以上ノ労働ヲ強ユルコトハ一層困難ナルヘシ又團結權ノ問題ニ關シテハ前回ノ總會ニ於テ質問書ヲ作成スルコト能ハサリシハ事實ナルモ右ハ手續上ノ問題タリシニ過キス之ヲ以テ團結權ノ問題ヲ今回ノ質問書ニ挿入スルコトヲ得ストスル理由ト爲スコトヲ得サルヘシ余ハ諸君カ今日ノミヲ考ヘスシテ明日ヲモ考ヘラレンコトヲ望ム余ハ諸君カ人類ノ一般の福利ヲ想ヒ労働者團ニ依リ提出セラレタル修正案ニ合流センコトヲ望ムモノナリト述ヘタリ

斯クテ質問第一ニ付テノ討議ヲ終リタルカ本問ニ關シテハ異議ナク可決セラレタリ

第二問乃至第八問

是等ノ諸問ニ付テハ異議ナク可決セラレタリ

第九問

本問ニ關シテハ労働者團ヨリ之ヲ削除スヘシトノ修正案提出セラレタルカ先ツ和蘭労働者側顧問「ハジー、サリム」氏ハ「スマトラ」ニ於ケル事例ヲ引用シ會長ノ財源ハ強制労働ノ使用ニ依リテ維持セラ

レ從テ會長ハ強制労働ノ使用權ヲ濫用スルノ傾向アリ即チ鐵道及道路等ノ完備セル地方ニ於テハ強制運輸労働者ヲ使用スル必要ナキニ拘ラス之ヲ使用シツツアリ更ニ注意スヘキコトハ此等ノ會長ハ決シテ部落民ノ代表者ニ非サルコトナリ彼等ハ首府國ニ隸屬シテ其ノ援助ヲ受ケツツアリ右ノ理由ニ依リ余ハ本問ノ削除ヲ提案スト述ヘタリ

次ニ英吉利政府代表ハ左ノ修正案ヲ提出セリ

「強制労働カ傳統的權利ニ因リ行政作用ヲ行フ會長ニ依リ要求セラルル處ニ於テハ此ノ慣行ハ能ク限リ速ニ廢止シ且其ノ廢止迄ハ行政官廳ハ右ノ労働カ公共ノ目的ニ向ケラレ之カ實行ノ條件カ行政官廳ノ強制ノ下ニ行ハルル類似ノ性質ノ作業ト同一ノ方法ニ於テ規律セラルヘキコトヲ確保スヘシト考ヘラルルヤ」

英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ右ノ修正案ニ付説明スヘシトテ余ハ斯ル慣行カ存續スルコトヲ希望スルカ故ニ委員會ニ於テ意見ヲ述ヘ其結果質問第九トナリタルモノナリ然レトモ余ハ労働者側ノ意見ニモ讓歩シテ更ニ修正ヲ加ヘタルナリト述ヘ獨逸政府側顧問「フォン、レツ、ヘン、ベルヒ」氏ハ若シ會長ノ有スル權利ヲ廢止セハ夫レニ依リテ生スヘキ戰爭ニ付テ考慮セサルヘカラス蓋シ會長カ部落民ニ依リ承認セラルル世襲法ニ依リテ定メラルル場合ニハ戰爭カ起ルヘク且部落民ハ舉テ之ニ參加スヘキヲ以テナリサレハ平和的方法ヲ以テ會長ノ有スル權利ヲ直ニ廢止スルコトヲ得サル以上英吉利政府ノ提

出セル修正案ニ賛成セサルヲ得スト述ヘ佛蘭西労働者側代表「ジョー、オー」氏ハ英吉利政府ノ修正案ニ賛成スルヲ得サル理由ノ一ハ既ニ保健其ノ他ノ目的ヲ以テスル部落ノ労働ヲ認ムル以上更ニ會長ニ依ル強制労働ヲ認ムルノ必要ナシト云フニ在リ第二ニ前論者ハ戰爭ヲ欲セサルカ故ニ修正案ニ賛成ナリト論シタルカ會長ノ權利ヲ脅カスモノハ吾人ニ非スシテ武力ヲ以テ其ノ權利ヲ奪ヒタル殖民地國ニ非スヤ余ハ平和ヲ欲シ又正義ノ尊重ヲ欲スルカ故ニ修正案ヲ提出シタリト述ヘタリ

茲ニ於テ議長ハ討論ノ終結ヲ宣シ先ツ労働者側ノ修正案ニ對スル賛否ヲ舉手ニ問ヒタル處六十一票對三十八票ヲ以テ否決セラレ次テ英吉利政府ノ修正案ハ滿場一致ヲ以テ可決セラレタリ

第十問及第十一問

是等ノ質問ニ付テハ異議ナク可決セラレタリ

第十二問

本問ニ付テハ労働者團ヨリ之ヲ削除スヘシトノ修正案ノ提出アリタルカ先ツ和蘭労働者側顧問「ハジ、サリム」氏ハ質問書ニ掲ケラルヘキ強制労働ハ「公共ノ目的ノ爲ニスルモノ」(緊急ノ場合ニ於ケルモノ)ハ輕微ナル部落作業ヲ目的トスルモノ(會長ノ爲ニスルモノ)ノ四種アルカ之ヲ印度ノ實狀ニ就テ見ルニ是等ノ強制労働ノ爲ニ労働者ノ失フ日數ハ一年ニ約百七十五日ニ達スヘシ斯ノ如キ狀態ニテ更ニ收税ノ爲ノ強制労働ヲ認ムルノ必要何處ニ在リヤトテ労働者團提出ノ修正案ニ付説明スル處アリタ

ル後本修正案ハ結局五十二票對三十六票ヲ以テ否決セラレ本問ハ原案通り可決セラレタリ

第十三問

次ニ第十三問ノ審議ニ移リタルカ労働者團ハ第十三問(其ノ二)トシテ左ノ如キ新ナル質問ヲ追加スヘキコトヲ提案セリ

「官廳ニ對シ労働状態ニ關スル一切ノ異議ヲ申立テ且之ニ關シ交渉スル爲強制労働者及其ノ他一切ノ土民労働者ニ許スヘキ一定ノ手續ヲ設クハシト考ヘラルルヤ」

此ノ點ニ關シ佛蘭西労働者側代表「ジューオー」氏ハ若シ政府側カ此ノ問題ニ付反對スヘシトノ訓令ヲ受ケ居ルトスルモ余ハ政府代表カ良心ノ命スル處ニ從フコトヲ望ムモノナリ嘗テ諸君ハ土民労働者ノ安易ナル生活ヲ破壊セリ今ヤ其ノ代償トシテ保障ヲ與ヘサルヘカラス彼等ハ原始的ノ民族ナリト雖モ正義ヲ解セリ吾人ハ諸君カ道理ノ命スル處ニ從ヒ且將來全世界ノ人類カ平和ノ裡ニ融合スルコトヲ希望スルモノナリト述ヘ次テ和蘭政府側代表「ノーレンス」氏ハ余ハ三ツノ理由ニ依リ此ノ提案ニ賛成スルモノナリ第一ニ若シ吾人カ此ノ提案ヲ斥クルコトアラハ誤解ヲ招ク虞アルヘシ第二ニ蘭領東印度ニハ既ニ此ノ原則カ法律ニ依リ定メラレ居レリ第三ニ此ノ質問カ各國政府ニ於テ研究セラルルコトハ意義アルコトナリ以上ノ理由ニ依リ余ハ小數派報告ニ於テ掲ケラレタル他ノ二ツノ修正案ニモ賛意ヲ表スト述ヘタリ

茲ニ於テ議長ハ労働者團ノ修正案ハ多數派報告通りノ第十三問ニ影響ナキヲ以テ之ヲ採擇スヘシト宣

シ次テ労働者團ノ修正案タル第十三問(其ノ二)ノ賛否ヲ問ヒタル處六十一票對二十六票ヲ以テ可決セラレタリ

第十四問乃至第十九問

是等ノ質問ニ關シテハ異議ナク可決セラレタリ

第二十問

本問ニ關シテハ其ノ第一項ニ付労働者團ヨリ左ノ修正案提出セラレタリ

「強制労働者ノ通常ノ労働時間ハ一日八時間一週四十八時間ヲ超過スヘカラス且超過時間ノ労働ニ對シテハ通常ノ労働時間ニ對スルヨリモ高率ノ報酬ヲ支拂フヘシト考ヘラルルヤ」

先ツ南阿労働者側代表「アンドリュース」氏ハ事務局原案第十八問カ修正セラレテ委員會案第二十問トナリタルカ此ノ兩者ノ間ニハ著シキ差異アリ労働者カ自己ノ意思ニ反シテ労働ヲ強制セラルル場合ニハ八時間制ノ保護ヲ受クルコトハ當然ナリ然カモ第二十一問ニ於テハ強制運輸労働者ノ八時間制ヲ認ムル以上一般ノ強制労働者ニ對シテモ之ト同様ノ取扱ヲ爲スコトヲ得サル理由ナシト論シ獨逸政府側顧問「フォン、レップ、ヘルヒ」氏ハ本修正案カ可決セラレタリトスレハ幾多ノ實際上ノ不便ヲ生スヘシ即チ強制労働者ト任意労働者トカ共ニ労働ニ從事スルカ如キ場合ニ於テハ兩者ヲ區別スルコト頗ル困難ナルヘク又強制運輸労働者ニ八時間制ヲ強制スル場合ニモ同様實際上ノ不便アルヘキヲ以テ強制勞

働ト任意勞動トノ間ニハ差別ヲ設ケサルヲ可トスト述ヘタリ

茲ニ於テ勞動者團ヨリノ修正案ヲ表決ニ付シタル處右ハ五十二票對二十九票ヲ以テ可決セラレタリ

第二十一問乃至第二十八問

第二十一問、第二十二問、第二十三問、第二十四問及第二十五問ハ何レモ異議ナク可決セラレ第二十六問ハ四票ノ反對アリタルノミニテ可決セラレ又第二十七問及第二十八問ハ異議ナク可決セラレタリ第二十九問

次ニ勞動者團ヨリ左ノ質問ヲ追加スヘントスル修正案ノ提出アリタリ

國際勞動事務局ニ附屬シテ土民勞動ニ關スル常設委員會ヲ創設スルコト便宜ナルヘシト考ヘラルル

ヤ

土民勞動ニ關スル條約案ニ付テノ第四百八條ニ依ル報告ハ本委員會ニ送付セラルヘシト考ヘラルル

ヤ

右委員會ハ土民勞動ニ依リテ生シタル其ノ他ノ問題ノ考究ヲ委セラルヘシト考ヘラルルヤ

英吉利政府側顧問「ヴァーノン」氏ハ若シ強制勞動ニ關スル條約案カ採擇セラレ且批准セラレタリトセハ現在ノ「ヴェルサイユ」條約ノ規定ニ依リ當該國政府ハ條約ニ關スル年報ヲ國際勞動事務局ノ理事會ニ提出セサルヘカラス而シテ理事會ハ之ヲ處理スルニ必要ナル智識ト經驗トヲ有スルコトヲ確信ス而

シテ若シ何等カノ疑問ノ存スル場合ニハ何時ニテモ專門委員會ヲ任命スルコトヲ得ヘク之ニ對シテ余ハ何等ノ反對意見ヲ有スルモノニ非ス既ニ斯ル手續ノ存スル以上殊更ニ大規模ナル委員會ヲ設置スルノ必要ヲ認ムルコトヲ得ス然カモ少數派報告ニ依レハ右ノ機關ハ有効ナル統制力ヲ有スヘク且強制勞動ノミナラス土民勞動ニ關スル他ノ問題ノ研究ヲモ爲スモノノ如シ斯クノ如キハ國際勞動事務局ノ權限ヲ擴張シ且英吉利政府ノ考ヘサリシ新ナル機關ヲ創設セントスルモノニシテ余ハ遺憾ナカラ反對スルノ外ナシト述ヘ瑞典勞動者側顧問「バックランド」氏ハ此ノ問題ハ國際聯盟ニ起源スルモノナリ國際聯盟ノ各機關ノ權限ハ理事會ニ依リ定メラル即チ常設委任統治委員會ハ理事會ニ依リ與ヘラレタル指令ノ範圍外ニ出ルコトヲ得ス國際勞動機關及之ニ附設セラルル委員會亦然リ今日迄吾人ハ殖民地ノ問題ニ關シ何等ノ責任ヲ執ルコトヲ爲ササリシカ今ヤ本問題ニ關スル質問書ヲ採擇スルコトニ依リ責任ヲ果サントシツツアリ而シテ吾人ノ欲スル處ハ條約カ採擇セラレ批准セラレ其ノ結果カ總會ニ於テ審議セララル時ニ於テ權威アル調査機關ヲ設ケントスルニ在ルノミナリト述ヘタリ

次テ提案者側ニ於テハ本修正案ニ對シ更ニ「常設委員會」ヲ「常設專門家委員會」ニ又「土民勞動」ヲ「強制勞動」ト修正スヘキ旨ヲ提案セリ

茲ニ於テ議長ハ本案ニ付記名投票ニ依リ賛否ヲ問ヒタル處五十九票對四十九票ヲ以テ可決セラレタリ次テ質問書甲全部ニ付表決ヲ行ヒタル處八十三票對十七票ヲ以テ採擇セラレタリ

次テ質問書乙ハ異議ナク原案通り採擇セラレタリ

(二) 決議案ノ審議

次テ決議案ノ審議ニ移レルカ和蘭勞働者側代表「クーベルス」氏ハ強制勞働ト長期契約勞働トノ差異ハ歐洲諸國ノ勞働者ニ於テハ明ニ之ヲ認メ得ヘシ蓋シ長期契約勞働者ハ其ノ契約ノ内容ヲ諒知シ而シテ相手方ノ契約違反ニ對シテハ勞働組合ノ力ニ依リ又ハ政黨ノ力ニ依リテ救済セラルルノ方法アレハナリ然レトモ土民勞働者ノ場合ニ在リテハ長期契約勞働ハ名ハ契約ト云フモ實ハ強制勞働ト大差ナク特ニ勞働者ノ契約違反ニ對シテ處罰規定ヲ設クルモノアルハ注意スヘシトテ蘭領東印度ニ於ケル長期契約勞働者ノ悲惨ナル實狀ヲ詳細ニ説明シタリ

斯クテ本案ハ六十四票對二十一票ヲ以テ採擇セラレタリ

次テ議長ハ總會議事規則第六條第五項ノ規定ニ依リ強制勞働ノ問題ヲ明年ノ總會ノ議題トスルコトニ付採決スヘシト宣シ記名投票ヲ行ヒタル處百一票對十五票ヲ以テ可決セラレタリ

第二款 總會採擇ノ質問書及決議

強制勞働ニ關スル質問書

甲、條約案ノ採擇ヲ目的トスル質問

一、國際勞働總會ハ一切ノ形式ニ於ケル強制勞働ノ使用ヲ禁止スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇ス

ヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ斯ル禁止ヲ充分ニ行フコトヲ得ル迄ニハ經過期間ノ必要アリト考ヘラルルヤ

若シ一切ノ形式ニ於ケル強制勞働ノ使用ヲ禁止スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇スルコト可能ナリ

ト考ヘラレサルカ又ハ禁止カ可能ナルモ經過期間ノ必要アリト考ヘラルルトキハ國際勞働總會ハ強制勞働ノ使用ヲ制限シ且規律スルコトヲ目的トスル條約案ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

二、右條約ハ一締盟國ニ依ル其ノ批准カ當該國ノ殖民地及保護國ニ對シ平和條約第四百二十一條ニ規定セラレタル留保又ハ變更ヲ加ヘスシテ條約ヲ適用スルコトヲ意味スヘキ様ニ起草スヘシト考ヘラルルヤ

三、右條約ノ目的ノ爲強制勞働ヲ左ノ如ク定義スルコトニ同意セラルルヤ

勞働者カ自ラ任意的ニ申出ツルニ非スシテ不履行ニ對スル處罰ノ脅威ノ下ニ或ル者ヨリ之カ遂行ヲ強要セラルル一切ノ作業又ハ勞務

四、緊急(不可抗力)ノ場合ハ之ヲ條約ノ適用範圍外トスヘシト考ヘラルルヤ若シ然リトセハ「緊急ノ場合」ヲ左ノ如ク定義スルコトニ賛成セラルルヤ

本條約ノ目的上緊急ノ場合トハ戰爭及住民ノ全部又ハ重要ノ部分ノ生存又ハ幸福ヲ危殆ナラシムル一切ノ事件例ヘハ火災、洪水、飢饉、地震、猛烈ナル傳染病又ハ家畜流行病、獸類、昆虫類又ハ植

物ノ害物ノ侵害等ノ發生シタル場合

四六八

五、地方住民ノ間ニ傳統的且慣習的ナル種類ノ村落ノ勞務ニシテ右村落内ノ住民ニ依リ村落ノ附近ニ於テ遂行セラルルモノハ社會集團ノ構成員ニ課セラルル普通ノ義務ニシテ第三問ニ掲ケラルル定義ノ意味ニ於ケル強制勞働ヲ構成セサルモノト考フルコトヲ得ルモノト考ヘラルルヤ

六、(イ) 強制勞働ノ使用ニ付責任アル官廳ハ首府所在國ノ官廳タルカ又ハ右カ不可能ナルトキハ當該地方ニ於ケル最高中央官廳タルヘシト考ヘラルルヤ

(ロ) 上級官廳カ地方的ノ公ノ目的ノ爲強制勞働ヲ許可スルノ權限ヲ下級官廳ニ委任スル處ニ於テハ此ノ慣行ヲ廢スヘシト考ヘラルルヤ

(ハ) 權限アル官廳ハ未タ精細ナル規定ノ設ケナキ限り地方下級官廳ノ監督ノ下ニ行ハルヘキ強制勞働ニ付條件ヲ精確ニ定ムヘク且是等ノ條件ハ服役者ノ種類、各個人ノ最長服役期間、勞働時間、賃銀、補償及監督ニ關シ權限アル官廳自體ニ依リ課セラルル強制勞働ノ實行ニ付本質問書中ニ指示セラルル處ヨリハ劣レルモノタルヲ得スト考ヘラルルヤ

七、權限アル官廳ハ第十二問ニ掲ケラルル強制勞働ノ外強制勞働ノ使用ヲ許可スルニ先チ

(イ) 其ノ作業又ハ勞務ハ之ヲ爲スコトヲ要求セラルル社會集團ノ重要ナル直接利益ニ關スルモノタルコト

(ロ) 作業又ハ勞務ハ現實ノ又ハ緊急ノ必要性ヲ有スルモノナルコト

(ハ) 當該地方ニ於テ類似ノ作業又ハ勞務ニ對シ通常支拂ハルル賃銀率ヲ支拂フモ其ノ作業又ハ勞務ノ遂行ニ付任意勞働ニ依ルコト不可能ナリト認メラレタルモノナルコト

(ニ) 當該作業又ハ勞務ハ利用シ得ヘキ勞力及作業ヲ爲ス能力ヲ考慮シ關係現住民ニ對シ過重ノ負擔ヲ課スルモノニアラサルコト

ノ諸條件ヲ具備スルコトヲ要スト考ヘラルルヤ

八、權限アル官廳ハ如何ナル場合ニ於テモ私人、會社又ハ社會集團以外ノ團體ノ利益ノ爲ニ強制勞働ヲ課シ又ハ課スルコトヲ許可スヘカラスト考ヘラルルヤ

斯ル強制勞働ノ現存スル處ニ於テハ能ク限り速ニ之ヲ廢止スル爲全力ヲ盡スヘシトノ意見ヲ有セラルルヤ

尙ホ右ノ廢止ノ爲時間上ノ制限ヲ定ムヘシト考ヘラルルヤ若シ然リトセハ如何ナル時間上ノ制限ヲ提議セラルルヤ

九、強制勞働カ傳統的權利ニ因リ行政作用ヲ行フ會長ニ依リ要求セラルル處ニ於テハ此ノ慣行ハ能ク限り速ニ廢止シ且其ノ廢止迄ハ行政官廳ハ右ノ勞働カ公ノ目的ニ向ケラレ之カ實行ノ條件カ行政官廳ノ強制ノ下ニ行ハルル類似ノ性質ノ作業ト同一ノ方法ニ於テ規律セラルヘキコトヲ確保スヘシト考ヘラルルヤ

四六九

十、行政官廳ノ官吏ハ其ノ管轄下ノ住民ニ對シ何等カノ形態ノ勞働ニ從事スルコトヲ獎勵スヘキ義務アリト雖モ住民ヲ強要シテ私的使用者ノ爲ニ勞働セシムルコトヲ得ストスヘシト考ヘラルルヤ

十一、個人又ハ會社ニ與ヘラルル免許ハ右ノ個人又ハ會社カ利用シ又ハ取引スル生産物ヲ得ル爲何等カノ強制方法ニ依ルコトヲ許容スルコトヲ得スト考ヘラルルヤ且既ニ右ノ如キ免許カ現存スル場合ニハイ此ノ種ノ如何ナル取極メヲモ終熄セシムルカ如キ方法ニ依ルノ外之ヲ更新スルコトヲ得ス且(ロ)未タ更新期ニ達セサル現存ノ免許ニ付テモ同様ノ方法ニ依リ且能フ限り速ニ之ヲ變更スル爲凡ユル努力ヲ盡スヘシト考ヘラルルヤ

十二、強制勞働カ租税ニ等シキモノ又ハ之ニ代フルモノトシテ要求セラルル處ニ於テハ此ノ慣行ハ能フ限り速ニ廢止スヘク且之カ廢止迄ハ權限アル官廳ハ

(イ) 其ノ作業又ハ勞務ハ之ヲ爲スコトヲ要求セラルル社會集團ノ重要ナル直接利益ニ關スルモノタルコト

(ロ) 作業又ハ勞務ハ現實ノ又ハ緊急ノ必要性ヲ有スルモノナルコト

(ハ) 當該作業又ハ勞務ハ利用シ得ヘキ勞力及作業ヲ爲ス能力ヲ考慮シ關係現住民ニ對シ過重ノ負擔ヲ課スルモノニアラサルコト

(ニ) 勞働者ハ其ノ作業ノ遂行中其ノ自宅ノ附近ニ止マルモノナルコト

(ホ) 作業又ハ勞務ノ遂行ハ宗教、社會生活及農業ノ必要ニ從テ地方官廳ニ依リ指揮セラルヘキモノナルコト

ノ諸條件ヲ具備スルコトヲ要スト考ヘラルルヤ

十三、(イ) 強制勞働カ尙ホ現存スル地域ニ於テハ斯ル勞働ノ組織ニ關シ未タ完全ニシテ精細ナル規則ノ設ケナキ限り右ノ如キ規則ヲ採用スヘク且右規則ハ強制勞働ニ關スル統計ノ蒐集及記錄就中作業ノ組織、就業時間及賃銀支拂方法ニ付規定スヘキモノト考ヘラルルヤ

(ロ) 強制勞働カ現存スル領域ニ於テハ其ノ實行ヲ規律スル法律規定又行政命令ハ權限アル官廳ニ於テ關係アル勞働者及勞働者ノ徵集セラルヘキ住民ニ其ノ意味ノ通スル様一又ハ二以上ノ土人語ヲ以テ印刷シ(及廣ク散布シ)且右印刷物ノ寫ハ原價ニテ勞働者又ハ其ノ他ノ者ノ利用ニ供スヘキモノト考ヘラルルヤ

(ハ) 官廳ニ對シ勞働狀態ニ關スル一切ノ異議ヲ申立テ且之ニ關シ交渉スル爲強制勞働者及其ノ他一切ノ土民勞働者ニ許スヘキ一定ノ手續ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十四、任意勞働ノ監督ノ爲ニ設ケラレタル現在ノ勞働監督官廳ノ職務ヲ擴張シテ強制勞働ノ監督ヲ行ハシムヘク又斯ル監督官廳無キトキハ強制勞働ノ使用ヲ取締ル規則ノ嚴格ナル適用ヲ確保スル爲一切ノ場合ニ於テ他ノ適當ナル措置ヲ講スヘキモノト考ヘラルルヤ

十五、強制労働ノ不法ナル強要ハ之ヲ刑法上ノ犯罪トシテ處罰スヘク且右刑罰ハ眞ニ適切ノモノトスヘシト考ヘラルルヤ

十六、十八歳以上ノ成年男子ノミガ左ノ制限及條件ニ從テ強制労働ニ徵集セラルヘキモノト考ヘラルルヤ

(イ) 政府ノ醫務官ニ於テ關係アル者カ傳染病ニ罹リ居ラサルコト及右ノ者カ要求セラレタル作業及之ヲ行フヘキ條件ニ身體上適スルコトヲ豫メ決定スルコト

(ロ) 雇傭契約ニ依リテ既ニ義務ヲ有スル者ヲ免除スルコト

(ハ) 學校ノ教師及生徒ヲ免除スルコト

(ニ) 各社會集團ニ於テ家族及社會生活ニ必要トスル強壯ナル成年男子ノ數ヲ維持スルコト

(ホ) 夫婦及家族關係ヲ尊重スルコト

十七、労働者ヲシテ其ノ家族ヨリ別居セシムヘキ強制労働ニ服セシムル爲一定部落ヨリ一時ニ徵集セラルル者ノ數ハ其ノ部落ニ居住スル強壯ナル成年男子ノ一定割合ヲ超ユルコトヲ得スト考ヘラルルヤ右ノ割合ハ季節及關係者ニ依リ其ノ地方ニ於テ自己ノ爲ニ行ハルヘキ作業ニ應シテ規律セラルヘク且概シテ云ヘハ當該部落ノ普通生活ノ經濟的必要ヲ尊重スヘキモノト考ヘラルルヤ

最後ニ右ノ割合ハ之ヲ規定スヘシト考ヘラルルヤ且如何ナル割合ヲ提案セラルルヤ

十八、一切ノ種類ノ強制労働ニ徵集セラルル一労働者ノ通常ノ最長服役期間ハ十二箇月ノ一期間中ニ於テ作業場所ニ往復スルニ要スル時間ヲ含ミ六十日ヲ超ユルコトヲ得ス又非常ニ遠距離ヨリ労働者ヲ移送スルヲ要スル如キ例外の場合ニアリテハ二十四箇月ノ一期間中ニ於テ六箇月(右ノ期間中ニハ第十二間ニ掲ケラルル作業ニ使用セラルル期間ヲ含ムヘク且二十四箇月ノ繼續期間中ニ於ケル二個ノ右ノ如キ期間ハ少クトモ三箇月ノ期間ヲ以テ隔ツルコトヲ要スト解シテ)ヲ超ユルコトヲ得スト考ヘラルルヤ

非常ニ遠距離ヨリ労働者ヲ移送スル場合ニ於テハ一労働者カ一箇年中ニ右ノ如ク定メラレタル通常ノ最長期間(六十日ノ)又ハ定ムルコトヲ得ヘキ一層短キ最長期間ヨリモ長キ期間服役シタルトキハ右労働者カ服役シタル期間中ニ含マルル通常ノ最長期間ノ數ニ相當スル年數ノ間該労働者ヲ強制労働ヨリ免除スヘシト考ヘラルルヤ

一労働者カ第十二間ニ掲ケラルル作業又ハ義務ノ爲ニ徵集セラルヘキ通常ノ最長服役期間ハ十二箇月ノ一期間中ニ三十日ヲ超ユルコトヲ得スト考ヘラルルヤ

十九、強制労働者ハ特別ノ必要アル場合ヲ除キ食物及氣候ヲ著シク異ニシ爲ニ其ノ健康ヲ害スル虞アルカ如キ地方ニ之ヲ移送スヘカラスト考ヘラルルヤ

如何ナル場合ニ於テモ労働者ノ移送ハ其ノ設備及保健ノ爲ノ一切ノ必要ナル措置ヲ嚴格ニ施スコトヲ

得ルニ非サレハ之ヲ許スヘカラスト考ヘラルルヤ

右ノ移送カ避ケ難キ場合ニハ權限アル醫師ノ忠言ニ基キ食物及氣候ノ新條件ニ漸次慣レシムルノ措置ヲ執ルヘシト考ヘラルルヤ

強制労働者カ慣レ居ラサル規則正シキ労働ヲ爲スコトヲ要求セラルル場合ニ於テハ之ヲ規則正シキ労働ニ慣レシムコトヲ確保スル爲テニ漸進的訓練、労働時間、休憩時ノ定メ及必要ナル食物ノ増加又ハ改善ニ關シ必要ナル措置ヲ執ルヘシト考ヘラルルヤ

二十、強制労働者ノ通常ノ労働時間ハ一日八時間一週四十八時間ヲ超過スヘカラス且超過時間ノ労働ニ對シテハ通常ノ労働時間ニ對スルヨリモ高率ノ報酬ヲ支拂フヘシト考ヘラルルヤ

週休日ヲ規定スヘク且右休日ハ能フ限り關係アル領域又ハ地方ニ於ケル傳統又ハ習慣ニ依リテ定メラレタル日ト合致セシムヘシト考ヘラルルヤ

二十一、強制運輸労働者ノ場合ニ於テハ單ニ其ノ旅程ノミナラス道路ノ性質、季節、運搬物ノ重量其ノ他一切ノ關係事項ヲモ考慮スヘキモノト解シ通常ノ日程ヲ平均八時間労働ニ適應セシムヘク且一日ニ付八時間ヲ超ユル行程ヲ課シタルトキハ通常ノ賃銀率ヨリモ高率ノ報酬ヲ支拂フヘシト考ヘラルルヤ

二十二、左ノ如ク考ヘラルルヤ

(イ) 強制運輸労働者ヲ含ム強制労働者ニ對シテハ如何ナル場合ニ於テモ其ノ使用セラルル地方又ハ

其ノ徵集セラルル地方ノ何レカ賃銀率ノ高キ地方ニ於テ類似ノ労働ニ付通常支拂ハラルル處ヨリ低カラサル率ニ依リ現金ヲ以テ賃銀ヲ支給スヘキコト

(ロ) 賃銀ハ労働者一人毎ニ支拂ヒ其ノ會長其ノ他ノ權力者ニ支拂フヘカラサルコト

(ハ) 作業場所ニ往復スルニ要スル日數ハ賃銀支拂ノ目的上之ヲ作業日數トシテ計算スヘキコト

(ニ) 賃銀中ヨリノ控除ハ諸税支拂ノ爲ニモ又ハ労働者ヲシテ作業ヲ遂行スル状態ヲ維持セシムル目的ヲ以テ労働者ニ給セラルル特殊ノ食物、被服又ハ設備等ノ爲ニモ又ハ工具類ノ供給ノ爲ニモ一切之ヲ行フヘカラサルコト

二十三、左ノ如ク考ヘラルルヤ

(イ) 労働状態ニ基因スル災害又ハ疾病ニ對スル労働者補償ニ關スル法律ハ任意労働ニ對スルト同様ニ強制労働ニ對シテモ等シク適用スヘキコト

(ロ) 死亡シ又ハ無能力トナリタル労働者ノ被扶養者ノ爲ノ補償ヲ規定スル法律ハ強制的タルト任意的タルトヲ問ハス一切ノ労働ニ等シク適用スヘキコト

(ハ) 權限アル官廳又ハ強制労働者ヲ使用スル一切ノ官廳ハ災害又ハ疾病カ右労働者ヲシテ全部的ニ又ハ一部分的ニ自己ヲ養フコトヲ不能ナラシムル場合ニ其ノ生存ヲ確保スル義務ヲ有スヘキコト

(ニ) 強制労働者カ其ノ自己ノ家庭ニ於テ生活シ居ラサル場合ニハ災害又ハ疾病カ其ノ労働ニ基因ス

ルカ否カニ付區別ヲ爲スヘカラサルコト

四七六

(ホ) 全部的又ハ一部のノ永久的不能ノ場合ニハ不能ノ程度ニ應シテ計算セラルル手當ノ請求權ヲ確保スヘキコト

(ヘ) 権限アル官廳ハ不能トナリ又ハ死亡シタル強制労働者ノ被扶養者ノ生活ヲ確保スル措置ヲ執ルヘキコト

(ト) 強制労働者ノ疾病、傷害又ハ死亡ニ對スル補償又ハ手當ニ關スル現行法律又ハ行政命令ハ強制労働ニ關スル法律及命令ノ場合ニ規定セラルル方法ヲ以テ権限アル官廳ニ於テ之ヲ印刷シ、公示シ及販賣スヘキコト

二十四、(イ) 強制運輸労働者以外ノ強制労働者カ作業場所ニ於テ建設又ハ保存ノ事業ノ爲極メテ長期ニ亘リ滞留セシメラルル場合ニハ労働者ノ健康ヲ保證シ且必要ナル醫療ヲ確保スル措置ヲ講シ尙ホ特ニ

(一) 作業開始ノ前及服役中一定期間毎ニ労働者ノ體格検査ヲ行ヒ

(二) 事故ノ發生ニ備フル爲必要ナル藥局及病院ノ設備ト共ニ適當ナル醫療班ヲ設ケ

(三) 作業場所ノ保健状態、飲料水、食糧、燃料及炊事道具並ニ必要ニ應シ住居及被服ノ供給ヲ確保スヘシト考ヘラルルヤ

(ロ) 作業カ長期ニ亘ルトキハ就中強制労働者ノ要求ニ基キ又ハ其ノ同意ヲ得テ安全ナル方法ヲ以テ賃銀ノ一部ヲ家族ニ送付スルコトヲ容易ナラシムルコトニ依リテ労働者ノ家族ノ生計ヲ確保スル爲一定ノ措置ヲ執ルヘシト考ヘラルルヤ

(ハ) 強制労働者カ作業場所ニ往復スル旅行ハ利用シ得ヘキ一切ノ運輸手段ヲ最モ完全ニ使用シテ其ノ旅行ヲ便利ナラシムヘキ行政官廳ノ費用ニ於テ且其ノ責任ノ下ニ爲サルヘキモノト考ヘラルルヤ

(ニ) 一定期間ノ作業ニ従事スルコトヲ不能ナラシムル疾病又ハ災害ノ場合ニ於テ権限アル官廳ノ費用ヲ以テ強制労働者ノ送還ヲ確保スルコト必要ナリト考ヘラルルヤ

(ホ) 強制労働ノ期間満了ノ際自由労働者タラント欲スル労働者ニハ其ノ無料ニテ送還セラルル權利ヲ喪失セシメスシテ之ヲ許可スヘシト考ヘラルルヤ

(ヘ) 権限アル官廳ハ強制労働ノ方法ニ依ルコトヲ許可スルニ先チ本問ニ記載セル一切ノ措置ヲ適當ニ講スルノ可能性ヲ確認スヘシト考ヘラルルヤ

二十五、人又ハ貨物ノ運送ノ爲強制労働ヲ使用スル場合(荷物運搬夫、船頭其ノ他)ニハ権限アル官廳ハ就中左ノ事項ヲ規定セル規則ヲ公布スヘシト考ヘラルルヤ

(イ) 體格検査カ可能ナル場合ニハ肉體上適當ナル旨ノ健康證明ヲ得タル成年男子ヲ限り此ノ種ノ労働ニ使用スヘキコト

四七七

- (ロ) 荷物ノ量大重量
 - (ハ) 勞働者ノ家庭ト服役地トノ最大距離
 - (ニ) 一箇月又ハ他ノ期間ニ付服役スヘキ最大日數
 - (ホ) 此ノ種ノ強制勞働ヲ要求シ得ル者及之ヲ要求シ得ル限度
- 右ニ關シ荷物ノ最大重量、勞働者ノ家庭ト服役地トノ最大距離、一箇月又ハ他ノ期間ニ付服役スヘキ最大日數ヲ幾干ト提議セラルルヤ
- 二十六、強制耕作ハ専ラ飢饉又ハ食糧供給ノ缺乏ニ備フル用意ノ手段トシテ且常ニ食糧又ハ生産物ハ賃銀ニ代ヘテ之ヲ生産シタル各個人又ハ部落ノ所有ニ歸スヘシトノ條件ノ下ニ採用セラルヘシト考ヘラルルヤ
- 尙ホ強制耕作ハ如何ナル場合ニ於テモ輸出スル爲農作物ノ生産ヲ促進スル目的ヲ以テ之ヲ課シ又ハ教育ノ手段トシテ之ヲ課スルコトヲ得スト考ヘラルルヤ
- 強制勞働制度ノ採用以外ニ本問第一項ニ掲ケラレタル災厄ニ備フル用意ノ措置ヲ案出スルコト可能ナルヘシト考ヘラルルヤ
- 二十七、部落民ノ或ル者ニ依リ犯サレタル犯罪ニ對シ全部ヲ罰スルコトヲ得ヘキ「團體的處罰法」ハ處罰方法ノ一トシテ部落ニ依ル強制勞働ニ關スル規定ヲ包含スヘカラスト考ヘラルルヤ

二十八、強制勞働ハ地下勞働ノ爲ニ使用スヘカラスト考ヘラルルヤ

二十九、國際勞働事務局ニ附屬シテ強制勞働ニ關スル常設專門家委員會ヲ創設スルコト便宜ナルヘシト考ヘラルルヤ

強制勞働ニ關スル條約案ニ付テノ第四百八條ニ依ル報告ハ本委員會ニ送付セラルヘシト考ヘラルルヤ

右委員會ハ強制勞働ニ依リテ生シタル其ノ他ノ問題ノ考究ヲ委セラルヘシト考ヘラルルヤ

乙、勸告ノ採擇ヲ目的トスル質問

第一

國際勞働總會ハ關係住民ニ對シ勞働ヲ強制スルニ至ルカ如キ壓迫ヲ加フルコトヲ避クル目的ヲ以テ未開地域ノ經濟的開發ニ關聯シ重要ナル事項ニ付注意ヲ喚起セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ利用シ得ヘキ勞働量及住民ノ勞働能力並ニ生活上及勞働上ノ習慣ノ急激ナル變化カ住民ノ社會狀態ノ上ニ及ホス惡影響等ノ諸點ハ經濟的開發ニ關聯シテ考慮セラルヘキ要件ナルコト及特ニ右ノ諸點ハ

- (イ) 其ノ地域ニ於ケル工業、鑛山業及農業的企業ノ數及範圍ノ増加
- (ロ) 若シアラハ許可セラルヘキ土民ニ非サル者ノ居留地
- (ハ) 森林其ノ他ノ免許ニシテ獨占的性質ヲ有シ又ハ有セサルモノ

等ヲ決定スルニ際シ考慮セラルヘキ要件ナルコトヲ勸告中ニ於テ表示スヘシトスルコトニ同意セラルルヤ

第二

國際勞働總會ハ住民ニ對シ經濟的壓迫ヲ人爲的ニ増加スルノ間接手段ニ訴ヘ特ニ

(イ) 私的企業ノ利益ノ爲ニ住民ニ勞働ヲ強制スル意思ヲ以テ定メタル稅率ニ依リ住民ニ課稅スルコト

(ロ) 土地ノ所有、占有又ハ使用ニ付不法ナル制限ヲ設ケテ勞働者ノ完全ナル獨立生活ノ樹立ヲ困難ナラシムルコト

(ハ) 一般的ニ承認セラレタル浮浪ノ意義ヲ濫リニ擴張スルコト

(ニ) 他人ニ使用セラルル勞働者ニ對シ他ノ勞働者ニ比シ有利ナル地位ヲ與フル結果ヲ生スルカ如キ規則ヲ設クルコト

等ニ依リテ賃銀勞働ヲ求メシメントスルコトヲ非難セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

第三

國際勞働總會ハ關係部落ノ食糧供給ヲ危殆ナラシメサル程度ニ於テ強制勞働ニ對スル要求ヲ取締ルコトノ必要ニ付注意ヲ喚起セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

第四

國際勞働總會ハ男子ニ課セラルヘキ強制勞働ニ關シ該勞働ノ負擔カ婦人及兒童ニ及フコトナキ様凡ユル注意ヲ拂フヘキコトヲ勸告スヘシト考ヘラルルヤ

第五

國際勞働總會ハ人又ハ貨物ノ運送ニ付強制勞働ニ依ルノ必要ヲ減スル爲凡ユル努力ヲ拂フヘキコト及特ニ動物又ハ機械ニ依ル運輸方法ヲ利用シ得ル時及場所ニアリテハ強制勞働ニ依ルコトヲ禁止スヘキコトヲ勸告スヘシト考ヘラルルヤ

第六

國際勞働總會ハ他ノ職業又ハ一定ノ地域若ハ産業ニ對スル任意ノ勞働移動ヲ阻止スル制限ヲ設クルコトヲ非難セル勸告ヲ採擇スヘシト考ヘラルルヤ

決議

強制勞働ノ廢止ヲ以テシテモ勞働者カ苦情ヲ述ヘ得ル一切ノ形式ノ強制勞働特ニ長期間ノ契約ヲ廢止スルニ至ラサルヘキコトニ鑑ミ總會ハ國際勞働事務局ニ對シ能フ限り速ニ強制勞働ノ完全ナル廢止ノ問題ヲ次ノ何レカノ國際勞働總會ノ議題トスル目的ヲ以テ他ノ一切ノ場合ノ強制勞働ニ付必要ナル調査ヲ爲スヘキコトヲ命令センコトヲ要求ス

第四章 給料被傭者ノ就業時間問題

第一節 總 說

第一款 問題ノ沿革

「ヴェルサイユ」平和條約第十三編前文ニハ一日又ハ一週ノ最長労働時間ノ制定ナル問題ヲ最緊要ナル問題ノ一トシテ掲ケ労働者カ筋肉労働ニ従事スルト非筋肉労働ニ従事スルトヲ問フコトナシ而シテ華府第一回國際労働總會ニ於テハ右前文ノ規定ヲ實現スル爲工業労働者ニ付テ時間制條約案ヲ採擇シ商業、農業及海上労働ニ關スルモノニ付テハ之ヲ後日ノ機會ニ讓ルコトトシタルカ其ノ後農業ニ於ケル労働時間ノ問題ハ一九二一年第三回労働總會ノ際佛蘭西政府代表ノ提議ニ基キ議題タルコトヨリ削除セラレタルモ海上労働時間ニ付テハ一九二〇年ノ「ゼノア」ニ於ケル第二回労働總會ニ於テ漁業及内水航路ニ従事スル者ノ労働時間ニ關シ二勸告ヲ採擇スル處アリ更ニ一九二九年十月ノ特別海事總會ニ於テ海上労働時間問題ヲ取扱フコトトナリ居レリ商業労働者ノ時間制ニ關シテハ既ニ華盛頓總會ニ於ケル時間制委員會ニ於テ國際的討議ノ可否ヲ論シ

當時ハ時期尙早ナリトシ之ヲ後日ニ讓ルコトトナリタルコト前述ノ通りナリ
 スクテ今日ニ至ル迄給料被傭者時間問題ニ付テハ何等國際的規律ヲ設クルニ至ラザリシモ近年ニ至リ
 其ノ必要ヲ叫ブノ聲頓ニ起リ例ヘハ一九二六年秋「モントルー」ニ開カレタル國際社會進步協會ノ大
 會ニ於テハ給料被傭者ニ對スル八時間制、土曜半休制等ヲ國際的ニ規律スヘシトノ決議ヲ採擇スル處
 アリ又右會議ノ直前同地ニ開カレタル國際被傭者大會ニ於テモ同様ノ決議ヲ採擇セリ
 次テ一九二七年第十回勞働總會ニ當リ瑞西勞働者側代表ハ左ノ如キ決議ヲ提出シ總會ノ可決スル處ト
 ナレリ

「平和條約カ一切ノ勞働者ノ勞働時間ヲ規律スヘキコトヲ規定セルニ鑑ミ

華盛頓條約カ一切ノ工業勞働者ニ關シテ勞働時間ヲ規律セルニ鑑ミ

且又或ル國ニ於テハ工業勞働者以外ノ勞働者（商業使用者）ノ勞働時間ヲ法律ヲ以テ規定セルモノ
 アルニ鑑ミ

總會ハ國際勞働事務局ノ理事會ニ對シ工業勞働者以外ノ一切ノ勞働者（商業使用者）ノ勞働時間ヲ
 國際的ニ規律スル問題ヲ近キ將來ノ總會ノ議題トスルノ可能性ヲ考究センコトヲ要求ス

勞働事務局ハ右決議ノ趣旨ニ從ヒ本問題ニ關スル調査ヲ行フコトトナリ理事會ハ一九二七年十月ノ會
 合ニ於テ事務局ヨリ提出セル報告ニ付一應ノ審議ヲ遂ケ翌一九二八年二月ノ理事會ニ於テ十二票對九

票ヲ以テ本問題ヲ第十二回總會ノ議題トスルコトト決定シタリ

而シテ第十二回總會ニ於テハ二回討議制ノ手續ニ依リ事務局ノ作成ニ係ル準備報告書ヲ基礎トシテ審
 議ヲ爲シ總會閉會後各國政府宛發スヘキ質問書ヲ決定スルコトトナリ居レリ

第二款 準備報告書ノ内容

國際勞働事務局ハ總會ニ於ケル討議ノ參考ニ資スル爲給料被傭者ノ就業時間問題ニ關スル準備報告書
 ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出スル處アリ右準備報告書ハ序論、第一章法律及慣行ノ概論、第二章現行立法
 ノ範圍、第三章通常ノ就業時間、第四章例外、第五章行政的措置及結論ヨリ成レルカ其ノ内容ノ大綱
 ヲ摘記スレハ左ノ如シ

序 論

序論ニ於テハ給料被傭者ノ就業時間問題カ國際勞働總會ノ議題トナレル沿革ヲ記述セリ

第一章

本章ニ於テハ概論トシテ立法又ハ團體協約ニ依ル時間制限問題ノ沿革及發達、給料被傭者ノミニ適用
 スルモノト筋肉勞働者ニモ適用スルモノトニ分ツテ現行法制ノ性質ヲ論シ更ニ歐洲諸國ニ於テ適用ヲ
 受クル被傭者ノ概數ヲ示セリ

第二章

本章ハ適用範圍ニ關スルモノニシテ企業ニ依ル定義ト被傭者其ノ者ニ依ル定義トヲ掲ケタリ

第三章

本章ニ於テハ通常ノ就業時間ニ關スル各國法制ノ比較研究ヲ爲シ先ツ就業時間ノ定義ヨリ始メ次テ各種企業ニ於ケル現行法制ノ分拆ヲ試ミ更ニ勞働時間ノ配列ニ關シ一日又ハ一週ニ依ル配分、土曜半休等ノ制度ヲ取扱ヒ次テ損失時間ノ補充ノ問題ヲ論セリ

第四章

本章ニ於テハ時間外勞働ノ問題ヲ論シタリ

第五章

本章ニ於テハ施行ノ問題トシテ時間表及記録、制裁等ノ問題及團體協約ト國際規定トノ關係ヲ論シタリ

結論

結論トシテハ以上各項目ニ亘リ各國ノ法制及實際ヲ調査シタル上本問題ニ關シ國際的規定ヲ設クルトセハ如何ナル點ニ付注意スヘキヤノ問題ヲ各項目毎ニ掲ケ之ニ添付スルニ質問書草案ヲ以テセリ尙ホ準備報告書ハ附録トシテ「メキシコ」及「アメリカ」合衆國ニ於ケル法制ノ大綱ヲ記述シ最後ニ本問題ニ關スル各國ニ於ケル主要法規ノ「リスト」ヲ掲ケ居レリ

第三款 質問書草案

國際勞働事務局ハ前款ニ記述シタルカ如キ準備報告書ヲ總會ニ提出スル處アリタルカ尙事務局ハ總會ニ於ケル討議ニ資スル爲質問書草案ヲ作成シ之ヲ右報告書中ニ添附セリ今其ノ全文ヲ掲クレハ左ノ如シ

給料被傭者ノ就業時間ニ關スル質問書草案

一、國際勞働總會ハ給料被傭者ノ就業時間ヲ國際的ニ規律スル爲條約案ヲ採擇スヘシトスルコト望マシト考ヘラルルヤ

適用範圍

二、條約案ノ適用範圍ハ「給料被傭者」ナル語ノ一般的定義ヲ基礎トスヘキモノト考ヘラルルヤ若シ然リトセハ如何ナル定義ヲ提議セラルルヤ

三、給料被傭者ナル語ノ定義ヲ基礎トシテ適用範圍ヲ決定スルコト可能ナリト考ヘラレサルトキハ條約案ハ左記ニ使用セラルル一切ノ者ヲ其ノ範圍中ニ包含スヘキモノト考ヘラルルヤ

(イ) 商業的企業

(ロ) 工業的企業タルト同時ニ商業的企業ト國內法ニ依リ工業的企業トシテ取扱ハレサル限リニ於テ

- (ハ) 従事員カ主トシテ事務所ノ事務ニ従事スル企業
- (ニ) 病者ノ豫防及治療ノ爲ノ施設
- (ホ) 劇場及公衆娛樂場

其ノ他如何ナル種類ノ企業ヲ提議セラルルヤ

四、條約案ハ企業カ

(イ) 公的タルト私的タルト

(ロ) 營利ノ目的ヲ以テ遂行セラルルト否ト

ヲ問ハス列舉セラレタル種類ノ一切ノ企業ニ之ヲ適用スヘキモノト考ヘラルルヤ

五、同一ノ家族ニ屬スル者ノミヲ使用スル企業ハ除外セラルヘシト考ヘラルルヤ

六、上掲ノ種類ノ企業ニ使用セラルル職員中若シアラハ如何ナル種類ノ者ヲ條約案ノ適用範圍ヨリ除外スヘシト考ヘラルルヤ

通常ノ就業時間

七、(イ) 條約案ハ其ノ適用アル一切ノ企業ニ於ケル至従業員ニ對シ一般的ノ一週最長就業時間ヲ規定スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ斯ル最長限ハ一週四十八時間タルヘシト考ヘラルルヤ若シ然ラストセハ最長限ヲ幾何

ト提議セラルルヤ

(ロ) 右ノ外一日ノ最長就業時間ヲ規定スルコト必要ナリト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ斯ル最長限ハ一日八時間タルヘシト考ヘラルルヤ

若シ然ラストセハ最長限ヲ幾何ト提議セラルルヤ

(ハ) 毎週ノ就業時間ハ一週中ニ於テ半日ノ休日ヲ許容スル如ク按排セラルヘシト考ヘラルルヤ
一般的例外

八、條約案ハ或ル種ノ業務又ハ或ル種ノ企業ニ使用セラルル者ニ付其ノ一日又ハ一週ノ最長就業時間ヲ通常ノ最長限ヨリモ長ク規定スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル種類ノ業務、如何ナル種類ノ企業ニ付且如何ナル最長限ヲ提議セラルルヤ
特別ノ取極メ

九、條約案ハ或ル種ノ業務又ハ或ル種ノ企業ニ使用セラルル者ニ付其ノ一日又ハ一週ノ最長就業時間ヲ通常ノ最長限ヨリモ短ク規定スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル種類ノ業務、如何ナル種類ノ企業ニ付且如何ナル最長限ヲ提議セラルルヤ
損失時間ノ補充

十、條約案ハ損失時間ヲ補充スルコトヲ許容スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル事情、如何ナル制限ノ下ニ之ヲ許容スヘキヤ
一時的例外

十一、條約案ハ左ノ場合ニハ一日又ハ一週ノ通常ノ最長就業時間ヲ一時的ニ延長スルコトヲ許容スヘ
シト考ヘラルルヤ

(イ) 災害及不可抗力ノ場合

(ロ) 損敗シ易キ商品ノ損失ヲ防止スル爲

(ハ) 店卸シ及定期的損益勘定ノ如キ特殊ノ業務

(ニ) 業務カ例外的ニ繁忙ナル場合及

(ホ) 若シアラハ他ノ如何ナル事情ノ下ニ

十二、右ノ例外ハ條約案中ニ於テ如何ナル條件及制限ニ從フヘキヤ

特ニ斯ル一切ノ例外ハ權限アル機關カ關係使用者團體及勞働者團體ノ存在スル場合斯ル團體ト協議ノ
上發スル國內規則ニ依リ規定セラルヘシト考ヘラルルヤ

通常ノ最長限ヲ超エテ就業シタル時間ハヨリ高キ率ニ依リ支拂ハルヘキヤ若シ然リトセハ如何ナル率
ヲ提議セラルルヤ

團體協約

十三、條約案中ニハ團體協約ニ依リ條約案ノ規定スル處ト全體トシテ少クトモ同様ノ利益アル就業時
間ニ關スル取極メノ適用アル者ニ付條約ノ規定ノ適用ヲ除外スルコトヲ許容スル條項ヲ包含スルコト
望マシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ斯ル取極メカ條約案ノ規定スル處ト同様ノ利益アルコトヲ確保スル爲如何ナル保障ヲ
規定スルコト必要ナリト考ヘラルルヤ

施行

十四、條約案ハ其ノ施行ノ爲執ララルル措置ニ付規定スヘシト考ヘラルルヤ
若シ然リトセハ一切ノ使用者ハ左ノ事項ヲ要求セラルヘシト考ヘラルルヤ

(イ) 政府ノ承認スル適當ナル方法ニ依リ始業終業ノ時刻ヲ告知スルコト

(ロ) 同様ノ方法ニ依リ就業時間中ニ於テ許容セラルヘキ休憩時間ヲ告知スルコト右休憩時間ハ就業
時間ノ一部トシテ計算セラルルコトナキモノトス

(ハ) 一切ノ超過時間ハ國內法ノ承認スル方法ニ依リ之ヲ記録スルコト

若シアラハ其ノ他如何ナル措置ヲ提議セラルルヤ

十五、平和條約第四百八條ノ規定スル年報中ニ記載セラルヘキ事項ヲ指示セル條項ヲ條約案中ニ包含
スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル事項ヲ提議セラルルヤ

第四款 審議ノ經過

總會ハ五月三十一日午後ノ第四次會議ニ於テ給料被傭者ノ就業時間問題ヲ審議セシムル爲各團二十六名計七十八名ヨリ成ル委員會ヲ設置スルコトニ決定シタルカ委員會ニ於ケル審議ニ先チ總會ニ於テ一般討議ヲ行フコトナリ六月四日午前ノ第八次總會會議ニ於テ之カ一般討議ヲ行ヒ審議ノ基礎トシテ事務局作成ノ原案ヲ委員會ニ附託スルコトト決定シタリ而シテ右一般討議ニ際シテハ丁抹使用者側代表ハ使用者團ヲ代表シテ委員會ノ事業ニハ參加スヘキモ本問題ニ關シ國際的規律ヲ爲スコトニハ反對ナル旨ヲ聲明シ政府側ニ於テハ瑞典政府代表ハ本問題ノ討議ヲ延期スヘシト述ヘタルカ伊太利、獨逸ノ政府代表ハ本問題ヲ此ノ際國際的ニ討議スルコトニ賛成ナル旨ヲ述ヘタリ

委員會ニ於テハ前後十二回ニ亘リ事務局原案ヲ基礎トシテ討議ヲ進メタルカ修正案ノ提出セラルルモノ六十四ノ多キニ達シ適用範圍、就業時間等ニ付テ種々ノ議論アリ結局原案ニ多少ノ修正ヲ加ヘ質問書ヲ作成シタリ

次テ總會ニ於テハ六月二十日午後ノ第二十四次會議及二十一日午前ノ第二十五次會議ニ於テ委員會ノ決定ニ係ル質問書ヲ審議シ九十二票對十五票ヲ以テ之ヲ委員會ノ決定通り可決シ次テ本問題ヲ明年ノ總會ノ議題トスルコトハ百三票對十七票ヲ以テ可決セラレタリ

第二節 總會ニ於ケル一般討議

給料被傭者就業時間問題ニ關シテハ委員會ニ於テ審議スルニ先チ先ツ六月四日午前ノ總會第八次會議ニ於テ之カ一般討議ヲ行ヒタルカ今各討論者ニ付順ヲ追ヒ其ノ論旨ヲ左ニ記述スヘシ

先ツ印度勞働者側顧問「カラツバ」氏ハ「ヴェルサイユ」條約ハ廣ク一般勞働者ノ就業時間ニ付規定スヘキ旨ヲ定ムルカ故ニ時間制問題ヲ給料被傭者ニモ及ホスヘキハ當然ノ事ナリトシ印度ニ於テハ給料被傭者ハ工業勞働者ニ比シ遙ニ不利ノ地位ニ在リ其ノ就業時間ハ一日十四時間乃至十六時間ノ長キニ及ヒ早朝ヨリ深夜迄就業スル狀況ナリト説明シ給料被傭者ノ就業時間ニ關シ條約案採擇セラルルニ至ラハ印度ニ於ケル被傭者ノ地位ヲ改善スルニ資スル處大ナルヘシト説キタリ

丁抹使用者側代表「エールステッド」氏ハ之ニ亞キ使用者團ノ本問題ニ對スル態度ヲ聲明スル處アリ即チ理事會ニ於テ本問題ヲ總會ノ議題ト決定スルニ當リ使用者團カ之ニ反對シタルハ被傭者ノ就業條件ヲ改善セントスルコトニ反對スルノ趣旨ニ出テタルモノニ非ス寧ロ反對ニ使用者トシテハ常ニ被傭者ト協力スルコトヲ惜マサルモノナルカ唯勞働時間ヲ國際的ニ規律スルニ當ツテハ從來種々ノ困難ニ遭遇セルヲ忘ルヘカラス假令就業時間ノ問題ヲ國內的ニ解決シ居レルモノアリトスルモ國際的ニ之ヲ取扱フハ未タ其ノ時機ニ非ス問題自體カ極メテ複雑ナルニヨリ之ヲ國內的ニ實施シ居ルモノヲ見ルモ其

ノ規定スル處多岐ニ亘リ到底國際的規定ヲ設クルコト困難ナリ且又本問題ハ國際競争ノ要素トシテハ重要ナルモノニ非サルヲ以テ必スシモ國際的解決ヲ圖ルノ必要ナシト述ヘ最後ニ上述ノ如キ事情存スルニモ拘ラス使用者團ハ本問題カ委員會ニ附託セラレタル場合之カ討議ニ參加スルヲ惜ムモノニ非スト聲明セリ

和蘭勞働者側顧問「ナウタ」氏ハ基督教被傭者ノ名ニ於テ被傭者ノ就業時間ヲ國際的ニ規律スルハ絶對的ニ必要ナリトテ多數ノ被傭者カ一日十時間以上勞働シ商店ニ使用セラルル者ノ如キハ十四時間以上モ勞働ニ從事シツツアルコトヲ指摘シ條約案中ニハ其ノ施行ヲ確保スル爲ノ規定ヲ設クヘシト説キ尙本問題ニ關スル困難ハ打破シ難キモノニ非スト述ヘタリ

瑞典政府側代表「ハンマルスケルド」氏ハ本問題ヲ國際的ニ取扱フハ未タ其ノ時機ニ非ス各國ノ法制カ未タ統一的程度ニ達シ居ラサルニ如何ニシテ實效アル國際的規定ヲ設クルコトヲ得ンヤ且又華盛頓時間制條約カ今ヤ改訂ノ時期ニ當リ其ノ運命豫測ヲ許ササルモノアル際被傭者ノ就業時間問題ヲ討議スルニ付テハ各國政府ニ於テモ困難ヲ感スルモノアルヘシ兎モ角モ瑞典政府ハ本問題ノ討議ハ之ヲ延期スルヲ希望スルモノナリト説キタリ

獨逸勞働者側顧問「フールマン」氏ハ被傭者ノ就業時間問題ノ重要ナル所以ヲ説キ委員會ニ於テハ店舖閉店時間、毎週半日ノ休暇等ノ問題ヲモ討究スルノ要アリトシ被傭者團體ハ總會カ満足ナル結果ニ

到達センコトヲ期待シツツアリト述ヘタリ

「ルクセンブルグ」勞働者側顧問「ベンメルス」氏ハ本問題ヲ國際的ニ討議スルハ平和條約ノ精神ニ適合スルノミナラス社會正義ノ要求ニ應スルモノナリト前提シ論者或ハ職業ノ種類ヲ異ニスルニ依リ種々ノ困難アリト説クモ斯ル困難ハ決シテ打破シ難キモノニ非スト論セリ

伊太利政府側代表「ゾルダニ」氏ハ各國ノ立法ヲ檢スルニ本問題ハ決シテ國際的ニ規律スルニ時期尙早ナリトハ云ヒ難ク又商業勞働者カ工業勞働者ノ享有スル時間制條約ノ利益ヲ受クルコトナク之ニ比シ劣レル状態ニ置カルルノ理由ナシトシ國際的ニ規律スルコト却ツテ後進國ノ立法ヲ促進スル所以ナリト説キ國際競争ニ關シテハ商業及事務所ノ經營ニ付テモ社會負擔ハ各國共ニ之ヲ標準化スルノ要アリトシ次テ質問書ノ内容ニ關聯シ被傭者ノ定義ヲ掲クルコトハ極メテ困難ナルヘキヲ以テ定義ヲ基礎トシテ適用範圍ヲ決定スルコトヲ止メ當該企業ノ一切ノ従業員ニ適用スルコトトシ又質問書カ團體協約ニ依リ條約ノ規定ヨリモヨリ良キ状態ニ置カルル者ノ保證問題ヲ考慮スルノ要アルコトヲ述ヘタリ

英吉利政府側代表「ウルフ」氏ハ嘗テ本問題ヲ本年ノ總會ノ議題トスルコトニ付理事會ニ於テ討議シタル際英吉利政府カ之ニ反對シタルハ當時ノ調査書類不備ニシテ國際條約ヲ採用スルニ不適當ト信シタレハナリ而シテ若干ノ點ニ付テハ事務局刊行ノ灰色報告書ヲ見ルモ當時英吉利政府ノ取リタル態度

ヲ肯定シ得ヘシト説キ轉シテ商業使用人ノ問題ハ其ノ範圍廣汎ニシテ且複雑ヲ極メ居リ工業労働者ニ於ケルカ如ク同種性ヲ有シ居ラス從テ被傭者全般ニ亘リテ規定ヲ設クルヨリモ寧ロ若干種類ノ職業ヲ選ビ之ヲ討議ノ對象ト爲スヘク例ヘハ商店従業員又ハ配給業ニ於ケル被傭者ノ如キ問題ヲ先ツ取扱ヒ各國ニ於テ容易ニ批准シ得ルカ如キ條約案ノ成立センコトヲ希望スル旨ヲ述ヘタリ

英吉利労働者側顧問「ホールズワース」氏ハ英吉利ニ於テハ華府會議以前即チ一九一九年四月ニ政府主宰ノ下ニ使用者及被傭者ノ聯合會議ヲ開催シ工業労働者ノミナラス一切ノ被傭者ノ就業時間ヲ法定スルコトニ意見ノ一致ヲ見一九二三年七月ニハ右會議ノ決議及華盛頓時間制條約ノ趣旨ヲ實施スル爲ノ法律案カ下院ニ提出セラレタル事情ヲ述ヘ華府時間制條約案ノ批准ノ遲延セル故ヲ以テ其ノ趣旨ヲ他ノ種類ノ労働者ニ及ホササルノ理由トハ爲シ難シト説キ本問題ヲ委員會ニ送り慎重審議セシメンコトヲ希望シタリ

波蘭政府側代表「ビージーキールスキ」氏ハ華府時間制條約案カ主要産業國ノ批准ヲ得サル以前ニ本問題ヲ取扱フハ時期尙早ナリトシ質問書ノ内容ニ付テハ被傭者ノ定義ヲ掲グルコト困難ナル場合ニハ企業ノ種類及労働者ノ仕事ノ種類ヲ列舉スルコトトスヘシトシ又第十三問ノ團體協約ヲ以テ條約案ノ規定ヲ排除セントスルハ不可ナルヘシトテ之ニ反對ナル旨ヲ述ヘタリ

獨逸政府側代表「ジッツラー」氏ハ獨逸ニハ夙ニ本問題ニ關スル法制アルコトヲ説キ質問書ニ付テハ使

用者及被傭者ノ定義等ニ付困難ナル問題アルモ右ハ決シテ打破シ難キモノニ非スト述ヘタリ

波蘭労働者側顧問「コシンスキ」氏ハ被傭者ノ勞務カ心神ヲ勞シ且不衛生ナル状態ニ於テ行ハルルコトヲ述ヘ國際的規律ノ必要ナル旨ヲ説キ斯ル規定ヲ設クル以上其ノ施行ヲ保障スルニ足ル民事的刑事的制裁ヲ定メサレハ效果乏シキモノナリト論シ更ニ波蘭ニ於テハ一九一九年十二月十八日ノ法律ニ依リ一週ノ就業時間ハ四十六時間ト定メラルルモ大部分ノ者ハ四十時間ノ労働ニ過キサザル旨ヲ説明シ最後ニ條約案ノ適用ヲ受クル者ハ社會ノ限ラレタル範圍ニ屬スルニ過キサザルヘキモ右ハ人類ノ共存共榮ノ爲緊要ノ事ニ屬スルモノニシテ國際労働機關ハ智的労働者ノ使命ヲ認メ之ヲ保護スルノ方策ニ出テサルヘカラスト論セリ

第三節 委員會

第一款 委員會ノ經過

本委員會ハ六月一日午前第一次會議ヲ開催シ劈頭ニ役員ノ選舉ヲ行ヒタル處伊太利政府側代表「ヂョルダニ」氏委員長ニ、伊太利使用者側代表「オリヴェッチ」氏及瑞西労働者側代表「シュルヒ」氏副委員長ニ、佛蘭西政府側代表「ジュスタン、ゴダール」氏報告委員ニ夫レ夫レ選任セラレタリ

一、質問書案ノ審議

第一問

六月五日午前第二次會議開カルルヤ委員長ハ前日ノ總會ニ於テ既ニ本問題ニ關スル一般討議ヲ爲シタルヲ以テ委員會ハ直ニ國際勞働事務局作成ノ質問書草案ニ付審議ヲ進メシコトヲ諮リタルニ委員會之ヲ承認シタルヲ以テ委員長ハ先ツ質問第一ニ付討議スヘキ旨ヲ宣セリ然ルニ英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ハ本委員會ハ條約案採擇ノ可否ニ付討議スルノ地位ニ非スト認メラルルヲ以テ第一問ノ討議ハ他ノ問題ニ關スル討議ノ完了スル迄之ヲ延期スヘシト唱ヘ之ニ對シ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏、瑞西勞働者側代表「シュルヒ」氏及愛蘭勞働者側代表「ダフィー」氏等交々之ニ反對シ斯克テ採決ノ結果「ワトソン」氏ノ動議ハ賛成二十九票反對三十一票留保一票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏ハ伊太利政府ハ給料被傭者ノ就業時間問題ヲ國際的ニ規律スルコトニ賛成ナリトテ同國ニ於テハ工業商業ニ於ケル一切ノ被傭者ニ適用アル法制ヲ實施シ居リ唯僅ニ華府條約ニ依リ例外トシテ取扱ハレタル者ヲ除外シ居ルニ過キス一般の傾向ヨリ云フモ伊太利ノ立法ハ筋肉勞働智的勞働共ニ時間短縮ノ途ヲ辿リツツアリ同様ノ傾向ハ法律ノ適用ナキ勞働者ニ關スル團體協約ニ付テモ之ヲ見ルコトヲ得ヘシト説ケリ

「フォーブス、ワトソン」氏ハ質問第一ノ討議延期ノ動議敗ルルヤ第一問ノ「條約案」ノ次ニ「又ハ勸告」ナル字句ヲ挿入スヘシトスル修正案ヲ提出シ又白耳義使用者側顧問「モージャン」氏ハ第二問第三問ニ先チ第一問ヲ討議スルハ不合理ナリ「被傭者」ナル語ノ定義ノ困難ナルコトハ灰色報告書ニ依ルモ明ナラスヤト指摘セリ

右「フォーブス、ワトソン」氏ノ修正案ニ對シテハ勞働者側ヨリ反對者續出シ先ツ獨逸勞働者側顧問「フィールマン」氏ハ華盛頓時間制條約ノ適用アル勞働者カ條約ノ下ニ規律セラルルニ對シ被傭者ノ時間カ勸告ニ依テ規律セラルルハ妥當ナラストシ更ニ「モージャン」氏ノ意見ニ對シ第一問ノ採擇ハ決シテ第二問、第三問ノ討議ノ進行ヲ阻害スルモノニ非スト主張シ和蘭勞働者側顧問「ナウタ」氏ハ「ワトソン」氏ノ修正案ハ總會ノ權限ヲ縮少スルト共ニ被傭者ヲ他ノ勞働者ヨリモ不利ナル地位ニ置クモノナリト反對シ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏ハ「ワトソン」氏ノ修正案ヲ以テ一切ノ進歩ヲ阻害スルモノナリトシ強硬ニ之ニ反對シタリ

政府側ニ於テハ佛蘭西政府側顧問「テシエ」氏ハ本年ノ會議ニ於テハ各國政府ニ送付スヘキ質問書ヲ作成スルヲ以テ足り問題ノ本質ニ付テ決定ヲ爲スモノニ非ス各國ニ於ケル立法ノ現状ヨリ見レハ事務局ノ原案ハ各國政府ノ回答ヲ求ムルニ充分ナリ例ヘハ佛蘭西トシテハ國際條約ノ採擇ニ賛成ナルコトハ容易ニ考ヘ得ラルルヲ以テ原案第一問ヲ其ノ儘ニ存置スヘシト主張シタリ

使用者側ニ於テハ佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ハ「ワトソン」氏ト協議ノ上多少其ノ修正案ヲ緩和シ之ヲ支持シテ曰ク本修正案ノ目的ハ條約案又ハ勸告ノ二者何レカヲ採リ得ルコトニ依ツテ質問書ヲ完全ナラシメントスルニ在リ使用者團ノ修正案ハ決シテ總會ニ於ケル將來ノ決定ヲ弱ムルノ趣旨ニ出ツルモノニ非ス勸告ト雖モ條約案ト同様ニ各國ノ權限アル機關ニ諮ラサルヘカス尙餘リ多種多樣ノ職業ヲ包含セシタントスル條約案ヲ採擇セントセハ幾多ノ困難ヲ惹起スヘシト述ヘタリ

次テ英吉利政府側顧問「レジエット」氏ハ質問書ハ能フ限り明瞭ニ起草セサルヘカラサルニ拘ラス「被傭者」ナル語ヲ明確ニ定義スルハ至難ノ事ニ屬ストシ斯克ノ如キ定義ヲ爲スコト不可能ナル職業ノ種類ヲ朗讀スル處アリ茲ニ於テ總會副書記局長「バトラ」氏ハ「被傭者」又ハ「給料被傭者」ナル語ハ嘗テ理事會カ議題ヲ決定スルニ當リ使用セルモノナルコトヲ喚起シ委員會ハ第二問ヲ討議スル際「被傭者」ナル語ノ定義ヲ定ムルコトヲ各國政府ニ要求スルコトヲ決定シ得ヘシト述ヘタリ

次テ瑞西勞働者側代表「シユルヒ」氏ハ「ワトソン」氏ノ修正案ニ反對セサルヘカラストテ若シ條約案カ總會ニ於テ否決セラレハ議事規則ノ定ムル處ニ從ヒ總會ハ之ヲ勸告ノ形式ニ於テ採擇スルコトヲ得ヘシト説キ又白耳義勞働者側顧問「クリストフ」氏モ亦「ワトソン」氏案ニ反對シ各國政府ハ條約案ノ採擇ニ反對ナルモ勸告ノ採擇ニハ賛成ナル旨ヲ自由ニ回答シ得ルヲ以テ特ニ原案ヲ修正スルノ要ナキノミナラス工業勞働者カ華府條約ニ依リ保護セラレルニ拘ラス商業使用人ニ付テ勸告ヲ採擇スル

カ如キハ當ヲ失スルモノナルヘシト述ヘタリ

茲ニ於テ「ワトソン」氏ハ更ニ自己ノ提案ノ理由ヲ説明スヘシトテ國際勞働機關カ時間制問題ヲ取扱フニ當リ從來種々ノ困難ニ逢會セル事實ヲ舉ケ華府時間制條約案ハ其ノ成立後十年ノ今日尙批准セサルモノ多キ實狀ニ在リ又一九二〇年「ゼノア」ノ海事總會ノ際ニ海員時間制問題ノ失敗ニ終レル事例アリ又一九二一年ニハ農業時間制問題ヲ上程スルコトニ付佛蘭西政府代表ハ之ヲ削除スヘシト要求シタルコトアリ給料被傭者時間制問題ノ討議ハ未タ時期尙早ナリト謂フヘク本件カ本年總會ノ議題トナレルハ偶々其ノ時ノ勢ニ依リテ斯克決定シタルモノナリトテ勞働理事會ニ於テ議題ヲ決定シタル當時ノ事情ヲ説明シ論者或ハ條約案ヲ先ツ採擇スルコトトシ條約案ニシテ不成立トナリタルトキ初メテ勸告ヲ採擇スヘシト謂ハンモ率直ニ云ヘハ本問題ニ關シテハ條約案モ勸告モ共ニ採擇スヘカラサルモノト思惟スルモノニシテ唯委員會ニシテ議事ノ進行ヲ欲セハ兎モ角モ勸告ヲ採擇シ得ルノ途ヲ講シ置クヲ可トスヘシトテ委員會カ氏ノ修正案ニ賛成センコトヲ希望セリ

次テ獨逸政府側顧問「ジツラー」氏ハ質問書ノ目的ハ各國政府ノ意嚮ヲ能フ限り明確ニ捕捉スルニ在リ獨逸政府ノ如キ本問題ニ關シ國際條約ヲ採擇スルコトニ何等ノ困難ヲ感セサルモ國ニ依リテハ勸告ヲ可トスルモノアルコト必定ナリ從テ質問書中ニ勸告採用ノ途ヲ拓キ置クコト有益ナルトシトテ「ワトソン」氏ノ提案ニ賛成セリ

茲ニ於テ委員長ハ「ワリーヌ」氏ニ依リテ稍修正セラレタル「ワトソン」氏ノ提案ヲ表決ニ付シタル處右ハ三十八票對二十九票(留保一票)ヲ以テ可決セラレタリ案文左ノ如シ

質問第一ノ第二項ニ左ノ如ク追加ス

若シ條約案ニ賛成セラレストセハ勸告ニ賛成セラルルヤ

右修正案可決セラルルヤ「ワトソン」氏ハ假令修正案通過スルモ之ヲ以テ直ニ質問書全體ニ對シ賛成セルモノト思惟セサランコトヲ望ミ全部ノ項目ニ付討議ヲ爲シタル上質問書ノ效用ニ付承服シ得サルニ於テハ質問書ノ採擇ニ反對スルコトアルヤモ計リ難キニ付其ノ權利ヲ留保シ置クヘシト聲明セリ次テ委員會ハ修正セラレタル質問第一ノ全部ニ付採決シタル處滿場一致ヲ以テ可決セラレタリ

第二問

六月六日午前第三次會議ヲ開キ直ニ質問第二ノ審議ニ入レル處伊太利勞働者側顧問「ランディ」氏ハ「給料被備者」ナル語ノ定義ハ各國ニ於テモ困難ナル問題ナルヲ以テ國際的ニ定メントセハ甚タ困難ナルヘキコト明カナリサレハ第二問ハ之ヲ削除スヘシト提案シ次テ「ウルグアイ」政府側代表「デ、カストロ」氏ハ右提案ニ賛成シ條約ノ適用範圍カ「給料被備者」ナル語ノ定義ヲ基礎トスルコトノ不可ナル所以ヲ説キ近代ノ立法ハ漸次勞働者及被備者ノ區別ヲ除去スルノ傾向ニ在リトテ自國ノ一九二一年三月十九日ノ法律及目下議會ニ提出中ノ法律案ヲ引用シテ注意ヲ促ス處アリ次テ伊太利政府側顧問「サ

パチニ」氏モ亦「ランディ」氏ノ提案ヲ支持シ第二問ノ存在ハ却ツテ第三問ニ列擧スル或ル種ノ勞働者ヲ除外スルノ結果ヲ招來スヘシト説キタリ

右削除説ニ對シ報告委員「ジュスタン、ゴダール」氏ハ被備者ナル語ハ現代ノ通用語ニシテ現ニ「ルクセンブルグ」、智利、獨逸、埃地利ノ法制ニハ其ノ定義ヲ掲ケ居レリ第二問ニ對スル回答ニ付テハ困難ヲ感スル國ハアランモ既ニ斯ル定義ヲ掲クル國アル事實ニ鑑ミ質問書ノ完璧ヲ期セントセハ本問ヲ存置スルヲ可トスヘシト述ヘタリ

獨逸勞働者側顧問「プロスト」氏ハ被備者ニ關シ國際的定義ヲ與フルコトノ困難ナルハ之ヲ認ムルモ第二問ヲ削除スルノ必要ヲ認メス勞働者ノ立場ヨリ謂ヘハ本問ニ付各國政府ノ意見ヲ知ルハ寧ろ希望スル處ナルヘシトシ本問ニ左ノ通り追加スヘシト提案セリ

「給料被備者ナル語ノ一般的定義ハ職業ニ依ル集團ヲ列擧スルコトニ依リ完成セラルヘシト考ヘラルルヤ若シ然リトセハ如何ニ列擧スルコトヲ提議セラルルヤ

埃地利政府側代表「ハウエルカ」氏ハ第二問存置説ニ賛成シ給料被備者ナル語ハ相當多數諸國ノ法制ニ使用セラレ埃地利ニ於テモ亦斯ル定義ヲ掲ケ満足ナル結果ヲ得ツツアリト説クヤ英吉利政府側顧問「レジニット」氏ハ假令定義カ二十三箇國ニ於テ採用セラレ居ルニセヨ國際的定義ヲ定ムルハ至難ナルヲ以テ斯ル考ヲ拋棄スヘシト述ヘ次テ「ランディ」氏ハ自己ノ提案ノ趣旨カ勞働者團ニ徹底セサルノ憾ア

リトテ其ノ目的ハ廣ク華府時間制條約ノ適用ヲ受ケサル勞働者特ニ事務所及商業的企業ニ於テ使用セラルル者ヲ保護スルニ在ル旨ヲ説明シタリ

次テ「ウルグアイ」政府側代表「デ、カストロ」氏ハ一九一五年十一月十八日ノ「ウルグアイ」ノ法律（一九二〇年改正）カ第三問列舉ノ勞働者ノミナラス其ノ他ノ者ヲモ包含スルヲ以テ國際勞働總會カ自國ノ法律ノ規定スル處ヨリモ劣レル規定ヲ設ケントスルハ聊カ妥當ヲ欠クヘシト指摘シタルニ對シ報告委員ハ「ヴェルサイユ」條約第四百五條第十一項ノ規定ヲ引用シ總會ニ於テ採擇セラルル條約案又ハ勸告ハ決シテ當該國勞働者ノ現ニ受クル利益ヲ減殺スルモノニ非サル旨ヲ説明シ第二問ヲ原案ノ儘成立セシメンコトヲ希望セリ

茲ニ於テ委員長ハ第二問ヲ削除スヘシトスル「ランデイ」氏ノ提案ヲ採決シタル處右ハ三票ノ賛成投票アリタルノミニテ否決セラレタリ

次テ獨逸使用者側顧問「エンゲル」氏ノ提出ニ係ル第二問ニ「貴國法律ニハ給料被傭者ニ付如何ナル定義（若シアラハ）存スルヤ」ヲ追加セントスル修正案ノ審議ニ移リタル處報告委員ハ各國政府ハ第二問ニ答フルニ當ツテハ當然自國法制ノ認ムル定義ヲ以テスヘキヲ以テ修正ノ必要ナカルヘシトシ提案者ニ對シ撤回ヲ求メタル處「エンゲル」氏之ヲ容レ其ノ修正案ヲ撤回セリ

次テ委員長ハ第二問ニ左ノ如ク追加セントスル波蘭政府側顧問「ザグロヅキ」氏提出ノ修正案ニ付

審議スヘキ旨ヲ宣セリ

「給料被傭者」ナル語ノ充分精確ナル定義ヲ得ルコト不可能ト認メラルルトキハ如何ナル種類ノ勞働者ニ適用範圍ヲ及ホスヘシト考ヘラルルヤ

之ニ對シ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏ハ第二問ニ左ノ如ク追加セントヲ提案シ本修正案ニ依ルトキハ各國政府ヨリ最完全ナル回答ヲ得ヘシト述ヘタリ

職業ニ依ル集團ヲ列舉スルコトニ依リ「給料被傭者」ナル語ノ定義ヲ完全ナラシムルコト必要ナリト考ヘラルルヤ若シ然リトセハ如何ニ列舉スルコトヲ提議セラルルヤ

報告委員ハ第二問ニ關シテハ「ザグロヅキ」、「ホールスワース」、「クリストフ」、「フィールマン」等ノ諸氏ヨリ修正案提出セラレ居ルモ是等ハ職業ニ依ル勞働者ノ集團ヲ包含セシメントスルコトニ於テ其ノ採ヲ一ニスルヲ以テ「ザグロヅキ」氏ノ提案ニ合流センコトヲ希望シ採決ノ結果同氏ノ修正案ハ二十九票對二票ヲ以テ可決セラレ斯ク修正セラレタル第二問全體ハ四十一票對零ヲ以テ可決セラレタリ

第三問

六月六日午後第四次會議ヲ開催シ先ツ波蘭政府側顧問「ホルゾウスキ」氏ノ提出ニ係ル本問ヲ削除スヘシトスル修正案ヲ審議シタルカ結局滿場一致ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏ノ提出ニ係ル修正案即チ第一項ニ代フルニ左記ヲ以テセントスル案ヲ議題ニ供シタリ

「一切ノ場合ニ於テ條約案ノ適用範圍ハ左記ニ使用セラルル一切ノ者ニ適用スヘシト考ヘラルルヤ」提案者タル「サバチニ」氏ハ本案ノ趣旨ハ筋肉労働者タルト智的労働者タルトヲ問ハス一切ノ労働者ニ適用セントスルモノナリト説明シ「クリストフ」氏ハ労働者團ノ名ニ於テ之ヲ支持シ之ニ對シ「ワトソン」氏ハ事務局原案ヲ可トスト説キタルカ報告委員ハ第二問カ前回ノ會議ノ際修正セラレタルヲ以テ第三問モ亦自然修正ノ必要アリトテ左ノ如ク提案シ「ワリーヌ」、「ワトソン」ノ諸氏之ニ賛成セリ

- (一) 「給料被備者」ナル語ヲ定義シ得ルヤ
- (二) 若シ然ラストセハ規則ノ適用アル職業ニ依ル集團ヲ列舉シ得ルヤ
- (三) 若シ然ラストセハ規則ノ適用アル企業ヲ列舉スルコトニ依リ適用範圍ヲ決定シ得ルヤ

右報告委員ノ提案ニ對シ「サバチニ」氏ハ之ヲ客ルルコト能ハスト爲シ更ニ第二問ノ「労働者ノ種類」(categories of workers)ナル字句ニ反對ナル旨ヲ述ヘタル處報告委員ハ「サバチニ」氏ニ此ノ點ヲ請合ヒ「労働者ノ種類」ナル語ハ「給料被備者」ニノミ適用スルノ意味ナルコトヲ説明シタルモ「サバチ

ニ」氏ハ氏ノ修正案ヲ採擇センコトヲ力説シ且「労働者ノ種類」ナル語ハ不明確ナリトシ更ニ其ノ提案中ニ在ル「一切ノ場合ニ於テ」ナル字句ノ必要ナル旨ヲ主張シ報告委員ハ自己ノ提案タル三問ハ重複的ノモノニ非スシテ若シ各國政府ニシテ第一問ニ肯定的回答ヲ爲シ得サルトキハ第二問ヲ考慮スヘク第二問ニ對シテ尙肯定的回答ヲ爲シ得サルトキハ更ニ第三問即チ第三ニ指示セララルル如キ事項ヲ考慮スルノ餘地アルヘシト説キタルモ「サバチニ」氏尙自己ノ提案ヲ主張シテ讓ラス労働者團モ之ヲ支持シ容易ニ解決ノ曙光ヲ認メサリシカ遂ニ佛蘭西政府側顧問「テシエ」氏ノ提唱ニ依リ起草委員會ニ於テ成案ヲ得ルコトトシ「サバチニ」氏案ヲ表決ニ付シタル處四十八票對二票ヲ以テ可決セラレタリ次テ委員長ハ英吉利政府代表「ウルフ」氏ノ提出ニ係ル修正案ニ付討議スヘキコトヲ宣セルカ修正案ノ本文左ノ如シ

第三問ヲ左ノ通りトス

- 一、條約案ノ適用範圍中ニハ船舶ノ設計者及検査員、造船技師、分析及調査ヲ行フ化學者、試金家、冶金家、實驗所々員、彫刻師、彫板師等ノ如キ技術的被備者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- 二、條約案ノ適用範圍中ニハ劇場、音樂堂、活動寫真館、展覽會等ノ如キ屋內的娛樂物ニ關聯シテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシ

ト考ヘラルルヤ

三、條約案ノ適用範圍中ニハ屋外的娛樂物ニ關聯シテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ
若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

四、條約案ノ適用範圍中ニハ政治的結社、工業的、商業的及智的團體、宗教的團體及協會、福利協會等ノ如キ任意の組合ノ職員ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

五、條約案ノ適用範圍中ニハ書記トシテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ彼等カ使用セラルル例ヘハ銀行、保險局、株式仲買店、中央又ハ地方官署、商店等ノ如キ種類ノ施設ニ關シ特別規定ヲ設クヘキヤ 若シ然リトハ如何ナル規定カ必要ナリト考ヘラルルヤ

六、條約案ノ適用範圍中ニハ小賣商店ニ於テ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ販賣セラルル商品ノ種類ニ依リ特別規定ヲ設クヘキヤ

七、「小賣商店」ナル用語中ニハ何ヲ包含スヘキモノト解セラルルヤ

八、條約案ノ適用範圍中ニハ一切ノ種類ノ飲食店ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

九、條約案ノ適用範圍中ニハ旅館及下宿屋ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類

ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十、條約案ノ適用範圍中ニハ保險代理人及巡回注文取以外ノ行商人トシテ使用セラルル者ニシテ
(イ)自宅以外ニ事務所ヲ有セサル者、(ロ)其ノ他ノ者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十一、條約案ノ適用範圍中ニハ街頭新聞賣子トシテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ
若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十二、條約案ノ適用範圍中ニハ巡回注文取、調査員、勸誘員トシテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十三、條約案ノ適用範圍中ニハ(イ)一個人ニ屬シ又ハ(ロ)一切ノ會員ニ屬スル俱樂部ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十四、條約案ノ適用範圍中ニハ教育施設ニ於ケル教師ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十五、條約案ノ適用範圍中ニハ記者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十六、條約案ノ適用範圍中ニハ圖書館員ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ

對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十七、條約案ノ適用範圍中ニハ「フィルム」製作者及分配業者ニ依リ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十八、條約案ノ適用範圍中ニハ辯護士、建築師、醫師、競賣人、會計士等ノ如キ専門家ニ依リ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

十九、條約案ノ適用範圍中ニハ病院、醫院、療養所、心的治療施設、救貧法施設等ニ於テ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

二十、條約案ノ適用範圍中ニハ個人ノ私宅ニ於テ看護人及助産婦トシテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

二十一、條約案ノ適用範圍中ニハ競馬ノ厩番及騎手ヲ含ム遊技協會ノ職員及競技者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

二十二、條約案ノ適用範圍中ニハ葬儀屋ニ依リ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

英吉利政府側顧問「レジニット」氏ハ委員會ハ今少シ問題ノ真相ニ觸レサルヘカラス多クノ論者ノ説ヲ聽クニ概ネ「給料被備者」ナル字句ニ因ハレ實際ニ關係アル人ヲ閉却セル嫌アリ斯クテハ會議ハ結局國際的錯誤ニ陥ルノ外ナカルヘシ華府條約ノ苦キ經驗ハ吾人ニ此ノ國際的錯誤ヲ避クヘキコトヲ教ヘタリ惟フニ完全ナル成案ヲ得ン爲ニハ各國ヨリ同一ノ形式同一ノ内容ニ付テ報告ヲ徵セサルヘカラス旁々之ニ與フルニ充分ノ時日ヲ以テシ苟モ悔ヲ後日ニ殘スカ如キ事ナカラシメンコトヲ要ス國ニ依リ——勿論英吉利モ——「給料被備者」ナル字句ニ定義ヲ與フルコト能ハサルモ職業ニ依リ人的ニ種別スルコトハ必スシモ不能ニ非ス故ニ余ヲシテ云ハシムレハ第二問ノ内容ハ抑モ無理ナリ宜シク英吉利ノ修正案タル人的ニ種別スルコトニ依リテ給料被備者ノ意義ヲ確定スルニ同意セラレンコトヲ希望スル旨ヲ述ヘタリ

之ニ對シ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏ハ委員會ハ既ニ「サバチニ」氏ノ修正案ヲ採擇シタル後ナルヲ以テ英吉利政府代表ノ修正案ハ審議外ノ事項ニ屬ス勞働者側ハ本修正案全部ニ付反對ノ意ヲ表明スルモノナリト述ヘタル處英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ハ委員會ハ重要問題ニ付公明正大ニ討議ヲ爲スモノト信スルカ故ニ左様ニ簡單ナル議論ヲ以テ折角ノ修正案ヲ握リ潰スモノトハ思ハレス各代表ハ充分問題ノ實行可能性ヲ見究メ歸國セラレ之ニ依リ各國政府ニ適當ナル回答ヲ爲スノ機會ヲ與フルコト必要ナリ國ニ依リテ回答ヲ異ニシテ如何テカ國際的共通ノ規則ヲ作り得ン之

レ實ニ一九一九年華盛頓條約以來吾人ノ經驗セル處ニシテ此ノ失敗ヲ今茲ニ繰リ返スハ忍ヒサル處ナルヘシ不健全ナル基礎ニ立テル條約案ハ假令ソレガ採擇セラレタリトスルモ差シ當ツテハ成功ナルカ如ク思ハルルモ時ヲ經ルニ從ヒ其ノ失敗ナリシコトヲ覺ユルニ至ルヘシ此ノ意味ニ於テ英吉利政府代表ノ修正案カ遂條審議セラルルコトヲ希望スル旨ヲ述ヘタリ

次テ獨逸政府側代表「ジッツラー」氏ハ右修正案ハ此ノ困難ナル問題ヲ明瞭ニスルノ價值アルコトヲ信スルモ何分長文ニシテ且其ノ形式カ質問書トシテ適セサルモ之ヲ註釋トシテ質問書ト共ニ各國政府ニ送付スルコト可能ナルヘシト提議シ波蘭勞働者側顧問「コシンスキ」氏モ「ジッツラー」氏ノ提議ヲ支持シタルヲ以テ委員長ハ「レジェット」氏ニ對シ「ジッツラー」氏ノ提議ヲ容ルルヤ否ヤヲ質シタル處「レジェット」氏ハ余ハ「ジッツラー」氏ノ提議ヲ多トスルモノナルカ勞働者代表團カ本修正案ヲ目スルニ曖昧漠然タルモノナルカ如クニ論シ去ルハ驚カサルヲ得ス英吉利政府ノ熱心ナル要求ハ批准ヲ可能ナラシメンカ爲確固タル基礎ニ立ツモノニシテ他ノ基礎ニ立ツモノハ一切國際的措置ヲ得ルコト不可能ナリ尙余ハ「ジッツラー」氏ノ提議ニ付充分考慮シ次回ニ於テ確定的回答ヲ爲スヘシト述ヘタリ

六月七日午後第五次會議ヲ開催シ劈頭ニ「レジェット」氏ハ「ジッツラー」氏ノ提議ニ同意スルモ英吉利政府ノ提出ニ係ル修正案第六中ニ卸賣商店及倉庫ヲ附加スヘキコトヲ希望セリ

次テ佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ハ佛文ノ「テキスト」中ニ在ル「Le personnel employé」ヲ

「Les personnes occupées」トスヘシトスル氏ノ提出ニ係ル修正案ニ關シ報告委員ト協議ノ結果「personnel occupé」トスルコトニ同意シ右「ワリーヌ」氏ノ提案ハ委員會ノ承認ヲ得タリ

次テ報告委員ハ第三問第一項ニ關スル起草委員會ノ決定案ヲ左ノ通り報告セリ

「給料被傭者」ナル語ノ定義ヲ基礎トシ若ハ勞働者ノ種類ヲ基礎トシ又ハ其ノ兩者ヲ基礎トシテ適用範圍ヲ決定スルコト可能ナリト考ヘラルルト否トニ拘ラス一切ノ場合ニ於テ條約案又ハ勸告ハ左記ニ使用セララルル一切ノ者ヲ其ノ適用範圍中ニ包含スヘキモノト考ヘラルルヤ

右起草委員會案ハ本委員會ノ承認スル處トナレリ

次テ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏ハ勞働者團ノ名ニ於テ第三問ノ爾余ノ點ニ付テハ尙考究ノ要アルヲ以テ之カ討議ヲ延期スヘキコトヲ提議セル處英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ハ既ニ委員會ニ依リ承認セラレタル起草委員會案ニ觸レスシテ唯第三問ノ殘餘ノ點ニ關スル討議ヲ延期スルノ諒解ノ下ニ「ホールスワース」氏ノ提議ヲ支持シ斯クテ採決ノ結果右提議ハ四十四票對六票ヲ以テ可決セラレタリ

第四問

先ツ「ウルグアイ」政府側代表「デ、カストロ」氏立チテ第四問ニハ企業ノ種類ニ付宗教的性質ヲ有スルモノタルト否トヲ問ハストスル字句ヲ挿入スヘキナリトテ第四問ニ付左ノ通り提案セリ

四、條約案又ハ勸告ハ企業カ

- (イ) 公的タルト私的タルト
- (ロ) 世俗的タルト宗教的タルト
- (ハ) 營利ノ目的ヲ以テ遂行セララルト否ト

ヲ問ハス列舉セラレタル種類ノ一切ノ企業ニ之ヲ適用スヘキモノト考ヘラルルヤ
 委員會ハ「デ、カストロ」氏ノ右修正案ヲ承認シタルヲ以テ委員長ハ右修正案ヲ含メル第四問全體ヲ表
 決ニ付シタル處滿場一致ヲ以テ可決セラレタリ

第五問

次テ第五問ノ討議ニ入り英吉利使用者側顧問「ケー」氏ノ提出ニ係ル本問ヲ削除スヘシトスル修正案
 ヲ議題トシ先ツ「ケー」氏ヨリ修正案ノ理由ヲ詳細ニ説明スル處アリ獨逸勞働者側顧問「フイー
 ン」氏之ニ賛成シ次テ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏ハ「同一ノ家族ニ屬スル者」ナル語ハ如何ニ
 解セララルヤ」ナル字句ヲ挿入スルコトニ依リテ第五問ヲ完全ニシ得ヘシト述ヘ佛蘭西使用者側顧問
 「フリース」氏ハ第五問ハ重要ナルヲ以テ削除スヘカラスト主張シ印度使用者側顧問「ムケルジ」氏
 ハ「ケー」氏ノ説ヲ支持シ次テ英吉利政府側顧問「レジエット」氏、白耳義使用者側顧問「モー
 ジャン」氏、獨逸政府側顧問「ナイツェル」氏等交々第五問ノ必要ヲ説キ殊ニ「ナイツェル」氏ハ「サバチニ」氏ノ意見

ヲ支持シテ「家族」ナル語ノ定義ヲ質問スヘキコトヲ述ヘ獨逸勞働者側顧問「ブロスト」氏ハ削除説
 ヲ支持シ最後ニ報告委員ハ本問ヲ存置スルノ必要ヲ述ヘタリ
 茲ニ於テ委員長ハ「ケー」氏ノ修正案ヲ表決ニ付シタル處右ハ三十八票對二十二票ヲ以テ否決セラレ
 タリ

次テ委員長ハ「ウルグアイ」政府側代表「デ、カストロ」氏ノ提出ニ係ル「同一ノ家族ニ屬スル者」(members
 of one and the same family) ヲ「使用者ノ家族ニ屬スル者」(members of the employer's family) トス
 ヘシトスル修正案ニ付審議スヘキコトヲ宣シタル處「デ、カストロ」氏ハ其ノ提案ノ理由ヲ説明シタル
 後若シ「サバチニ」氏ノ修正案ニシテ採擇セラルナラハ何時ニテモ之ヲ撤回スヘシト附言セリ
 次テ委員長ハ委員會ハ獨逸使用者側顧問「エンゲル」氏ノ提出ニ係ル二個ノ修正案即チ宗教的ノ性質
 ニ關スルモノト適用範圍中ヨリ五人以下ヲ使用スル企業ヲ除外スヘシトスルモノトヲ審議セサルヘカ
 ラサル旨ヲ指摘セル處報告委員ハ宗教的ノ性質ニ關スル「エンゲル」氏ノ修正案ハ一時的例外問題ヲ
 審議スル際ニ讓リテハ如何ト諮リ「エンゲル」氏モ之ニ同意シタルヲ以テ委員長ハ「エンゲル」氏ノ
 第二ノ修正案ヲ審議スヘキ旨ヲ宣セリ右修正案ノ本文左ノ如シ

比較的小ナル企業即チ五人以下ヲ使用スル企業ハ一切ノ協約ヨリ除外セラルヘシト考ヘラルルヤ
 先ツ「エンゲル」氏ヨリ説明アリタル後獨逸勞働者側顧問「レーシゲル」氏ハ自國ニ於ケル經驗ヨリ

之ニ反對シ瑞西労働者側顧問「パウマン」氏ハ斯ル提案カ使用者側ヨリ提出セラレタルハ驚クノ外ナシ蓋シ瑞西ニ於テハ使用者側ハ小企業ノ爲ノ除外ニ反對シ居レハナリト述ヘ英吉利使用者側代表「フォープス、ワトソン」氏モ亦「エンゲル」氏提案ノ如キ質問ヲ質問書中ニ入ルルコトトセハ宛モ或ル種ノ企業ヲ除外スルコトヲ切望セルカノ如ク思ハル何故ニ五人ヲ使用スル企業カ除外セラレテ六人ヲ使用スル企業カ法律ノ適用ヲ受ケサルヘカラサルカ諒解ニ苦シム處ナリトシテ反對シ其ノ他之ニ反對スル意見ヲ表明スル者續出セルヲ以テ提案者ハ遂ニ之ヲ撤回セリ

次テ報告委員ハ彙ニ「デ、カストロ」氏ニ依リ撤回セラレタル修正案カ再ヒ波蘭労働者側顧問「コシンスキー」氏ニ依リ労働者側ノ名ニ於テ提出セラレタルコトヲ注意シ「コシンスキー」氏ハ右修正案ヲ説明シテ其ノ採擇ハ決シテ「サバチニ」氏ノ修正案ノ採擇ト反致スルモノニ非スト述ヘタル處報告委員モ亦委員會ハ兩修正案ヲ採擇シ得ヘシト述ヘタリ
茲ニ於テ「デ、カストロ」氏ノ修正案及「サバチニ」氏ノ修正案ヲ表決ニ付シタル處何レモ可決セラレタリ

第三問(續キ)

六月八日午前第六次會議ヲ開催シ先ツ委員長ハ丁抹使用者側顧問「エーステルベルグ」氏ノ提出ニ係ル修正案ヲ審議スヘキ旨ヲ宣セルカ右修正案ノ本文左ノ如シ

第三問(イ)ニ代フルニ左ノ(イ)ヲ以テスルコト

(イ) (一) 卸 賣 業

(二) 小 賣 業

卸賣業ニ對シテハ如何ナル定義ヲ提議セララルヤ

小賣業ニ對シテハ如何ナル定義ヲ提議セララルヤ

「エーステルベルグ」氏ハ自己ノ提議ヲ説明シテ卸賣業小賣業ノ定義ニ關シ各國政府ノ所見ヲ述ヘシムルコトハ一九三〇年總會ノ仕事ヲ容易ナラシムル所以ナルヘシト述ヘタルニ對シ獨逸労働者側顧問「フィールマン」氏ハ本問ハ事務局原案ニテ己ニ充分ナルノミナラス既ニ「ウルフ」氏提出ノ修正案カ質問書ノ附録トシテ各國政府ニ送付セララルコトトナリ居ル際ナレハ右ノ修正案ハ之ヲ否決スヘシト反對シ瑞西労働者側顧問「パウマン」氏、伊太利政府側顧問「サバチニ」氏モ同様反對意見ヲ開陳シ殊ニ「サバチニ」氏ハ事務局ノ原案ヲ以テ充分ナリト認ムルモ若干ノ委員ノ希望ニ副フ爲「商業的企業」ナル語ニ「一切ノ種類ノ」ナル語ヲ附加スルヲ可トスヘシト述ヘタルモ英吉利使用者側代表「フォープス、ワトソン」氏ハ「エーステルベルグ」氏ノ意見ヲ支持シ獨逸労働者側顧問「フィールマン」氏ハ再ヒ卸賣業ト小賣業トハ被備者ノ數ニ依リ或ハ企業ノ性質ニ依リ區別スル等國ニ依リテ異ナルヲ以テ國際條約ノ批准ヲ困難ナラシムヘシトテ反對意見ヲ述ヘ獨逸使用者側顧問「エンゲル」氏、英吉利

政府側顧問「レジエット」氏ハ相次テ修正案ヲ支持スル處アリ次テ塊地利労働者側顧問「クライン」氏ハ「エールステルベルグ」氏ノ修正案ハ各國政府ニ對シ幾多ノ例外ヲ要求スルコトトナルヘク尙斯ル例外ノ考慮ハ第八問ニ關スル討議ノ際迄延期スヘキモノナリト反對シタルモ佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ハ又修正案ヲ支持シテ委員會ノ審議ノ使命ハ批准ヲ容易ナラシムルカ如キ完全ナル「テキキスト」ヲ作成スルニ在ルコトヲ述ヘ諾威政府側代表「ケールスベルグ」夫人ハ修正案ニ反對シ瑞西労働者側代表「シユルヒ」氏モ亦斯ル修正案ハ徒ニ國際法規適用ノ範圍ヲ限定スルモノナリトテ反對セリ茲ニ於テ提案者タル「エーステルベルグ」氏ハ再ヒ立チテ余ノ提案ノ趣旨ハ卸賣商ト小賣商トノ間ニ存在スル競合ヲ除カントスルニ在リ現在ノ狀態ニ於テハ其ノ區別事實困難ナルヲ以テ委員會ハ此ノ事ヲ考慮ニ入レンコトヲ望ム旨ヲ述ヘタリ

此ノ時氏名點呼ニ依リ表決スヘシトスル要求アリ表決ノ結果修正案ハ二十八票對二十票（留保三票）ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏ノ提出ニ係ル修正案即チ第三問（イ）中「商業的企業」ヲ「一切ノ種類ノ商業的企業」トスヘシトスル案ヲ審議スルコトヲ宜シタルカ結局右修正案ハ可決セラレタリ

次テ「ホールスワース」氏ノ修正案即チ第三問（イ）ノ英文中ニ「and trading」ナル語ル挿入スヘシトスル案ノ審議ニ移リタルカ右修正案ハ委員會ニ依リ可決セラレタリ

次テ委員長ハ白耳義使用者側顧問「モージャン」氏ノ提出ニ係ル「商業的企業」ナル語ノ定義ヲ要求スル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セル處白耳義労働者側顧問「クリストフ」氏ハ既ニ「サバチニ」氏ノ提案タル「一切ノ種類ノ商業的企業」カ採擇セラレタルヲ以テ右修正案ノ必要ナシトテ反對シタルヲ以テ委員長ハ提案者ニ撤回ヲ要求シタルモ提案者之ヲ肯セス次テ佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ハ「モージャン」氏ノ修正案ヲ支持シ獨逸使用者側顧問「フィールマン」氏、瑞西使用者側顧問「シユタインマン」氏ハ交々反對意見ヲ述ヘタリ茲ニ於テ報告委員ハ既ニ英吉利政府ノ修正案ハ質問書附録トシテ挿入スルコトヲ決定シタルヲ以テ「モージャン」氏ノ修正案モ同様ノ方法ヲ以テ處理スルヲ可トスヘシト説キタル處「モージャン」氏ハ之ヲ容レ結局報告委員ノ提案ハ委員會ニ依リ承認セラレヌクテ「モージャン」氏ノ修正案ハ英吉利政府修正案中ニ包含セラルル諸質問ト共ニ質問書附録トシテ附加セラルルコトトナレリ

六月十日午後第七次會議ヲ開催シ先ツ委員長ハ愛蘭労働者側代表「ダフィー」氏ノ提出ニ係ル修正案即チ質問第三各號ニ代フルニ左記ヲ以テスヘシトスル案ヲ審議スヘキコトヲ宣セリ

- (イ) 當該國ノ法律又ハ慣行上工業的企業トシテ認めラレサル企業及業務（農業及商船ヲ除ク）
- (ロ) 當該國ノ法律又ハ慣行上工業的企業トシテ認めララルモ其ノ被傭者カ工業労働者ニ非サル企業

「ダフィー」氏ハ提案ノ理由ニ付原案ノ如ク細目ニ亘ルヨリハ右修正案ノ方カ廣範圍ノ勞働者ノ種類ヲ包含シ得ヘシト説明セリ

仍テ報告委員ハ今第三問ニ付テハ事務局原案ノ如キ列舉主義ニ依ルカ又ハ「ダフィー」氏ノ案ニ代フルカノ二案存スルカ原案イニ付テハ曩ニ委員會ハ既ニ之ヲ承認可決セルヲ以テ今復「ダフィー」ノ修正案ヲ可決セハ列舉方法ヲ拋棄スルコトニ依リ各國政府ヲ混亂セシムルノ危険アルヘシト述ヘスケテ「ダフィー」氏ノ修正案ハ三十票對十二票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ質問第三中ノ(ロ)ニ對スル英吉利使用者側顧問「ボイト」氏ノ左ノ修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

(ロ) 中「國內法ニ依リ工業的企業トシテ取扱ハレサル限リニ於テ」ナル字句ヲ削除スルコト
 「ボイド」氏ハ提案ノ理由ヲ説明シテ質問書ノ目的ハ條約案又ハ勸告ヲ採擇スルコトヲ得シムルニ在リサレハ若シ國內法ニ關スル質問ヲ各國政府ニ致スモノトセハ其ノ回答ハ共通的基础ニ立ツコト能ハサルヘシト述ヘタルニ對シ愛蘭勞働者側代表「ダフィー」氏ハ若シ「ボイド」氏ノ修正案ノ如ク削除セハ(ロ)號ニ殘ルハ「工業的タルト同時ニ商業的タル企業」ナル字句ノミトナルヘシスル削除ヲ爲ストキハ各國政府ハ其ノ自國ノ法制ニ從テ工業的企業トシテ認メラレサル企業ヲ定義スルコト必要トナルカ故ニ否定的回答ヲ爲ササルヲ得サルニ至ルヘシト反對シ次テ報告委員ハ原案ノ方カ明瞭ナルヲ以テ原

案ヲ維持スヘシト主張シタルモ「ボイド」氏ハ之ヲ肯セススケテ採決ノ結果「ボイド」氏ノ修正案ハ二十七票對十七票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ(ハ)號ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シタル處瑞西政府側顧問「ゲルマン」氏ハ質問書案ノ或ル點ニ付テハ佛文ト獨文トノ間ニ幾分相違アリ特ニ「etablissement」ト「Unternehmungen」トノ如キ然リトス然レトモ是等ノ相違點ハ起草委員會ニ於テ除クコトヲ得ヘシト述ヘスケテ(ロ)號ハ異議ナク可決セラレタリ

次テ(ニ)號ノ審議ニ移レルカ先ツ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏ハ(ニ)號ニ「病弱者、貧窮者及精神的不適者」ナル字句ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ提出シ原文ノ儘ニテハ右ノ如キ者ニ對スル施設ニ於テ使用セラルル者カ適用範圍ヨリ除外セラルル虞アリト述ヘ次テ報告委員ハ佛文中ニ「Les établissements ayant pour objet le traitement des malades, l'hospitalisation et l'hygiène」ナル字句ヲ附加スルヲ得サルヤヲ質シタルニ英吉利勞働者側顧問「エルヴィン」氏ハ勞働者團ノ名ニ於テ起草委員會ニ於テ必要ナル修正ヲ爲スヘキモ英文ニ付テハ「ホールスワース」氏ノ提案ヲ能フ限リ維持スヘキコトヲ條件トシテ報告委員ノ提案ヲ支持スル旨ヲ述ヘ委員長ハ「エルヴィン」氏ノ意見ヲ尊重スヘキ旨ヲ述ヘスケテ委員會ハ(ニ)號ヲ可決セリ次テ(ホ)號モ異議ナク可決セラレタリ

次テ委員長ハ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏ヨリ第三問(ハ)號トシテ左記ヲ附加スヘシトス

ル提案アリタル旨ヲ述ヘタリ

「旅館、俱樂部、「カフェー」、料理店及其ノ他ノ飲食店」

右ニ對シ報告委員ハ既ニ英吉利政府代表「ウルフ」氏ノ修正案ヲ質問書ノ註釋トシテ附加スルコトニ決定シタルカ其ノ中ニハ旅館及下宿屋ニ於テ使用セラルル者ヲ擧ケ居レルヲ以テ今復「ホールスワース」氏ノ修正案ヲ容ルルコト可ナルヤ否ヤ疑ハシキ旨ヲ述ヘタルモ「ホールスワース」ハ修正案ヲ固持セルヲ以テ投票ニ問フコトトナリ結局右「ホールスワース」氏ノ修正案ハ三十六票對八票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ第三問ノ末項ハ異議ナク可決セラレタリ

第六問

先ツ委員長ハ獨逸労働者側顧問「フィールマン」氏ヨリ本問ニ關スル一修正案ノ提出アリタル旨ヲ告ケ次テ英吉利労働者側顧問「ホールスワース」氏ハ第三問ニ於テ既ニ「左記ニ使用セラルル一切ノ者」ナル字句ヲ可決シタルニ今茲ニ例外ヲ示ス質問ヲ採擇スルハ不合理ナルヘシトテ本問ヲ削除スヘシト主張シ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏ハ本問ニ付テハ白耳義使用者側顧問「モージャン」氏ヨリモ一修正案ノ提出アリタル旨ヲ述ヘ委員會ハ第一ニ「モージャン」氏ノ修正案ヲ審議シ然ル後ニ「ホールスワース」氏ノ提案ヲ決定スヘシト主張シ委員長ハ先ツ「ホールスワース」氏ノ修正案ヲ審議シ然ル後

ニ「モージャン」氏ノ修正案ヲ審議スヘシト述ヘタリ

次テ白耳義使用者側顧問「モージャン」氏ハ立チテ労働者側ノ提案タル削除案ハ不合理ナリ現ニ多數ノ諸國ニ於テ労働者ノ労働時間ヲ規律スル法制ニハ例外ヲ認め居レリ委員會カ眞ニ意義アル審議ヲ爲サント欲セハ此ノ例外ヲ認ムル必要アリト述ヘ英吉利使用者側顧問「ケー」氏及佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏モ夫々削除説ニ反對シ殊ニ「ワリーヌ」氏ハ華府條約ニ於テモ既ニ例外ヲ認メタルヲ以テ「モージャン」氏ノ修正案ニ對シ批評スルコトハ畢竟華府條約ヲ批評スルコトトナルヘシト述ヘタルカ之ニ反シ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏及波蘭労働者側顧問「コシンスキー」氏ハ共ニ削除説ヲ支持シ更ニ瑞西政府側顧問「ゲルマン」氏ハ各國政府カ第三問ニ回答スルコト不能ナル場合第六問ニ回答シ得ルノ可能性アルヲ以テ第六問ハ之ヲ存置スル必要アル旨ヲ述ヘ伊太利労働者側顧問「ランデ」氏ハ「ワリーヌ」氏ノ説ヲ反駁シ華府ニ於テ工業的企業ニ關シ採擇セラレタル處ハ商業的企業ニ適用スル一條約ノ場合ニ採擇スルコトヲ得サルヘキ旨ヲ述ヘタリ

茲ニ於テ「ホールスワース」氏ノ提案ヲ表決ニ付シタル處右ハ二十八票對一票ヲ以テ否決セラレタリ次テ委員長ハ獨逸労働者側顧問「フィールマン」氏ノ修正案即チ「種類ノ者」(categories of persons)ヲ「者」(the persons)トスヘシトスル案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ獨逸労働者側顧問「プロスト」氏ハ右「フィールマン」氏ノ修正案ヲ支持シタルモ採決ノ結果右修正案ハ二十二票對一票ヲ以テ否決セラレタ

次テ委員長ハ「フィールマン」氏ノ他ノ修正案即チ「企業、法人又ハ其ノ他ノ集團ノ管理人又ハ法律上ノ代表者タル地位ニ在ル者ハ條約ノ適用範圍ヨリ除外スヘシト考ヘラルルヤ」ナル提案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ次テ「フィールマン」氏ハ提案ノ理由ヲ説明シテ「モージャン」氏ノ修正案ハ大多數ノ被傭者ヲ除外スルコトトナルモ余ノ修正案ハ實際上使用者ヲ代表スル特殊ノ被傭者ニ付例外ヲ考フルノミニナリ然レトモ若シ「モージャン」氏ニシテ其ノ提案ヲ撤回スルナラハ余モ亦之ヲ撤回スヘシト述ヘタルモ「モージャン」氏之ヲ肯セス加フルニ佛蘭西使用者側顧問「ワリース」氏ハ「モージャン」氏案ヲ支持シ余ハ勞働者側カ此ノ點ニ付危惧スル處ヲ諒解スルニ苦シムトシ華府總會ノ八時間制委員會ニ於テ勞働者團カ提出シタル修正案ヲ引用シテ「モージャン」氏ノ案ハ實際上之ト同様ノモノナリト説キタリ

茲ニ於テ報告委員ハ「モージャン」氏及「フィールマン」氏ノ修正案ヲ起草委員會ニ附議シ以テ國際勞働事務局カ質問書ノ註釋トシテ之ヲ挿入シ得ル様ニシテハ如何ト諮リタルモ「モージャン」氏ハ使用者側ハ本間ノ修正案ヲ重大視スルヲ以テ起草委員會ニ附議スルコト望マシキヤ否ヤ疑問ナリト述ヘ之ニ對シ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏ハ報告委員ノ提案ニ付決定スヘシト求メ次テ委員長ハ「モージャン」氏及「フィールマン」氏ノ修正案ヲ既ニ「ウルフ」氏ノ修正案及「モージャン」氏ノ最初ノ修正案ノ場合ニ決定シタル如ク質問書ノ註釋トシテ挿入スヘシト説ク處アリ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」

氏ハ報告委員ノ提案ニ反對シ和蘭勞働者側顧問「ナウタ」氏ハ右修正案ハ國際勞働事務局ニ附託シ以テ是等ノ點ニ付委員會ノ各委員ニ依リ開陳セラレタル意見ヲ質問書ノ註釋トシテ挿入スル様ニスヘシト提案シ獨逸政府側顧問「ナイツェル」氏、伊太利使用者側顧問「オリヴェツチ」氏及佛蘭西使用者側顧問「ワリース」氏相次テ「ナウタ」氏ノ提案ヲ支持シタリ

茲ニ於テ「ナウタ」氏ノ提案ヲ表決ニ付シタル處二票ノ反對アリタルノミニテ可決セラレタリ次テ委員長ハ葡萄牙使用者側代表「エルミダ」氏ノ修正案即チ第六問ニ左記ヲ附加スヘシトスル案ヲ審議スヘキ旨ヲ宣セリ

「就中作業カ使用者ノ家族及其ノ他ノ被傭者ニ依リ遂行セララルル企業ニ於テハ使用者ノ家族ハ條約案又ハ勸告ノ適用範圍ヨリ除外セララルヘシト考ヘラルルヤ」

右修正案ノ審議ハ提案者ノ申出ニヨリ次回ニ延期セラレタルカ六月十一日午後第八次會議ノ開催セララルヤ先ツ提案者タル「エルミダ」氏ヨリ提案ノ理由ニ付説明スル處アリ次テ波蘭勞働者側顧問「コシンスキー」氏ハ勞働者團ノ名ニ於テ本修正案ハ既ニ可決セラレタル第五問ノ討議ヲ反復スルモノナリトテ反對シタルモ委員長ハ第五問ハ企業ニ關スルモノナルニ第六問及「エルミダ」氏ノ修正案ハ單ニ人ニ關スルモノナルヲ以テ必スシモ反復スルモノニ非サル旨ヲ述ヘ次テ瑞西勞働者側顧問「パウマン」氏ハ瑞西ニ於ケル經驗ヲ示シテ本修正案ノ原則ニ反對セリ

茲ニ於テ報告委員ハ「エルミダ」氏ノ修正案ハ之ヲ質問書ノ附録トナルヘキ註釋中ニ含メテハ如何ト
 諮リタルモ獨逸労働者側顧問「ブイールマン」氏、白耳義政府側顧問「ブリボジア」氏ハ共ニ反對意見
 ヲ述ヘタルヲ以テ委員長ハ報告委員ノ提案ヲ表決ニ附シタル處右ハ二十五票對二十票ヲ以テ否決セラ
 レ次テ「エルミダ」氏ノ修正案モ亦三十票對十八票ヲ以テ否決セラレテ第六問ハ原案ノ儘可決セ
 ラレタリ

第七問

佛蘭西労働者側顧問「ブイソン」氏ハ第七問ニ付テハ多數ノ修正案アルカ之ヲ一々討議スルコトハ煩
 瑣ニ堪エス然カモ同一目的ノ修正案モ多クアルヲ以テ提案者間ニ協定ヲ得ル様簡單ナル一般の討議ヲ
 行フヲ可トスル旨ヲ述ヘタル處委員長ハ「ブイソン」氏ノ提案ハ歓迎スヘシ然レトモ一般の討議ノ必
 要アリトハ思ハレサルヲ以テ討議中ニ各提案者間ニ協定ヲ爲ス様ニスヘシト述ヘ委員會ハ委員長ノ提
 案ヲ承認セリ

茲ニ於テ委員長ハ直接又ハ間接ニ「労働」又ハ「労働時間」ナル語ノ定義ニ關係アル四個ノ修正案ア
 ルカ右ハ瑞西政府側顧問「ゲルマン」、英吉利政府側顧問「レジエット」、佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」
 及英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」ノ四氏ニ依リ提案セラレタル修正案ナルコトヲ指摘シ
 委員會ハ第一ニ是等ノ修正案ヲ審議スヘシト提議シ次テ瑞西政府側顧問「ゲルマン」氏ハ第七問ノ前

ニ「條約案カ準備セララルル場合労働時間ノ精確ナル定義ヲ基礎トスヘキコト必要ナリト考ヘラルルヤレ
 ナル質問ヲ挿入スヘシトスル修正案ニ付説明セルカ此ノ時報告委員ハ上掲ノ四氏ノ修正案ヲ結合シ左
 記ノ如ク起案セリト述ヘタリ

「最長限ノ決定セララルヘキ就業時間ニ付定義ヲ與フヘシト考ヘラルルヤ若シ然リトセハ倫敦會議ニ
 於テ採擇セラレタル定義ニ同意セララルルヤ又ハ「就業時間」ナル語ニ付如何ナル他ノ定義ヲ提議セ
 ラルルヤ

就業時間ヲ計算スルニ當リ實際ノ労働ト使用者ノ指揮ノ下ニ在ルコトノ間ニ區別ヲ設クルヤ

就業時間中ニハ中斷時間ヲ含ムヤ 若シ然リトセハ右中斷時間ハ如何ナル性質ニ付且如何ナル状態
 ノ下ニ除外シ得ヘキヤ

獨逸労働者側顧問「ブイールマン」氏ハ倫敦會議ニ於テ採擇セラレタル定義ヲ利用スルコトカ最善ノ解
 決案ナリト主張シ佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ハ報告委員ノ提案ニ賛成シ自己ノ修正案ヲ撤回
 スヘシト述ヘ瑞西労働者側顧問「パウマン」氏ハ「ブイールマン」氏ノ提案ヲ支持シ瑞西政府側顧問「ゲ
 ルマン」氏ハ報告委員ノ提案ニ同意シ英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ハ報告委員ノ提
 案ニ同意セントスルモ中斷ニ付精確ナル定義ヲ附シ置クコト必要ナルヲ以テ此ノ目的ノ爲左ノ修正案
 ヲ提出スル旨ヲ述ヘタリ

第七問(イ)ニ左ノ通り附加スルコト

就業時間ハ「休憩時間」、「食事時間」、「更衣時間」、「通勤時間」及「待合ハセ時間」ヲ包含スヘキヤ
六月十二日午後第九次會議ヲ開催シ先ツ委員長ヨリ委員會ニハ報告委員ノ提案、委員會ニ於ケル労働者側ノ反對提案並ニ「プロスト」、「ビュイソン」、「クリストフ」、「プーイルマン」及「レーシゲル」ノ諸氏ニ依ル提案アリタルカ最後ノ提案ハ提案者等ニ依リ撤回セラレ提案者等ハ労働者側ノ反對提案ヲ支持セルコトヲ指摘シ更ニ委員會ニハ「ワリーヌ」氏ニ依リ提出セラレタル使用者側ノ左ノ提案アル旨ヲ述フル處アリタリ

最長限ノ決定セラルヘキ就業時間ニ付定義ヲ與フヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ「就業時間」ナル語ニ對シ如何ナル定義ヲ提議セラルルヤ

就業時間ヲ計算スルニ當リ實際ノ労働ト使用者ノ指揮ノ下ニ在ルコトトノ間ニ差異ヲ附スヘキモノト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ如何ナル差異ヲ提議セラルルヤ 又ハ就業時間トハ被備者ノ指揮ノ下ニ在ル間ノ時間タルコトニ同意セラルルヤ

中斷時間ハ就業時間中ニ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ右中斷時間ハ如何ナル性質ニ付且如何ナル事情ノ下ニ除外シ得ヘキヤ

委員長ハ報告委員及使用者側ノ提案ニ關シ第一點ハ全然同一ナルヲ以テ委員會ハ之ヲ承認スヘシト提

案シ委員會ハ委員長ノ提案ヲ承認セリ

次テ報告委員ハ第二點即チ倫敦會議ニ依リ採擇セラレタル定義ヲ質問書中ニ加フルコトニ關シ提案者間ニ協定ノ成立セル旨ヲ告ケ右ノ定義ニ依レハ就業時間トハ従業員カ使用者ノ指揮ノ下ニ在ル間ノ時間タルヘク右ハ従業員カ使用者ノ指揮ノ下ニ在ラサル休憩時間ヲ含マス此ノ問題ハ労働者側及「ワリーヌ」氏ノ修正案中ニ直接又ハ間接ニ掲ケラレタル處ナリト述ヘ更ニ委員會ハ労働者側ニ依リ提出セラレタル左ノ本文ヲ採擇スヘシト提議セリ

若シ然リトセハ規定セラルヘキ就業時間ハ被備者カ使用者ノ指揮ニ服スル時間ニシテ且質問書案第十四(ロ)ニ從テ告知セラレ被備者カ使用者ノ指揮ニ服セサル休憩時間ヲ含マサルモノト考ヘラルルヤ

佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ハ倫敦會議ノ定義ヲ引用スルコトハ賛成ナルモ更ニ左ノ字句ヲ附加スヘキナリト主張セリ

實際ノ労働ト出勤スルコトトノ間ニ差別ヲ附スヘシト考ヘラルルヤ

更ニ氏ハ使用者側ハ未タ審議ヲ了セサル第十四問ヲ玆ニ引用スル労働者側ノ提案ニハ同意シ難シト述ヘテ反對シ玆ニ於テ委員長ハ「ワリーヌ」氏ノ提案ハ労働者側ノ提案ニ對スル修正案ノ如ク思ハルルヲ以テ先ツ之ヲ表決ニ付スヘシト述ヘタル處獨逸労働者側顧問「プーイルマン」氏ハ委員長ノ意見ニ反

對シ先ツ第一ニ勞働者側ノ修正案ヲ表決ニ付スヘキナリト主張セリ

此ノ時伊太利政府側顧問「サバチニ」氏ハ議論百出シテ時間ヲ空費スルニ忍ヒストシテ簡單ニ集約シタル左ノ修正案ヲ審議シテハ如何ト提案シ若シ委員會ニシテ爾余ノ一切ノ修正案ヲ採擇スルノ意思アラハ凡テ之ヲ質問書註釋ニ加フヘシト述ヘタリ

「最長限ノ決定セラルヘキ就業時間ヲ定義スヘシト考ヘラルルヤ

如何ナル定義ヲ提議セラルルヤ」

茲ニ於テ「サバチニ」氏ノ修正案ヲ表決ニ付シタル處右ハ二十七票對二十四票ヲ以テ否決セラレタリ
次テ「ワリーヌ」氏ノ提出ニ係ル使用者側ノ修正案ニ付審議シ獨逸勞働者側顧問「ブイールマン」氏ヨリ簡單ニ反對意見ノ開陳アリタル後採決シタル結果右修正案ハ三十五票對二十七票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ勞働者側ノ提案ヲ表決ニ付シタル處右ハ三十四票對二十六票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ委員長ハ「フォーブス、ワトソン」氏ノ提出ニ係ル第七問(イ)ニ「就業時間ハ休憩時間、食事時間、更衣時間、通勤時間及待合ハセ時間ヲ包含スヘキヤ」ヲ附加スヘシトスル修正案ニ付審議セルカ英吉利使用者側顧問「ケー」氏ハ本修正案ハ問題ヲ明瞭ナラシムル目的ヲ有スルモノナル旨説明シ獨逸勞働者側顧問「ブイールマン」氏ハ之ニ反對シタルモ結局右修正案ハ「ケー」氏ノ同意ヲ得テ報告委員ニ

於テ總會ニ提出スヘキ報告中ニ掲クルコトトナリタリ

次テ委員長ハ第七問(イ)ニ關スル愛蘭勞働者側代表「ダフィー」氏ノ提出ニ係ル左ノ修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

條約案ハ其ノ適用アル企業及業務ニ使用セラルル者ニ對シ一般的ノ一週最長就業時間ヲ規定スヘシト考ヘラルルヤ

提案者タル「ダフィー」氏ヨリ右修正案ニ付説明アリタル後報告委員ハ「ダフィー」氏ノ修正案ノ趣旨ハ質問書案第二問以來充分ニ審議セラレタル處ナリトテ之カ撤回ヲ要求セル處「ダフィー」氏ハ之ヲ諒トシテ右修正案ヲ撤回シタリ

次テ委員長ハ事務局原案ニ依ル第七問(イ)ノ第一段ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ結局右ハ原案通り可決セラレタリ

次テ委員長ハ(イ)ノ第二段ニ對シテハ波蘭勞働者側顧問「ワスニエウスカ」夫人及同「コシンスキ」氏ノ共同提出ニ係ル左ノ修正案アルコトヲ述ヘタリ

若シ然リトセハ斯ル最長限ハ給料被傭者ニ付テハ一週四十時間其ノ他ノ從業員ニ付テハ一週四十六時間タルヘシト考ヘラルルヤ

若シ然ラストセハ如何ナル最長限ヲ提議セラルルヤ

提案者タル「ワスニエウスカ」夫人ハ詳細ニ提案ノ理由ヲ説明スル處アリタル後右修正案ヲ表決ニ付シタル處四十票對三十二票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ瑞西労働者側顧問「パウマン」氏ノ左ノ字句ヲ附加スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

斯ル最長限ハ一週七日間ニ付四十八時間タルヘシト考ヘラルルヤ

此ノ時報告委員ハ英吉利政府側顧問「レジエット」氏ヨリ一修正案ノ提出アリ右ハ「パウマン」氏ノ修正案ト同趣旨ノモノニテ「パウマン」氏ノ修正案ニ關スル表決ハ必然的ニ「レジエット」氏ノ修正案ニ影響ヲ及ホスヘシト述ヘタル處「レジエット」氏ハ余ノ提案ハ「パウマン」氏ノ夫レニ優レル旨ヲ述ヘタリ「レジエット」氏ノ修正案ハ左ノ如シ

「週」ノ定義ハ如何ニ解セラルルヤ 右ハ一切ノ場合ニ於テ七日ナリト考ヘラルルヤ

白耳義政府側顧問「ブリボジア」氏ハ白耳義ノ一九〇五年ノ法律ハ或ル種ノ商業的企業ニ付日曜労働ヲ許容セルモ其ノ場合ニハ之ニ代ハル休日ヲ與フルコトト爲シ居レリトシ日曜労働ハ最長就業時間中ニ含まサルヘキナリト述ヘ「パウマン」氏ハ「レジエット」氏ノ修正案中ニ存在スル「一切ノ場合ニ於テ」ナル字句ノ採擇ニ付反對シテ氏ノ修正案ヲ以テ優レル旨ヲ述ヘ斯クテ「パウマン」氏ノ修正案ヲ採決シタル處右ハ二十八票對二十三票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ波蘭労働者側顧問「コシンスキ」氏ノ提出ニ係ル左ノ修正案ノ審議ニ移レリ

「若シ然リトセハ斯ル最長限ハ一週四十八時間タルヘシト考ヘラルルヤ」ノ次ニ「若シ然ラストセハ如何ナルヨリ以下ノ最長限ヲ提議セラルルヤ」ヲ附加スルコト

右修正案ハ結局三十票對十一票ヲ以テ否決セラレタリ

茲ニ於テ委員長ハ第七問(イ)ノ第二段即チ「若シ然リトセハ斯ル最長限ハ一週四十八時間タルヘシト考ヘラルルヤ若シ然ラストセハ最長限ヲ幾何ト提議セラルルヤ」ニ付採決スヘキ旨ヲ述ヘ結局右ハ異議ナク可決セラレタリ

次テ委員長ハ前述ノ「レジエット」氏ノ修正案即チ「週」ノ定義ハ如何ニ解セラルルヤ右ハ一切ノ場合ニ於テ七日ナリト考ヘラルルヤ」ナル案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ「レジエット」氏ハ「一切ノ場合ニ於テ」ナル字句ヲ削除スルコトニ同意スル旨ヲ述ヘ斯クテ右修正案ハ四十票ヲ以テ異議ナク可決セラレタリ次テ委員長ハ第七問(ロ)ニ對スル英吉利政府側顧問「レジエット」氏ノ左ノ修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

一期間ニ對スル平均就業時間ニ付規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ 右ノ期間ニ付限度ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

報告委員ハ此ノ點ニ付テハ三個ノ修正案アリ即チ前記「レジエット」氏ノ修正案、白耳義使用者側顧問

「モージャン」氏ノ修正案及瑞西政府側顧問「ゲルマン」氏ノ修正案是レナリト説明セリ「モージャン」氏及「ゲルマン」氏ノ修正案左ノ如シ

「モージャン」氏ノ修正案

斯クシテ認メラレタル最長就業時間ハ其ノ最長限度ニ變更ナキ限リ一週ヲ超ユル一期間ニ對シ配分ヲ得ヘシト考ヘラルルヤ 斯ル期間ノ最長限ハ如何ニスヘシト考ヘラルルヤ

「ゲルマン」氏ノ修正案

條約案又ハ勸告ニハ平均就業時間カ規定セラレタル通常ノ最長限ヲ超エサルノ條件ノ下ニ一週間ヨリモ一層長キ期間ニ對シ就業時間ノ配分ヲ爲スコトヲ許ス一般的规定ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 尙報告委員ハ右三個ノ修正案ハ其ノ目的ヲ同ウスルヲ以テ提案者間ニ於テ協定セラレンコトヲ要求セル處「モージャン」氏及「レジエット」氏共ニ其ノ修正案ヲ撤回セリ仍テ「ゲルマン」氏ノ修正案ヲ表決ニ付シタル處右ハ三十五票對二十票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ委員長ハ英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ノ提出ニ係ル第七問(ロ)項ヲ削除スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ英吉利使用者側顧問「ケー」氏ハ若干ノ國ニ於テハ週末ノ休暇ヲ成ル可ク長クセントスルノ傾向アリ又或ル國ニ於テハ既ニ五日半ヲ以テ一週トセルヲ以テ問題ハ困難ナリサレハ一週ノ最長就業時間ヲ定ムル以上更ニ一日ノ最長就業時間ヲ定ムル必要ナキ旨ヲ述ヘ獨逸

労働者側顧問「ブールマン」氏ハ平和條約第十三編ノ一日八時間制ノ原則ハ嚴格ニ維持セラレサルヘカラス此ノ原則ニ反スルカ如キニ於テハ重大ナル非難ヲ受クルコトナルヘシトテ強硬ニ反對シ白耳義政府側顧問「ブリボジア」氏、英吉利労働者側顧問「エルヴィン」氏及瑞西政府側顧問「ゲルマン」氏モ何レモ反對ノ意見ヲ開陳スル處アリ結局採決ノ結果右削除案ハ三十六票對二十二票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ波蘭労働者側顧問「ワスニエウスカ」夫人ノ提出ニ係ル左ノ修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

若シ然リトセハ斯ル最長限ハ給料被傭者ニ付テハ一日七時間其ノ他ノ従業員ニ付テハ一日八時間タルヘシト考ヘラルルヤ 若シ然ラストセハ如何ナル最長限ヲ提議セラルルヤ

右修正案ハ採決ノ結果三十三票對一票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ「ワスニエウスカ」夫人ノ他ノ修正案即チ「若シ然ラストセハ如何ナル他ノヨリ短キ最長限ヲ提議セラルルヤ」ノ審議ニ移レルカ結局採決ノ結果右ハ二十九票對二票ヲ以テ否決セラレタリ

茲ニ於テ委員長ハ第七問(ロ)ノ全體ヲ表決ニ付シタル處右ハ異議ナク可決セラレタリ

次テ第七問(ハ)ノ審議ニ移レルカ委員長ハ先ツ佛蘭西使用者側顧問「ワリース」氏ノ提出ニ係ル左ノ修正案ヲ審議スヘキ旨ヲ宣セリ

毎週ノ就業時間ハ一週中ニ於テ半日ノ休日ヲ許容スルカ如ク按排スルコトヲ得ヘシト考ヘラルルヤ「ワリーヌ」氏ハ余ハ余ノ修正案ヲ提出スルニ當リ單ニ事務局案ヲ一層明瞭ナラシメントセルノミニテ別ニ不埒ナル計畫ヲ有スルモノニ非ス余ハ質問書原案ノ起草者カ委員會ハ本文ヲ決定スルニ當リ「英吉利週間」ノ慣行ヲ妨害スヘカラサルコトヲ希望シタルモノト思惟ス余ハ此ノ慣行ニ反對セサルヘキモ佛文ノ原案ハ之ヲ強制的トナサントスルモノノ如ク思ハル本問ハ「得ル」(De Rure)ナル語ヲ挿入スヘキモノナリト思惟スル旨ヲ述ヘ斯克テ本案ハ三十三票對四票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ委員長ハ「ルクセンブルグ」労働者側顧問「ウエルネ」氏ノ提出ニ係ル左ノ修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

毎週ノ就業時間ハ四十四時間ノ繼續的週休ヲ許容スルカ如ク按排セラルヘシト考ヘラルルヤ 右ノ週休期間ハ能フ限り日曜日ト合致セシムヘキヤ

右ニ關シ先ツ前段ヲ表決ニ付シタル處二十八票對十八票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ獨逸労働者側顧問「プーイルマン」氏ヨリ前掲「ウエルネ」氏案中ノ四十四時間ヲ四十時間トスヘシトスル修正案ノ提出アリタルコトヲ告クル處アリタルモ右修正案ハ三十票對十八票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ「ウエルネ」氏ノ修正案後段ノ審議ニ移レルカ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏之ヲ支持シタルモ

報告委員ハ(ハ)ハ週休ニ關スルモノニ非スシテ單ニ一週中ニ於ケル半日ノ休日ニ關スルノミナリ尙「ウエルネ」氏案ノ前段カ否決セラレタル以上後段モ當然否決セラルヘキモノト解スル旨ヲ述ヘタル處「ウエルネ」氏ハ之ヲ諒トシテ提案ヲ撤回セリ然ルニ「サバチニ」氏ハ之ヲ肯セス報告委員ノ意見ハ問題ノ内容ニ觸レサル單ナル形式的ノモノナリ適當ナル語ヲ發見シ得ル限り質問書中ニ週休ヲ掲クルコトハ決シテ餘計ノ事ニ非ス從テ「ウエルネ」氏ノ修正案ノ代リトシテ「週休ハ日曜日ト合致セシムヘキヤ」ナル修正案ヲ提出スルモノナリト述ヘタル處英吉利労働者側顧問「エルヴィン」氏ハ「サバチニ」氏ハ日曜日ヲ考慮スルニ當リ「ウエルネ」氏ノ修正案カ土曜ノ午後ノ休暇ト日曜日ノ休暇トヲ連續セシメントスル目的ヲ有セルコトヲ恐ラク忘レタルモノト思惟セラル「サバチニ」氏ノ修正案ハ其ノ儘ニテハ土曜日ノ半休ヲ日曜日ニ行フコトヲ得ヘキ旨ヲ規定スルノ結果ヲ生スルコトアルヘキヲ以テ危険ナリト反駁シ之ニ對シ「サバチニ」氏ハ余ノ提案ノ實際上ノ目的ハ主トシテ日曜日ヲ確保セントスルニ在リト辯護シ次テ獨逸政府側顧問「ナイツェル」氏ハ質問書ニ週休ヲ掲クルノ提案ニ反對シ英吉利労働者側顧問「ホールスワース」氏モ亦現在ノ問題ハ就業時間ニ關スルモノナルヲ以テ「サバチニ」氏ノ修正案ノ目的ヲ全ク諒解セサル旨ヲ述ヘタリ茲ニ於テ「サバチニ」氏ノ修正案ヲ表決ニ付シタル處右ハ二十五票對十九票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ委員長ハ英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ノ提出ニ係ル第七問(ハ)ノ末尾ニ左ノ字句

ヲ附加スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

四日又ハ五日間ニ於テ一般的ノ一週最長就業時間ノ労働ヲ行フコトヲ許容スヘキヤ
 英吉利使用者側顧問「ボイド」氏ハ或ル種ノ企業ニ於テハ既ニ每週ノ最長就業時間ハ四日又ハ五日ニ
 割當テラレ居リ此ノ慣行ハ既ニ特ニ英吉利ニ於テ試ミラレ居レリ從テ本質問ハ各國政府ニ致スヘキナ
 リト述ヘタル處佛蘭西労働者側顧問「ブュイソン」氏ハ「フォーブス、ワトソン」氏ノ修正案ハ危険ナリ
 ト思惟ス右ハ或ル地方又ハ或ル職業ニ於テ交替制ニ依ル労働ヲ認ムルノ效果ヲ有スヘク且是等ノ企業
 ニ於テハ或ル他ノ企業ニ於テ既ニ四日又ハ五日制労働ヲ爲シタル者ヲ使用スヘシ他方右修正案ハ一日
 十時間以上ノ労働ヲ許容スルノ危険アリトシテ反對シ英吉利労働者側顧問「エルヴィン」氏モ亦英吉利
 ニ於テハ或ル種ノ被傭者ハ既ニ一週三十七時間乃至三十八時間労働スルニ過キス若シモ提案者カ斯克
 ノ如キ一週最長就業時間ヲ四日乃至五日ニ割當ツルコトヲ認メラルルナラハ之ニ賛成スヘキモ四十八
 時間ヲ四日乃至五日ニ割當テントナラハ反對スヘシト述ヘタリ茲ニ於テ「フォーブス、ワトソン」氏ノ
 修正案ヲ表決ニ付シタル處右ハ二十三票對二十二票ヲ以テ可決セラレタリ
 次テ委員長ハ英吉利政府側顧問「レジエット」氏ノ提出ニ係ル第七問ニ左ノ字句ヲ附加スヘシトスル修
 正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

若シ(イ)項ニ肯定的ニ回答シ得サルトキハ如何ナル方法ヲ提議セララルヤ

右ニ關シ委員長ハ「レジエット」氏ノ修正案ノ前段ハ既ニ可決セル第七問(イ)第二項ヲ反復スルニ過キサ
 ルヲ以テ同意シ難キ旨ヲ述ヘ更ニ「レジエット」氏ト報告委員トノ間ニ修正案ノ實際的效果ニ關シ應酬
 アリタル後採決ノ結果「レジエット」氏ノ修正案ハ三十三票對五票ヲ以テ否決セラレタリ
 斯クテ修正セラレタル第七問全體ハ委員會ノ可決スル處トナレリ

第八問

六月十三日午後第十次會議ヲ開催シ先ツ委員長ハ瑞西政府側顧問「ゲルマン」氏ノ提出ニ係ル第八問
 及第九問ノ題目ヲ「特別ノ取極メ」トシ「一般的例外」ヲ削除スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨
 ヲ宣シ次テ「ゲルマン」氏ハ簡單ニ提案ノ理由ヲ説明シタルニ對シ報告委員ハ委員會ハ「ゲルマン」
 氏ノ提案ヲ容ルルコトヲ得ヘシト思惟スル旨ヲ述ヘタルモ獨逸労働者側顧問「ブールマン」氏ハ之ニ
 反對セルカ要スルニ争點ハ何レノ配列ヲ採ル方カ質問書トシテヨリ明瞭ナルヤニアルモ採決ノ結果右
 修正案ハ五十六票對二票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ委員長ハ英吉利労働者側顧問「ホールスワース」氏ノ提出ニ係ル第八問ヲ削除スヘシトスル修正
 案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ提案者「ホールスワース」氏ハ委員會ハ既ニ第七問(ロ)ニ於テ一週ノ最長就
 業時間ニ關シ決定ヲ爲ス處アリタルコトヲ指摘シ第八問ハ第七問ニ掲ケラルル最長限ヨリモ更ニ長キ
 最長限ヲ豫想スルカニ思ハルトシテ削除ノ理由ヲ説明セルカ採決ノ結果右修正案ハ三十六票對十二票

ヲ以テ否決セラレタリ

五四〇

次テ委員長ハ佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ノ提出ニ係ル第八問第一項中ニ「例ハ準備的又ハ補助的ノ仕事及仕事カ間歇的ナル企業」ナル字句ヲ挿入スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セルカ瑞西労働者側顧問「パウマン」氏ハ労働者團ヲ代表シテ反對シ英吉利政府側顧問「レジエット」氏モ亦反對ノ意見ヲ述ヘタルモ英吉利使用者側顧問「アダット」氏ハ最近羅馬ニ於テ開催セラレタル國際「ホテル」同盟ノ會議ニ於テ採擇セラレタル決議ヲ引用シ「ホテル」業ノ特殊事情ヲ考慮スルノ必要ヲ力説シ「ホテル」業ヲ就業時間ノ制限ノ下ニ置クコトヲ不可能ナリト述ヘ次テ英吉利労働者側顧問「エルヴィン」氏ハ修正案中ノ補助的ナル仕事ノ内容ヲ定義スルコト極メテ困難ナル旨ヲ述ヘテ反對ノ意ヲ表明シ報告委員モ亦第八問ハ原案ノ儘ニテ充分ナリト思惟スル旨ヲ述ヘタルモ「ワリーヌ」氏ハ再ヒ提案ノ重要ナルコトヲ論セリ斯クテ採決ノ結果右修正案ハ三十八票對二十五票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ獨逸使用者側顧問「ヘーフナー」氏ノ提出ニ係ル左ノ修正案ノ審議ニ移レリ

地方的事情ニ基因スル特殊性ハ一般の例外ヲ定ムル場合ニ考慮スヘキモノト考ヘラルルヤ

獨逸労働者側顧問「レーシゲル」氏ハ國際的規約ニ付テハ地方的事情ヲ舉クヘキニ非サルヲ以テ修正案ニ反對ナリト述ヘ採決ノ結果右修正案ハ三十三票對二十票（留保七票）ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ伊太利用者側顧問「ベッキオ」氏ノ提出ニ係ル第八問ニ左ノ通り附加スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

仕事ニ或ル定期的繁忙アル企業ニ付テハ特別ノ考慮ヲ拂フヘシト考ヘラルルヤ

右修正案ニ對シ獨逸労働者側顧問「プーイルマン」氏ハ反對意見ヲ述ヘ結局採決ノ結果右修正案ハ三十三票對二十一票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員會ハ第八問全體ヲ原案ノ儘可決セリ

第九問

委員長ハ第九問原案ニ付テハ修正案ノ提出ナキヲ以テ先ツ原案ヲ表決ニ對シ然ル後ニ本問ニ附加スヘシトスル提案ヲ審議スヘシト述ヘ斯クテ委員會ハ第九問ヲ原案通り可決セリ

次テ委員長ハ獨逸労働者側顧問「プーイルマン」氏ノ提出ニ係ル第九問ニ左ノ通り附加スヘシトスル修正案ヲ審議スヘキ旨ヲ宣セリ

十八才未滿ノ年少者ニ對シテハ一日又ハ一週ノ最長限ヲ上掲ノ就業時間ヨリモ短クスヘキモノト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ如何ナル最長限ヲ提議セラルルヤ

之ニ對シ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏ハ別ニ右修正案ニ反對セサルモ斯クノ如キ質問ハ無意味ナリト思惟ス強テ必要視スルナラハ質問書註釋中ニ挿入シ置カハ充分ナリト述ヘ報告委員モ亦「プーイル

マン」氏ニ對シ其ノ修正案ヲ撤回センコトヲ要求セルモ「ブールマン」氏肯セサリシヲ以テ本案ヲ投票ニ問ヒタル處三十二票對二十七票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ英吉利政府側顧問「レジエット」氏ノ提出ニ係ル第九問ニ左ノ通り附加スヘシトセル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

條約案又ハ勸告ハ各國カ特殊ノ職業、企業及（又ハ）地方ノ事情ニ適合セシムル爲法令又ハ規則ヲ以テ通常ノ就業時間ヲ變更シ得ヘキコトヲ規定スヘシト考ヘラルルヤ

之ニ對シ報告委員ハ既ニ第八及第九問ニハ或ル種ノ仕事又ハ企業ニ言及シ尙殊ニ地方的特殊性ニ付テハ曩ニ委員會カ否決シタル處ナリトシテ反對シタルモ「レジエット」氏ハ之ニ同意セス次テ愛蘭労働者側代表「ダフィー」氏ハ「レジエット」氏案ニ對シ反對意見ヲ表明シ斯クテ採決ノ結果右修正案ハ三十二票對二十三票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員會ハ第九問ヲ原案ノ儘可決セリ

第十問

委員長ハ波蘭政府側顧問「ザグロドヅキ」氏ノ提出ニ係ル第十問ヲ削除スヘシトスル修正案ニ付審議スル旨ヲ宣シ次テ「ザグロドヅキ」氏ヨリ提案ノ理由ヲ説明スル處アリタルモ右修正案ハ結局三十票對二十八票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ愛蘭労働者側代表「ダフィー」氏ノ提出ニ係ル第十問ニ左ノ通り附加スヘシトスル修正案ノ審議ニ移レリ

損失時間トハ如何ニ解セラルルヤ

「ダフィー」氏ハ此ノ用語ニ付各種ノ定義カ存在シ得ヘキヲ以テ本修正案ヲ提出セルモノナリト説明スル處アリ結局「ダフィー」氏ノ修正案ハ三十四票對三票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ修正セラレタル第十問ハ委員會ノ可決スル處トナレリ

第十一問

先ツ委員長ヨリ佛蘭西使用者側顧問「ワリース」氏ノ提出ニ係ル修正案ニ關シ其ノ趣旨ハ既ニ第八問ノ審議ノ際否決セラレタルヲ以テ今復討議ヲ反復スル要ナカルヘシト述フル處アリタル後英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ノ修正案ノ審議ニ入レルカ修正案左ノ如シ

第十一問中「一時的ニ延長スルコト」ノ次ニ「且然リトセハ如何ナル限度ニ於テ延長スルコト」ナル字句ヲ挿入スルコト

之ニ對シ報告委員ハ提案者ノ希望ハ第十二問ニ於テ盡サレ居ル旨ヲ述ヘ採決ノ結果右修正案ハ三十五票對二十一票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ第十一問（イ）ハ原案ノ儘可決セラレタリ

次テ委員長ハ獨逸労働者側顧問「プーレルマン」氏ノ(ロ)ヲ削除スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ「プーレルマン」氏ヨリ提案ノ理由ニ付説明スル處アリタルカ獨逸使用者側顧問「ヘーフナー」氏ハ反對意見ヲ開陳シ結局右修正案ハ三十三票對二十二票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員會ハ(ロ)項ヲ原案ノ儘可決セリ

次テ委員長ハ獨逸使用者側顧問「ヘーフナー」氏ノ提出ニ係ル(ハ)項ニ「並ニ銀行ニ於ケル定期的勘定」ナル字句ヲ附加スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ次テ提案者タル「ヘーフナー」氏ヨリ提案ノ理由ヲ説明スル處アリタルニ對シ獨逸労働者側顧問「プロスト」氏ハ反對意見ヲ述ヘ結局右修正案ハ三十八票對二十二票ヲ以テ否決セラレタリ

斯クテ委員會ハ(ハ)項ヲ原案ノ儘可決セリ

次テ委員長ハ英吉利政府側顧問「レジニット」氏ノ提出ニ係ル(ニ)項中ノ「例外的」ナル語ヲ削除スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シタル處英吉利労働者側顧問「ホールスワース」氏ハ反對意見ヲ述ヘ結局右修正案ハ三十票對二十四票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ獨逸労働者側顧問「プロスト」、白耳義労働者側顧問「クリストフ」及和蘭労働者側顧問「ナウタ」ノ諸氏ノ提出ニ係ル「例外的」ヲ「例外的ニ不測ノ」トシ最後ノ「及」ヲ削除スヘシトスル修正案ヲ審議スヘキ旨ヲ宣シ「プロスト」氏ヨリ提案ノ理由ヲ説明スル處アリタルカ結局右修正案

ハ三十一票對二十七票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ今「レジニット」氏ヨリ「例外的」ナル語ノ定義ヲ要求スヘシトスル修正案ノ提出アリタルコトヲ告ケ「レジニット」氏ハ本問題ニ關スル條約ノ適用ノ爲法令ヲ準備スヘキ者カ「例外的」ナル語ノ精確ナル定義ヲ有セサルトキ遭遇スルコトアルヘキ困難ヲ力説シ結局右修正案ハ三十二票對二十七票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ委員長ハ波蘭政府側顧問「ザグロヅキ」氏ヨリ質問書ニ左ノ項ヲ附加スヘシトスル修正案ノ提出アリタル旨ヲ告ゲタリ

「本條約ノ規定ハ戰爭其ノ他國家ノ安全ヲ危險ナラシムル緊急ノ場合ニハ各國ニ於テ政府力之ヲ停止スルコトヲ得」

右修正案ハ三十票對十九票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ(ホ)項ハ異議ナク可決セラレタリ

第十二問

先ツ英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ノ第二項ヲ削除スヘシトスル案ヲ審議セルカ「フォーブス、ワトソン」氏ヨリ提案ノ理由ニ付説明アリタル後獨逸労働者側顧問「レーシゲル」氏及愛蘭労働者側代表「ダフィー」氏ハ共ニ削除案ニ反對シ南阿使用者側代表「グレーヴス」氏ハ本問ハ第一段ニハ條約案云々トシテ第二段ニハ國內規則云々トアルカ右ハ起草上誤謬ニアラスヤト質シ英吉利労働

者側顧問「ホールスワース」氏ハ原案第二項ハ起草拙劣ナル旨ヲ述ヘルモ結局「フォーブス、ワトソン」氏ノ削除案ハ三十四票對二十四票ヲ以テ否決セラレテ第十二問第二項ハ維持セラレタリ然ル處委員長ハ伊太利政府側顧問「サバチニ」氏ヨリ第二項ニ「又ハ權限アル機關ニ依リ承認セラレタル團體協約ニ依リテ」ナル字句ヲ附加スヘシトスル修正案ノ提出アリタル旨ヲ告ケ次テ「フォーブス、ワトソン」氏ハ之ニ對シ反對意見ヲ述ヘタルカ獨逸労働者側顧問「ブールマン」氏ハ意見カ一致スル様ニスル爲「承認セラレタル」ヲ「登録セラレタル」トスヘシト提案シ「サバチニ」氏之ニ同意セリ然レトモ報告委員ハ第十二問ノ趣旨ハ權限アル機關カ關係アル團體ト協議ノ上規定スヘキ例外ニ關スルカスル例外ハ權限アル機關カ規定セサルヘカラス第十二問ニ對スル提案ノ如キ附加ハ其ノ結果權限アル機關ト單ニ登録セラレタル協約トヲ同位ニ置クコトトナルヘシトシテ反對シ瑞西労働者側代表「シュルヒ」氏モ若シモ例外ヲ定ムルコトヲ地方的ニ團體協約ニ認ムルナラハ幾多ノ困難ヲ生スヘシト難シ英吉利労働者側顧問「エルヴィン」氏モ「サバチニ」氏ノ提案ハ團體協約ニ國家ノ干涉ヲ豫想スル如ク思ハレ危険ナリトシテ反對シ次テ塊地利労働者側顧問「クライン」氏モ亦反對ノ意見ヲ開陳セリ茲ニ於テ報告委員ハ數氏ノ意見ヲ綜合スルニ國家以外ノ如何ナル機關モ是等ノ例外ニ關シ決定權ナシトスルコトニ歸着スルカ如シト述ヘタル處「サバチニ」氏ハ余ノ提案ノ趣旨ハ華盛頓條約第五條ヲ引用スル迄ノコトナルカ報告委員ノ意見ニ從ヒ撤回スルコトトスヘク然レトモ總會ニ對スル報告中ニハ伊太利ニ

於テハ權限アル機關ニ依リ直接ニ規定セラレタル規則ト右機關ニ依リ承認セラレタル團體協約トノ間ニ差異ナキコトヲ記録センコトヲ希望シ報告委員モ亦之ヲ承認セリ

次テ委員長ハ獨逸使用者側顧問「ヘーフナー」氏ノ提出ニ係ル第十二問ニ「超過時間カ長引カス且任意的ニ作業セラルル場合ニハ特別ノ許可ナクシテ例外ヲ適用シ得ヘキヤ」ナル字句ヲ附加スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ次テ英吉利労働者側顧問「ホールスワース」氏ハ右修正案ニ對シ反對意見ヲ表明スル處アリ結局右修正案ハ三十六票對二十票ヲ以テ否決セラレタリ

六月十四日午後第十一次會議ヲ開催シ先ツ委員長ハ佛蘭西使用者側顧問「ワリース」氏ノ提出ニ係ル左ノ修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

第十二問末項ヲ左ノ字句ニ代フルコト

「業務カ例外的ニ繁忙ナル場合ニ於ケル超過時間ハヨリ高キ率ニ依リ支拂ハルヘキヤ 右ハ又一時的例外ノ場合ニ包含セラルル他ノ時間ニモ適用スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ條約案又ハ勸告ニ於テヨリ高キ率ヲ規定スルコト必要ナリト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ如何ナル率ヲ提議セラルルヤ」

提案者タル「ワリース」氏ハ使用者側ノ希望スル處ハ華盛頓條約ノ超過時間ニ關シ惹起シタル各種ノ困難ヲ避ケントスルニ在リ兎モ角モ例外的ニ繁忙ナル業務ト通常繁忙ナル業務トノ間ニ質問書中ニ於

テ區別ヲ爲シ置クコトハ必要ノ事ナリト説明シタルニ對シ獨逸勞働者側顧問「ブイルマン」氏ハ修正案ニ反對シ單ニ全體トシテノ例外ヲ掲クル事務局案ヲ可トスル旨ヲ述ヘ白耳義政府側顧問「ブリボヂア」氏ハ超過時間問題ニ關スル白耳義政府ノ見解ヲ開陳シ「ワリーヌ」氏カ述ヘタル議論ニ賛成スルコトヲ得ス白耳義政府ノ態度ハ華盛頓ニ於テ「アルテユール、フォンテース」氏カ提出シタル報告ヲ基礎トスルモノニシテ「フォンテース」氏ハ超過時間ニ對シテハ業務カ例外的ニ繁忙ナル場合ノミナラス華府條約第五條ノ規定ニ依ル一切ノ場合ニモヨリ高キ率ヲ以テ支拂フヘキモノトセリ然レトモ余ハ「ワリーヌ」氏ノ修正案ハ一切ノ萬一ノ場合ヲ網羅スルヲ以テ極メテ明瞭ナルモノト思惟ス從テ余ハ之ニ賛成セントスル旨ヲ述テ次テ愛蘭勞働者側代表「ダファイ」氏ハ本修正案ノ英文ハ充分ニハ明瞭ナラスト思惟ス余ハ提案者カ何ヲ提案スルヤヲ疑フモノニシテ且一時的例外ノ場合ト業務カ例外的ニ繁忙ナル場合トノ間ニ混同ヲ生スル危險アリト思惟スル旨ヲ述ヘタリ斯クテ「ワリーヌ」氏ノ修正案ヲ表決ニ付シタル處右ハ二十九票對二十二票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ委員長ハ白耳義使用者側顧問「モージャン」氏ノ提出ニ係ル第十二問ニ左ノ字句ヲ附加スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

「不測ノ事件ノ場合ニ於テハ豫備時間ヲ保有スヘキヤ」

右修正案ハ結局三十二票對二十二票ヲ以テ否決セラレタリ

斯クテ修正セラレタル第十二問ハ異議ナク委員會ニ依リ可決セラレタリ

第十三問

委員長ハ英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏及佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ノ提出ニ係ル本問ヲ削除スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ次テ英吉利使用者側顧問「ボイド」氏ハ之ヲ支持セルカ佛蘭西政府側顧問「テシエ」氏、伊太利政府側顧問「サバチニ」氏、英吉利勞働者側顧問「エルザン」氏及獨逸勞働者側顧問「プロスト」氏ハ舉ツテ反對ノ意見ヲ各種ノ點ヨリ論述シ獨逸政府側顧問「ナイツェル」氏ハ「フォーブス、ワトソン」氏ノ削除案ニ賛成セサルカ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏ノ修正案（後出）ニモ賛成シ難キ旨ヲ述ヘ其ノ間佛蘭西使用者側代表「ラムペール・リボー」氏ハ華盛頓條約第五條カ團體協約ニ依リ例外ヲ設クルコトヲ認メタルハ極メテ特殊ノ場合ニ限ルコトヲ説明シテ「フォーブス、ワトソン」氏ノ削除案ヲ支持スル處アリタルモ採決ノ結果右修正案ハ三十六票對二十票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏ノ提出ニ係ル第十三問ヲ左記ニ代フヘシトスル修正案ヲ審議スヘキ旨ヲ宣セリ

條約案中ニハ關係アル使用者又ハ使用者團體ト被備者團體トノ間ノ協約カ存在スル場合ニハ右協約ニ依リ又右協約ノ存在セサル場合ニハ慣習又ハ慣行ニ依リ全體トシテ條約案ノ規定スル處ヨリモ一

層有利ナルカ又ハ少クトモ之ト同様ニ有利ナル就業時間ニ關スル取極メノ適用アル者ニ付條約案ノ規定ノ適用ヲ除外スルコトヲ許容スル條項ヲ包含スルコト望マシト考ヘラルルヤ

此ノ場合ニ於テハ斯ル取極メカ條約案ノ規定スル處ヨリモ一層有利ナルカ又ハ少クトモ之ト同様ニ有利ナルコトヲ確保スル爲如何ナル保障ヲ規定スルコト必要ナリト考ヘラルルヤ

提案者タル「ホールスワース」氏ハ委員會ハ「フォーブス、ワトソン」氏ノ修正案ヲ否決セルヲ以テ質問書中ニ掲ケラルル處ヨリモ一層有利ナル條件ヲ豫想スルノ原則ヲ認メタルモノト云フヘク又多數ノ勞働者ハ特ニ英吉利ニ於テハ既ニ質問書ニ掲ケラルル處ヨリモ一層有利ナル條件ヲ享有シ居リ是等ノ勞働者ノ利益ヲ阻害スヘキ何事ヲモ爲スヘカラスト説キ斯クテ右修正案ハ三十五票對十三票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ羅馬尼亞使用者側代表「アラブー」氏ノ提出ニ係ル「團體協約」ノ次ニ「又ハ地方官廳ノ規則」ナル字句ヲ附加スヘシトスル修正案ヲ審議セルカ右修正案ハ二十七票對二十五票ヲ以テ否決セラレタリ

次テ委員長ハ伊太利勞働者側顧問「ランディ」氏ノ提出ニ係ル第十三問ニ左記ヲ附加スヘシトスル修正案ニ付キ審議スヘキ旨ヲ宣セリ

條約案又ハ勸告ニ規定セラルル處ヨリモ一層有利ナルカ又ハ少クトモ之ト同様ニ有利ナル取極メヲ含ム團體協約カ有効ニ適用セラルヘキコトヲ確保スル爲如何ナル措置カ必要ナリト考ヘラルルヤ

右修正案ハ結局二十七票對二十一票ヲ以テ否決セラレタリ

斯クテ第十三問ハ「ホールスワース」氏ノ提案通り可決セラレタリ

第十四問

委員長ハ第十四問ニ付審議ヲ開始スヘキ旨ヲ宣セリ第一項ニ付テハ何等修正案ノ提出ナカリシヲ以テ右ハ原案通り可決セラレタリ

次テ委員長ハ第二項ニ關スル英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ノ提出ニ係ル左ノ修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

第二項中「若シ然リトセハ一切ノ使用者ハ左ノ事項ヲ要求セラルヘシト考ヘラルルヤ」ヲ削除シ且左ノ字句ヲ附加スルコト

「若シ右ノ措置カ個々ノ勞働者ノ就業時間ニ付テノ規律タルヘシト考ヘラルルナラハ之ニ實際上ノ效果ヲ與フル爲如何ナル規定ヲ提議セラルルヤ

若シ右ノ措置カ企業ノ就業時間ニ付テノ規律タルヘシト考ヘラルルナラハ一切ノ使用者ハ左ノ事項ヲ要求セラルヘシト考ヘラルルヤ」

右ニ對シ獨逸勞働者側顧問「ブールマン」氏ハ反對ノ意見ヲ述ヘ英吉利政府側顧問「レジエット」氏ハ賛成意見ヲ述ヘタルカ採決ノ結果右修正案ハ三十八票對二十一票ヲ以テ否決セラレタリ

次テイ、(ロ)及ハハ委員會ニ依リ異議ナク可決セラレタリ
 次テ委員長ハ瑞西労働者側顧問「パウマン」、白耳義労働者側顧問「クリストフ」、及和蘭労働者側顧問「ナウタ」ノ諸氏ノ提出ニ係ルハ「一切ノ超過時間」ノ次ニ「及支拂ハレタル割増額」ヲ挿入スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣シ「クリストフ」氏ヨリ右提案ノ理由ニ付説明シ第十四問ハ條約案ノ適用ヲ監督スル爲ノ施行措置ニ關スルモノナリ委員會ハ今迄ニ就業時間及例外ノ場合ノ監督ヲ豫見セルカ今ヤ超過時間ニ對スル割増額ノ支拂ニ付テモ監督ノ必要アリ委員會ハ既ニ超過時間ニ對スル割増額ノ支拂ヲ豫見セル質問ヲ可決セルヲ以テ監督ハ斯ル割増額ノ支拂ニ對シテモ適用スヘキナリト述ヘスクテ本修正案ハ「ホールスワース」氏ノ要求ニ基キ英文ヲ一層明瞭ナラシムルコトトシニ十六票對二十五票ヲ以テ可決セラレタリ

次テ委員長ハ英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ヨリ第十四問ノ末項ニ「右ノ措置ハ個々ノ労働者ノ就業時間ニ付テノ規律タルヘキヤ又ハ企業ノ就業時間ニ付テノ規律タルヘシト考ヘラルルヤ」ヲ附加スヘシトスル修正案ノ提出アリタルコトヲ告ケサレト右修正案ハ既ニ「フォーブス、ワトソン」氏ノ個々ノ労働者ノ就業時間ト企業ニ於ケル就業時間トノ間ニ區別ヲ爲スノ修正案カ否決セラレタル以上存在セサルモノト認メラルル旨ヲ述ヘ次テ委員長ハ英吉利労働者側顧問「ホールスワース」氏ノ提出ニ係ル「條約案ニハ其ノ適用ヲ受クル被傭者カ使用セラルル一切ノ場所ノ適切ナル政府ノ監

督ニ付規定スヘシト考ヘラルルヤ」ヲ附加スヘシトスル修正案及獨逸労働者側顧問「プーイルマン」氏ノ提出ニ係ル「條約案ノ實施ノ爲執ルヘキ措置ノ監督ハ被傭者カ代表セラルル公ノ機關ニ依リ行ハルヘシト考ヘラルルヤ」ヲ附加スヘシトスル修正案アルコトヲ告ケ更ニ右二個ノ修正案ハ同一ノ目的ヲ有シ單ニ被傭者ノ代表權ニ關シ異レル處アルニ過キササルヲ以テ先ツ「ホールスワース」氏ノ修正案ヲ表決ニ付シ然ル後ニ「プーイルマン」氏ノ修正案ニ付採決スヘシト宣シ次テ「プーイルマン」氏ハ「公ノ機關」トハ「工場監督」ヲ意味スルコトヲ指摘セル處佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ハ一九二三年ニ採擇セラレタル監督ニ關スル勸告ヲ引用シテ既ニ總會ニ於テ決定セラレタル問題ヲ質問書ニ附加スル必要ナキ旨ヲ述ヘ獨逸使用者側顧問「ヘーフナー」氏モ「ワリーヌ」氏ノ意見ニ賛意ヲ表シタルカ獨逸労働者側顧問「ブロスト」氏ハ工場監督ニ於テ被傭者ノ協力ヲ認ムルコト必要ナリトノ論據ニ基キ修正案ヲ支持シ斯クテ採決ノ結果「ホールスワース」氏ノ修正案ハ二十九票對二十七票ヲ以テ可決セラレ「プーイルマン」氏ノ修正案ハ二十九票對二十四票ヲ以テ否決セラレタリ
 次テ委員長ハ波蘭労働者側顧問「コシンスキー」氏ノ提出ニ係ル第十四問ニ左記ヲ附加スヘシトスル修正案ニ付審議スヘキ旨ヲ宣セリ

「條約案又ハ勸告ノ諸條項ニ從テ採擇セラレタル國內法ノ違反ニ付刑事上ノ制裁ヲ課スヘシト考ヘラルルヤ

是等ノ制裁ハ禁錮及罰金ヲ含ムヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ如何ナル最高限度ヲ提議セラ
ルルヤ

民事上ノ制裁就中左ノモノヲ適用スヘシト考ヘラルルヤ

(イ) 超過時間ニ對スル使用者ノ支拂ニ關スル民事々件ニ付テハ時効ノ期間ハ契約解除後迄開始セサ
ルヘキコト

(ロ) 項ニ掲ケラルル記録カ使用者ノ怠慢ニ依リ保存セラレサリシ場合ニ被備者ヨリ裁判所ニ提出
セル超過時間ノ陳述ハ充分ナル文書上ノ證據ヲ構成スヘキコト

(ハ) 被備者カ其ノ契約ノ解除ノ際署名シタル一切ノ書類ニシテ右被備者カ超過時間ニ關スル支拂ニ
對スル一切ノ要求ヲ拋棄セルモノハ權限アル機關ノ副署アルニ非サレハ無効ナルヘキコト

若シ當該記録ニシテ實際ノ超過時間ノ量ニ合致セサル場合ニハ斯ル記録ノ文書上ノ證據タル性質ヲ
失ハシムル爲右ノ記録ヲ照合シ且其ノ精確サヲ爭フヘキ機會ヲ被備者ニ與フヘシト考ヘラルルヤ

右修正案ニ對シ報告委員ハ條約案又ハ勸告ニ於テハ之ヲ批准シ又ハ實施スル各國政府ヲシテ遵守セシ
ムヘキ規定ヲ設クルコト必要ナク條約ノ適用ニ付テ違反シタル場合ノ制裁ハ平和條約第十三篇ニ規定
アリ「コシンスキー」氏ハ國內法ニ於テ條約ノ違反ノ場合ニ於ケル制裁ヲ規定スヘキコトヲ提案スル
モ若シ右修正案ニシテ採擇セラレンカ使用者ハ國際條約ノ規定ニ從テ各自國ニ於テ處罰セララルコト

ナルヘシ委員會ハ國內的問題ヲ處理スルコトヲ要求セララルモノニ非ス「コシンスキー」氏ニ依テ提
案セラレタルカ如キ案ハ始メテノ經驗ナルカ委員會カ右修正案ヲ討議セントセハ豫メ起草委員會ト協
議スルヲ可トスヘシト述ヘタル處「コシンスキー」氏ハ余ノ修正案ノ討議ハ長引クヘキヲ以テ之ヲ撤
回スヘキモ提案ノ如キ内容ノモノハ將來ノ條約ニ付テ含マレ得サルモノナリヤ否ヤニ付事務局カ考慮
センコトヲ求ムル處アリ委員長ハ右ノ要求ハ國際勞働事務局ニ向テ爲スヘキナリト述ヘタリ
次テ英吉利政府側顧問「レジエット」氏ノ提出ニ係ルハノ次ニ左ノ字句ヲ附加スヘシトスル修正案ノ審
議ニ移レリ

「上記ノ措置カ實行不可能ナルカ又ハ不適當ナル場合ニハ如何ナル措置ヲ提議セララルルヤ」

之ニ對シ報告委員ハ第十四問末項ニテ充分明瞭ナルヲ以テ之ヲ撤回スヘキ旨ヲ述ヘタル處「レジエット」
氏ハ之ヲ諒トシ修正案ヲ撤回セリ

斯クテ修正セラレタル第十四問ハ委員會ニ依リ可決セラレタリ

次テ第十五問モ亦異議ナク原案通り可決セラレタリ

二、委員會報告案ノ審議

委員會ハ六月十九日午前第十二次會議ヲ開催シ報告委員ノ提出セル委員會報告案ヲ審議シ之ニ多少ノ
修正ヲ加ヘタル上可決シ之ヲ總會ニ提出セリ

第二款 委員會決定ノ質問書案

五五六

委員會決定ノ質問書案ハ其ノ儘總會ニ依リ採擇セラレタルヲ以テ其ノ本文ハ茲ニハ之ヲ省略スヘシ

第四節 總會

第一款 總會ノ經過

給料被備者ノ就業時間問題ニ關スル委員會ノ報告ハ六月二十日午後ノ總會第二十四次會議及同二十一日午前ノ第二十五次會議ニ於テ審議セラレタルカ先ツ六月二十四日ノ第二十四次會議ニ於テ委員會委員長「ヂョルダニ」氏ハ報告委員「ジュスタン、ゴダール」氏不在ノ故ヲ以テ之ニ代リ委員會ノ經過概要ヲ説明シ總會カ質問書ヲ採擇センコトヲ希望シタリ

次テ伊太利勞働者側顧問「デ、マルサニチ」氏ハ「ファスシスト」商業使用人組合ノ名ニ於テ總會カ華府時間制條約ノ適用ニ洩レタル者殊ニ被備者ノ就業時間問題ヲ取扱フニ至レルヲ賀シ質問書ノ第十三問ノ團體協約ニ關スル條項ノ重要ナル所以ヲ力説シ伊太利ニ於テ團體協約ニ依リ時間ヲ規律シ満足ナル結果ヲ擧ケ居レル事情ヲ説明シ最後ニ商店従業員ノ就業時間ノ規律ハ開店及閉店ノ時刻ヲ規律セサ

レハ實際上效果ナシ伊太利ニ於テハ之レ又地方ノ事情ヲ考慮シ團體協約ヲ締結スルコトニ依リ成果ヲ收メツツアリト説キ理事會カ近キ將來ノ總會ノ議題トシテ店舗開閉時間ノ問題ヲ上程スル爲勞働事務局ヲシテ研究セシムヘシト結ヘリ

印度使用者側顧問「ムカージ」氏ハ曩ニ本問題ニ關スル總會ニ於ケル一般討議ノ際印度勞働者側顧問「カラッパ」氏カ印度ニ於ケル商業勞働者ハ工業勞働者ニ比シ劣悪ナル状態ニ在リト云ヘルヲ駁シ商業的企業ニ於テ時間ヲ規律シ又最低年齢ヲ定メタル法規ナキハ事實ナルモ八時間ヲ超エテ就業スルモノ少ク又兒童ヲ傭使スルモノ絶無ナリト説キ進ンテ是等ノ企業ニ於テハ従業員ノ休日、賞與、福利資金等ノ制度アリ未タ嘗テ従業員ヨリ不平ノ聲ヲ聞キタルコトナシ印度ノ狀況ヨリ見レハ被備者ノ就業時間ヲ規律スルノ必要ナク印度使用者ハ條約案ノ採擇ニ反對ニシテ否ト答ヘサルヲ得ヌ本問題ハ其ノ影響スル處頗ル廣ク且複雑セルニ鑑ミ國際的處理ヲ爲スニ不適當ナリト認ムル旨ヲ説ケリ

次テ本邦使用者側代表岩崎清七氏ハ曩ニ使用者團カ本問題ヲ將來更ニ研究スヘキニ非スト聲明セル處ヲ支持シ尙委員會ニ於テ意見多岐ニ分レ給料被備者ノ定義ノ如キ少クトモ現在ハ到底満足ナルモノヲ得難キ事實ニ鑑ミ本問題ヲ國際的ニ規律セントスル提案ニハ強硬ニ反對セサルヲ得スト思惟スル旨ヲ述ヘ更ニ本邦ノ特殊事情ニ鑑ミ假令國際的規律カ採擇セララルトモ大多數ノ商業的企業ニ於テハ之ヲ實施スルコト困難ナルヘシト説ケリ

五五七

智利政府側代表「ウツセル」氏ハ質問書ニハ賛成スルモ明年ノ總會ニ於テ提案セラルヘキ條約案ニ付テハ其ノ態度ヲ留保スヘシト述ヘ其ノ理由ハ八時間制ニ反對ナルカ故ニ非ス智利ニハ既ニ給料被傭者ニ付テ八時間制ヲ施行シ居レルヲ以テ格別支障ナキモ質問書ヲ基礎トスル條約案殊ニ「ウルフ」氏ノ提案ノ如ク適用範圍ヲ擴張セルモノヲ批准スルトセハ現在ノ法制ニ比シ各種企業ニ使用セラルル者ヲ包含セシムルコトトナリ到底堪ヘ得ヘキニ非サレハナリト説ケリ

瑞西勞働者側代表「シュルヒ」氏ハ勞働者團カ委員會ニ於テ爲シタル提案ニ關シテハ充分ナル満足ヲ得ラレサリシモ其ノ決定ニ係ル質問書ニ對シテハ賛意ヲ表スルニ吝ナラスト前提シ使用者團ハ本問題ヲ國際的ニ取扱フニ付テ困難アル旨ヲ説クモ華府時間制條約ヲ批准シ之ヲ忠實ニ履行シ居レル國アルコトニ徴スレハ敢テ實行困難ニ非サルヘシトシ次テ勞働事務局作成ノ準備報告書ニ讚辭ヲ呈シタル後委員會決定ノ質問書ハ明年條約案ヲ作成スルニ當リ資スル處大ナルヘシト説キ勞働者團トシテハ之ニ對シ充分ニ満足スルトハ云ヒ難キモ他ノ團體ヨリ修正案ノ提出ナキ限リ委員會案ニ對シ格別修正案ヲ提出スルコトナシト述ヘ總會カ質問書ヲ其ノ儘採擇センコトヲ希望セリ

瑞典勞働者側顧問「ルンドグレン」氏ハ自國ノ商業使用人ヲ代表シテ國際勞働機關カ本問題ヲ取扱フニ至レルヲ欣快ナリトシ瑞典ニ於テハ今日ニ至ル迄使用人ノ就業時間ニ付満足ナル解決方法ニ到達シ居ラス是レ商業使用人ノ團體カ極メテ少ナキコト及使用者團カ常ニ就業時間ニ關スル團體協約ノ締結

ニ對シ反對シ居ルノ事實ニ歸シ得ヘシト説キ曩ニ一般討議ノ際同國政府代表カスル團體協約ノ成立ニ助力スヘシト云ヘルヲ欣ヒ最後ニ本問題カ總會ニ於テ満足スヘキ成果ヲ收メ各國ニ於テ立法セラルルニ至ランコトヲ希望セリ

佛蘭西使用者側顧問「ワリーヌ」氏ハ本問題ヲ明年ノ總會ニ於テ取扱フトセハ甚シキ困難ニ遭遇スヘシト前提シ自國ノ法制ニ付テ見ルモ八時間法施行ノ行政規則ニ於テハ業務ノ種類ニ依リ夫々異レル細則ヲ設ケ居レリ國際條約カ特殊ノ事情ヲ斟酌スルハ至難事ニ屬スト説キ次テ質問書ノ作成ニ當リ勞働者團カ一九一九年華府會議ノ際ニハ監督又ハ秘書ノ性質ヲ有スル地位ニ在ル者ニ付除外例ヲ設クルコトヲ提唱シ乍ラ本年ノ會議ニ於テハ「モージャン」氏ノ提出ニ係ル同様ノ趣旨ノ修正案ヲ拒否セルヲ責メ更ニ委員會ノ決定セル質問書カ曖昧不明瞭ナル點ヲ包含スルヲ遺憾トシ其ノ例トシテ就業時間ヲ定義スルニ當リ單純ナル出勤ト實際ノ勞働トノ區別ヲ明ニセサルコト、質問第八ノ特別ノ取極メニ於テ特殊業務特殊事情ヲ明確ニ斟酌セサリシコト、間歇的勞働ヲ考慮セサリシコト、華盛頓條約第六條(イ)ノ認ムル恒久的例外ヲ認メサリシコト等ヲ擧ケ更ニ質問第十三ノ如ク同等ノ取極メニ依ル例外ヲ許ストキハ國際條約ノ價值ハ大ニ減殺セラルヘシト論シ最後ニ各國政府ノ回答ニ依リ質問書ノ不備ナル點ヲ補足シ一九三〇年ニハ充分ナル情報ヲ得ンコトヲ希望シ尙明年總會ニ於テ考究スルコトノ實際的價值ニ付テハ大ニ疑問ヲ抱クモノナルモ敢テ質問書ニ反對シ又ハ本問題ヲ明年ノ總會ノ議題トス

ルコトニハ反對セサルヘシト結ヘリ

英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ハ本問題ヲ明年總會ノ議題トスルコトニ付テハ別ニ其ノ所見ヲ述フルコトアルヘキモ茲ニハ質問書自體ニ對シ反對スル理由ヲ述フヘシトテ先ツ第五問カ使用者ノ家族ヲ適用ヨリ除外セルノ非ヲ指摘シテ給料被備者ナル語ノ國際的定義ノ不可能事タルコトニ論及シ又就業時間ノ定義ノ不完全ナルコトヲ指摘シテ第十三問ニ於テ團體協約ニ付テ國家ノ監督ヲ認容セルノ非ヲ鳴ラシ過去十年ノ經驗ニ徴スルニ勞働時間問題ノ國際的規律ニ付テハ甚大ナル困難ヲ伴ヘルヲ以テ今質問書ヲ採擇スルモ其ノ結果タルヤ必ス一九一九年時間制條約ノ齎セル處ヲ反復スルニ過キササルヘク質問書ニハ反對投票ヲ爲スノ外ナシト斷シタリ

次テ六月二十一日ノ第二十五次會議ニ於テ葡萄牙政府側代表「ベレイラ」氏ハ事務局原案ノ質問書カ委員會ニ於テ修正ヲ加ヘラレタル爲複雑化セリト述ヘ更ニ各國政府ニ對シ種々ノ定義即チ或ハ被備者或ハ使用者ノ家族、就業時間、損失時間將又一週ノ定義等多岐ニ亘リ質問セルニ驚ケリトシ斯クテハ各國政府ノ回答區々ニ亘リ從テ各條約案又ハ勸告ノ作成ニハ至大ナル困難ヲ伴フヘシト説キサリ乍ラ葡萄牙ハ既ニ華府時間制條約ヲ批准セルヲ以テ本問題ノ國際的解決ニハ賛成スルモノニシテ多大ノ困難ハ伴フヘキモ明年ハ政府、使用者及勞働者共ニ満足スヘキ結果ニ到達センコトヲ希望シタリ尙氏ハ其ノ演說中ニ於テ被備者ノ時間問題ニ關スル自國法制ノ沿革現狀ヲ詳細ニ説明スル處アリキ

印度勞働者側顧問「カラッパ」氏ハ前日ノ總會ニ於テ使用者側顧問「ムカージ」氏カ印度ニ於ケル被備者ハ八時間ヲ超エテ就業スル者ナク又兒童ノ備使セラルル者絶無ナリト云ヘルヲ引用シ同氏ハ被備者ナル語ヲ狹義ニ解シ右ハ組織セラレタル企業ニ於ケル事務員等ノミヲ指シタルモノナランモ之レ妥當ナラス多數ノ商店ニ於テハ就業時間長ク又兒童ノ使用セラルルモノ少カラス然カモ其ノ待遇タルヤ劣惡ノ状態ニ在リ若シ印度ニ於ケル被備者カ果シテ八時間ヲ超エテ就業セストセハ何故ニ質問書ヲ採擇スルニ躊躇スルヤト酬ヒ之ヲ採擇センコトヲ希望セリ

英吉利勞働者側顧問「ホールスワース」氏ハ勞働者團ヲ代表シテ佛蘭西使用者側代表カ質問書ニ反對セサルニ拘ラス自國使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏カ之ニ反對セントスルヲ難シ氏カ瀕リニ定義ノ困難ナル旨ヲ指摘スルモ質問第二ヲ檢スレハ先ツ定義ノ如何ヲ問ヒ若シ定義ヲ下スコト不可能ナル場合ニハ適用スヘキ勞働者ノ種類ヲ列舉シアリ又英吉利政府側代表ノ提案ハ質問書ノ註釋トシテ採用セラレタル等各國政府ヲシテ充分ニ回答セシムルノ途備ハレリトシ定義ノ困難ナルヲ理由トシテ質問書ニ反對スルノ不合理ナルヲ説キ次テ「フォーブス、ワトソン」氏カ第十三問ヲ以テ團體協約ニ對スル國家ノ干涉ナリト云ヘルハ其ノ趣旨ヲ誤解スルノ甚シキモノナリトテ本問ノ趣旨ハ團體協約ニ依リ條約案ノ規定ヨリモヨリ良キ條件ヲ享有スル者ニ對シ條約案ノ規定ヲ適用セサルコトトスルモノニシテ固ヨリ當然ノ規定ナリ團體協約ニ付國家ノ干涉ヲ排除セントスルハ余モ亦「フォーブス、ワトソン」

氏ノ所説ニ賛成スルモノナルモ第十三問ハ決シテ此ノ趣旨ニ出ツルモノニ非ス氏ハ曲解シテ質問書ニ反對シ居レリト指摘シ更ニ氏ハ時間制問題ヲ國際勞働機關カ取扱フハ困難ニ直面スルコト過去ノ經驗ニ徴シテ明カナリト説ケルモ若シ從來ノ時間制條約ニシテ苦キ經驗ヲ有ストセハソハ畢竟英吉利使用者ノ保守的態度ニ基因スルモノニシテ他國ニ於ケル進歩ヲ妨クルモノ亦結局英吉利使用者ノ態度ニ外ナラストテ英吉利使用者カ常ニ否定的主張ヲ爲スヲ非難シ政府、使用者及勞働者ノ協力ノ下ニ眞摯ナル努力ヲ續ケ明年ハ各國政府ヨリノ回答ヲ基礎トシテ本問題ノ解決ヲ圖ラサルヘカラスト説ケリ

斯クテ總會ニハ格別質問書案ニ對シ修正案ヲ提出スル者ナカリシヲ以テ議長ハ質問書案全部ヲ投票ニ問ヘル處九十二票對十五票ヲ以テ採擇セラレタリ

次テ本問題ヲ明年ノ總會ノ議題トスルコトノ可否ニ付表決ヲ行フコトナレル處英吉利使用者側代表「フォーブス、ワトソン」氏ハ之ニ反對投票ヲ爲スヘク其ノ理由ヲ説明スヘシトテ曩ニ六月四日午前ノ總會第八次會議ニ於テ使用者團ノ爲シタル聲明ノ趣旨ヲ繰返シ本問題ハ外國トノ競争上ノ分子少キヲ以テ國際的規律ヲ設クルノ必要無シト説キ又國際的取扱ヲ爲スニハ時期尙早ナルコト一九二八年ニ勞働事務局ヨリ理事會ニ提出セル報告中ニモ記載セラレタル處ナリト指摘シ次テ一般討論ノ際勞働代表ノ爲セル演説ヲ辯駁シテ議長ヨリ一般討論ニ亘ルコトナキ様注意ヲ受ケタルカ更ニ英吉利、瑞典、波蘭等ノ政府代表ノ所説ヲ批評シ最後ニ一九二八年二月理事會ニ於テ本問題ヲ總會ノ議題トスルコトニ決

定シタル當時ノ事情ヲ詳述シ本問題カ偶々本年ノ總會ニ上程セララルルニ至リシ旨ヲ述ヘ總會カ實際的方面ヲ慎重ニ考慮シ本問題ヲ明年ノ總會ノ議題トスルコトヲ否決センコトヲ希望セリ

次テ和蘭政府側代表「ノーレンス」氏ハ質問書ヲ採擇シタル後ハ之ヲ次回總會ノ議題トスルコト通例ナリトテ簡單ニ賛成意見ヲ述ヘ氏名點乎ニ依ル投票ノ結果百三票對十七票ヲ以テ之ヲ明年ノ總會即チ一九三〇年五月ノ總會ノ議題トスルコトト決定シタリ

第二款 總會採擇ノ質問書

給料被傭者ノ就業時間ニ關スル質問書

一、國際勞働總會ハ給料被傭者ノ就業時間ヲ國際的ニ規律スル爲條約案ヲ採擇スヘシトスルコト望マシト考ヘラルルヤ

若シ條約案ニ賛成セラレストセハ勸告ニ賛成セララルルヤ

適用範圍

二、條約案又ハ勸告ノ適用範圍ハ「給料被傭者」ナル語ノ一般的定義ヲ基礎トスヘキモノト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル定義ヲ提議セララルルヤ

若シ「給料被傭者」ナル語ノ充分精確ナル定義ヲ得ルコト不可能ト認メラルルトキハ如何ナル種類ノ勞働者ニ適用範圍ヲ及ホスヘシト考ヘラルルヤ

三、「給料被傭者」ナル語ノ定義ヲ基礎トシ若ハ勞働者ノ種類ヲ基礎トシ又ハ其ノ兩者ヲ基礎トシテ適用範圍ヲ決定スルコト可能ナリト考ヘラルルト否トニ拘ハラス條約案又ハ勸告ハ左記ノ事業ニ使用セラルル一切ノ者ヲ其ノ適用範圍中ニ包含スヘキモノト考ヘラルルヤ

(イ) 一切ノ種類ノ商業的企業 (commercial and trading undertakings) (註一)

(ロ) 工業的タルト同時ニ商業的企業——國內法ニ依リ工業的企業トシテ取扱ハレサル限りニ於テ

(ハ) 従業員カ主トシテ事務所ノ事務ニ従事スル企業(其ノ内ニハ公ノ行政事務ヲ含ム)

(ニ) 病者、病弱者、貧窮者及精神的不適者ノ豫防及治療ノ爲ノ施設

(ホ) 劇場及公衆娛樂場

(ヘ) 旅館、俱樂部、「カフェー」、料理店及其ノ他ノ飲食店

其ノ他如何ナル種類ノ企業ヲ提議セラルルヤ(註二)

四、條約案又ハ勸告ハ企業カ

(イ) 公的タルト私的タルト

(ロ) 世俗的タルト宗教的タルト

(ハ) 營利ノ目的ヲ以テ遂行セラルルト否ト

ヲ問ハス列舉セラレタル種類ノ一切ノ企業ニ之ヲ適用スヘキモノト考ヘラルルヤ

五、使用者ノ家族ノミヲ使用スル企業ハ條約案又ハ勸告ノ適用範圍ヨリ除外セラルヘシト考ヘラルルヤ
「使用者ノ家族」トハ如何ニ解セラルルヤ

六、上掲ノ種類ノ企業ニ使用セラルル職員中若シアラハ如何ナル種類ノ者ヲ條約案又ハ勸告ノ適用範圍ヨリ除外スヘシト考ヘラルルヤ(註三)(註四)
通常ノ就業時間

七、(イ) 最長限ノ決定セラルヘキ就業時間ニ付定義ヲ與フヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ規定セラルヘキ就業時間ハ被傭者カ使用者ノ指揮ニ服スル時間ニシテ且本質問書第十

四(ロ)ニ從テ告知セラレ被傭者カ使用者ノ指揮ニ服セサル休憩時間ヲ含マサルモノト考ヘラルルヤ

若シ然ラストセハ他ノ如何ナル定義ヲ提議セラルルヤ

(ロ) 條約案又ハ勸告ハ其ノ適用アル一切ノ企業ニ於ケル全従業員ニ對シ一般的ノ一週最長就業時間ヲ規定スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ最長限ハ一週四十八時間タルヘシト考ヘラルルヤ

若シ然ラストセハ最長限ヲ幾何ト提議セラルルヤ

「週」ノ定義ハ如何ニ解セラルルヤ 右ハ七日ナリト考ヘラルルヤ

(ハ) 條約案又ハ勸告ニハ平均就業時間カ規定セラレタル通常ノ最長限ヲ超エサルノ條件ノ下ニ一週間ヨリモ一層長キ期間ニ對シ就業時間ノ配分ヲ爲スコトヲ許ス一般の規定ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ如何ナル事情及如何ナル制限ノ下ニ於テナリヤ

(ニ) 右ノ外一日ノ最長就業時間ヲ規定スルコト必要ナリト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ斯ル最長限ハ一日八時間タルヘシト考ヘラルルヤ

若シ然ラストセハ最長限ヲ幾何ト提議セラルルヤ

(ホ) 毎週ノ就業時間ハ一週中ニ於テ半日ノ休日ヲ許容スルカ如ク按排スルコトヲ得ヘシト考ヘラルルヤ

毎週ノ半休日ハ能フ限り週休日ノ直前又ハ直後トシ且週休日ハ能フ限り日曜日トスヘシト考ヘラルルヤ

(ヘ) 四日又ハ五日間ニ於テ一般的ノ一週最長就業時間ノ労働ヲ行フコトヲ許容スヘキヤ

特別ノ取極メ

八、條約案又ハ勸告ハ或ル種ノ業務又ハ或ル種ノ企業ニ使用セラルル者ニ付其ノ一日又ハ一週ノ最長就業時間ヲ通常ノ最長限ヨリモ長ク規定スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル種類ノ業務、如何ナル種類ノ企業ニ付且如何ナル最長限ヲ提議セラルルヤ

九、條約案又ハ勸告ハ或ル種ノ業務又ハ或ル種ノ企業ニ使用セラルル者ニ付其ノ一日又ハ一週ノ最長就業時間ヲ通常ノ最長限ヨリモ短ク規定スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル種類ノ業務、如何ナル種類ノ企業ニ付且如何ナル最長限ヲ提議セラルルヤ

損失時間ノ補充

十、條約案又ハ勸告ハ損失時間ヲ補充スルコトヲ許容スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル事情、如何ナル制限ノ下ニ之ヲ許容スヘキヤ

「損失時間」トハ如何ニ解セラルルヤ

一時的例外

十一、條約案又ハ勸告ハ左ノ場合ニハ一日又ハ一週ノ通常ノ最長就業時間ヲ一時的ニ延長スルコトヲ許容スヘシト考ヘラルルヤ

(イ) 災害及不可抗力ノ場合

(ロ) 損敗シ易キ商品ノ損失ヲ防止スル爲

(ハ) 店卸シ及定期的損益勘定ノ如キ特殊ノ業務

(ニ) 業務カ例外的ニ繁忙ナル場合、「例外的」トハ如何ニ解セラルルヤ

ホ) 若シアラハ他ノ如何ナル事情ノ下ニ

十二、右ノ例外ハ條約案又ハ勸告中ニ於テ如何ナル條件及制限ニ從フヘキヤ
 特ニスル一切ノ例外ハ權限アル機關カ關係使用者團體及被傭者團體ノ存在スル場合斯ル團體ト協議ノ
 上發スル國內規則ニ依リ規定セラルヘシト考ヘラルルヤ

業務カ例外的ニ繁忙ナル場合ニ於ケル超過時間ハヨリ高キ率ニ依リ支拂ハルルヤ 右ハ又一時的例外
 ノ場合ニ包含セラルル他ノ時間ニモ適用スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ條約案又ハ勸告ニ於テヨリ高キ率ヲ規定スルコト必要ナリト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル率ヲ提議セラルルヤ

同等ノ取極メ

十三、條約案中ニハ關係アル使用者又ハ使用者團體ト被傭者團體トノ間ノ協約カ存在スル場合ニハ右
 協約ニ依リ又右協約ノ存在セサル場合ニハ慣習又ハ慣行ニ依リ全體トシテ條約案ノ規定スル處ヨリモ
 一層有利ナルカ又ハ少クトモ之ト同様ニ有利ナル就業時間ニ關スル取極メノ適用アル者ニ付條約案ノ
 規定ノ適用ヲ除外スルコトヲ許容スル條項ヲ包含スルコト望マシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ斯ル取極メカ條約案ノ規定スル處ヨリモ一層有利ナルカ又ハ少クトモ之ト同様ニ有利
 ナルコトヲ確保スル爲如何ナル保障ヲ規定スルコト必要ナリト考ヘラルルヤ

施行

十四、條約案ハ其ノ施行ノ爲執ララルル措置ニ付規定スヘシト考ヘラルルヤ
 若シ然リトセハ一切ノ使用者ハ左ノ事項ヲ要求セラルヘシト考ヘラルルヤ

(イ) 政府ノ承認スル適當ナル方法ニ依リ始業終業ノ時刻ヲ告知スルコト

(ロ) 同様ノ方法ニ依リ就業時間中ニ於テ許容セラルヘキ休憩時間ヲ告知スルコト(右休憩時間ハ就
 業時間ノ一部トシテ計算セラルルコトナキモノトス)

(ハ) 一切ノ超過時間及之ニ關シテ支拂ハレタル割増額ハ國內法ノ承認スル方法ニ依リ之ヲ記録スル
 コト

若シアラハ其ノ他如何ナル措置ヲ提議セラルルヤ

十五、條約案ハ其ノ適用ヲ受クル者カ使用セラルル一切ノ場所ノ適切ナル政府ノ監督ニ付規定スヘシ
 ト考ヘラルルヤ

十六、平和條約第四百八條ノ規定スル年報中ニ記載セラルヘキ事項ヲ指示セル條項ヲ條約案中ニ包含
 スヘシト考ヘラルルヤ

若シ然リトセハ如何ナル事項ヲ提議セラルルヤ

(註一) 「モージャン」氏(白耳義使用者側顧問)ハ本問ニ對シ一修正案ヲ提出セルカ右ハ補遺トシテ質問書ニ添附セラルルコトナレ
 リ其ノ本文左ノ如シ

「商業的企業ニ付テハ如何ナル定義ヲ提議セラルルヤ」

(註二)「ウルフ」氏(英吉利政府側代表)ハ本問ニ對シ一修正案ヲ提出セルカ右ハ補遺トシテ質問書ニ添附セラルコトナレリ其ノ本文左ノ如シ

- (一) 條約案ノ適用範圍中ニハ船舶ノ設計者及検査員、造船技師、分析及調査ヲ行フ化學者、試金家、冶金家、實驗所々員、彫刻師、彫板師等ノ如キ技術的被請者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (二) 條約案ノ適用範圍中ニハ劇場、音樂堂、活動寫真館、展覽會等ノ如キ屋内の娛樂物ニ關聯シテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (三) 條約案ノ適用範圍中ニハ屋外の娛樂物ニ關聯シテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (四) 條約案ノ適用範圍中ニハ政治的結社、工業的、商業的及智的團體、宗教的團體及協會、福利協會等ノ如キ任意的組合ノ職員ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (五) 條約案ノ適用範圍中ニハ書記トシテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ彼等カ使用セラルル例ハ銀行、保險局、株式仲買店、中央又ハ地方官署、商店等ノ如キ種類ノ施設ニ關シ特別規定ヲ設クヘキヤ 若シ然リトセハ如何ナル規定カ必要ナリト考ヘラルルヤ
- (六) 條約案ノ適用範圍中ニハ卸賣及小賣商店並ニ倉庫ニ於テ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ販賣セラルル商品ノ種類ニ依リ特別規定ヲ設クヘキヤ
- (七) 「卸賣及小賣商店並ニ倉庫」ナル用語中ニハ何ヲ包含スヘキモノト解セラルルヤ
- (八) 條約案ノ適用範圍中ニハ一切ノ種類ノ飲食店ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (九) 條約案ノ適用範圍中ニハ旅館及下宿屋ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

- (一) 條約案ノ適用範圍中ニハ保險代理人及巡回注文取以外ノ行商人トシテ使用セラルル者ニシテ(イ)自宅以外ニ事務所ヲ有セサル者(ロ)其ノ他ノ者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (二) 條約案ノ適用範圍中ニハ街頭新聞賣子トシテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (三) 條約案ノ適用範圍中ニハ巡回注文取、調査員、勸誘員トシテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (三) 條約案ノ適用範圍中ニハ(イ)一個人ニ屬シ又ハ(ロ)一切ノ會員ニ屬スル俱樂部ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (四) 條約案ノ適用範圍中ニハ教育施設ニ於ケル教師ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (五) 條約案ノ適用範圍中ニハ記者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (六) 條約案ノ適用範圍中ニハ圖書館員ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (七) 條約案ノ適用範圍中ニハ「フィルム」製作者及分配業者ニ依リ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (八) 條約案ノ適用範圍中ニハ辯護士、建築師、醫師、競賣人、會計士等ノ如キ専門家ニ依リ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ

- (元) 條約案ノ適用範圍中ニハ病院、醫院、療養所、心的治療施設、救貧法施設等ニ於テ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (三) 條約案ノ適用範圍中ニハ個人ノ私宅ニ於テ看護人及助産婦トシテ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (三) 條約案ノ適用範圍中ニハ競馬ノ厩番及騎手ヲ含ム遊技協會ノ職員及競技者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (三) 條約案ノ適用範圍中ニハ非儀屋ニ依リ使用セラルル者ヲ包含スヘシト考ヘラルルヤ 若シ然リトセハ當該部類ニ對シ特別規定ヲ設クヘシト考ヘラルルヤ
- (註三) 「ファイルマン」氏(獨逸労働者側顧問)ハ本問ニ對シ一修正案ヲ提出セルカ右ハ補遺トシテ質問書ニ添附セラルルコトナレリ 其ノ本文左ノ如シ
- 「企業、法人又ハ其ノ他ノ集團ノ管理人又ハ法律上ノ代表者タル地位ニ在ル者ハ條約ノ適用範圍ヨリ除外スヘシト考ヘラルルヤ」
- (註四) 「モージャン」氏(白耳義使用者側顧問)ハ本問ニ對シ一修正案ヲ提出セルカ右ハ補遺トシテ質問書ニ添附セラルルコトナレリ 其ノ本文左ノ如シ
- 「秘書、管理又ハ監督ノ性質ヲ有スル地位ニ在ル者ハ除外スヘシト考ヘラルルヤ」

第三編 正式會議事項以外ノ諸問題

第一章 失業問題ニ關スル審議

第一節 序 說

國際勞働事務局ハ第三十八回勞働理事會ノ決議ニ從ヒ且一九二二年及一九二四年ノ總會ニ提出セル報告ノ續キトシテ失業ニ關スル一般報告ヲ本總會ニ提出セルカ之ト同時ニ他方瑞西勞働者側代表「シユルヒ」氏及白耳義勞働者側代表「メルテンス」氏ハ本總會ノ開會ニ際シ夫レ夫レ失業問題ニ關シ決議案ヲ提出スル處アリタリ事務局ノ報告ノ大要並ニ「シユルヒ」氏及「メルテンス」氏ノ決議案ノ本文左ノ如シ

事務局報告ノ大要

事務局ノ報告ハ序論、第一章、第二章及第三章ヨリ成ルカ序論ニ於テハ本報告ハ第三十八回理事會ノ決議ニ從ヒ提出スルモノナリトシ次ニ資料ニ關シ各國政府ヨリ失業及之ニ對スル措置ニ關スル一切ノ資料ヲ漸次頻繁ニ且漸次規則正シク受理シツツアリ從テ各國ハ他國ニ於ケル失業問題ノ諸相及之カ對

策ニ付漸次情報ヲ得ツツアリトシ次ニ保險制度ニ關シ強制失業保險制度ハ八箇國ニ於テ實施セラレツツアリ尙任意保險制度ヲ採用シツツアル其ノ他ノ國ニ於テモ若干ノ國ハ強制保險制度ヲ計畫中ナルカ本報告ニ於テハ敢テ失業保險問題ヲ取扱ハサルヘシトシ次ニ公營職業紹介制度ニ關シ國際的協力ノ問題ハ勞働ノ國際的移動テフ一層一般の問題ノ一方面トシテ本報告ニ於テ考慮スルコトトセリトシ次ニ公共事業ノ組織ニ關シ目下各國ヨリノ報告ヲ取纏メ中ニテ近ク發表ノ豫定ナリトシ次ニ季節的失業ニ關シ之カ調査ノ結果ハ既ニ國際勞働時報ニ發表シタリトシ尙本報告ハ第一ニ貨幣價值ノ變動ノ影響及第二ニ特殊産業ニ於ケル雇傭及業務上ノ活動ノ正常性ニ影響ヲ及ホス事情ニ付テ研究シタリトシ最後ニ本報告ハ勞力ノ國際的配分問題ニ關スル若干ノ資料ヲ提供シタリトシ第一章ニ於テハ失業ト貨幣價值ノ變動ナル題目ノ下ニ物價ノ騰落ト失業トハ密接ナル關係アルコトヲ物價指數ト失業統計トニ依リ具體的ニ指摘シ更ニ之ニ關シ提案セラレタル種々ノ措置ニ付説明シ第二章ニ於テハ石炭業及纖維業ニ於ケル失業ナル題目ノ下ニ石炭業及纖維業ニ於ケル雇傭狀況ニ付生産ト消費トノ關係ヨリ各國ニ付統計ヲ舉ケテ檢討シ第三章ニ於テハ失業ト國際的移住ナル題目ノ下ニ經濟狀態ノ移住ニ及ホス影響、移入民國ニ於ケル事情、移出民國ニ於ケル事情及移民ニ關スル方策等ニ付テ論セリ

「シュルヒ」氏ノ決議案

失業問題ニ關シ國際勞働事務局ヨリ提出セラレタル報告ヲ考慮シ

- (一) 「金ノ購買力ノ變動ノ諸原因及其レカ國民ノ經濟生活ニ及ホス影響ヲ調査スル爲」國際聯盟理事會カ其ノ財政委員會ト協同シテ專門家委員會ヲ設置スルコトトセル決議ヲ歡迎ス
- (二) 事務局ニ對シ左ノ通り懲慥ス
 - (イ) 右專門家委員會ニ於テ貨幣價值ノ變動カ勞働者ノ經濟的地位ニ及ホス影響ヲ調査スルニ當リ之ニ援助ヲ與フルコト
 - (ロ) 貨幣價值ノ變動カ勞働者ノ雇傭ノ安定ニ及ホス影響ニ關シ既ニ調査シタル結果ヲ右委員會ニ通告スルコト
 - (ハ) 貨幣價值ノ變動カ勞働者ノ生活標準、其ノ能率、其ノ勞働時間、使用者及勞働者間ノ關係並ニ勞働保護ニ關スル法制ノ一般發達等ニ及ホス影響ニ關シ更ニ調査ヲ行フコト
 - (三) 國際勞働事務局ノ理事會ニ對シ炭坑及纖維業ニ於ケル勞働者ノ失業ヲ緩和スル爲適當ト思惟セラルヘキ國家的又ハ國際的措置ノ採擇ヲ實現スル最善ノ方法ヲ研究センコトヲ懲慥ス
 - (四) 事務局ニ對シ失業問題ニ關スル其ノ調査ヲ繼續シ以テ他ノ産業特ニ機械工業ニ及ホサンコトヲ懲慥ス
 - (五) 事務局ノ報告中勞働者ノ國際的移住ニ關スル部分ヲ理事會及其ノ常設移民委員會ニ回附シ且特

ニ華盛頓總會ニ依リ失業ニ關スル勸告中ニ於テ處理セラレ然カモ近キ將來ノ總會ニ於テ一層充分ニ再審議スヘキ外國人労働者ノ募集及就職問題ニ付テ理事會及其ノ常設移民委員會ノ注意ヲ喚起ス「メルテンス」氏ノ決議案

「國際労働總會ハ國際労働事務局ニ依リ準備セラレタル失業ニ關スル報告ヲ考慮シ曠夫ノ失業問題ヲ一九三〇年ノ總會ノ議題ニ掲クルコトヲ決議ス」

仍テ總會ニ於テハ先ツ三十六名ノ委員會ヲ設ケ右委員會ヲシテ上記ノ事務局ノ報告及決議案ヲ審議セシメタリ

第二節 委員會

第一款 委員會ノ經過

失業委員會ハ六月一日ヨリ六月十三日ニ亘リ前後八回ノ會議ヲ開キ先ツ一般討議ヲ爲シタル後「シュルヒ」及「メルテンス」ノ兩氏ヨリ提出セラレタル二個ノ決議案ヲ基礎トシテ審議ヲ進メタル結果一個ノ決議案ヲ可決シ更ニ最後ニ總會ニ提出スヘキ委員會報告ヲ審議シ異議ナク之ヲ可決シタリ

(一) 一般討議

本委員會ハ開會スルヤ否ヤ役員ノ選舉ヲ行ヒタル處印度政府代表「バランジビー」氏委員長兼報告委

員ニ、獨逸使用者側代表「フォーゲル」氏及英吉利労働者側顧問「フィンドレー」氏副委員長ニ夫レ夫レ選任セラレタリ

一次ニ委員長ハ本委員會ハ條約案又ハ勸告ヲ議スルモノニ非サルヲ以テ他ノ委員會ト性質ヲ異ニスルコトヲ指摘シ更ニ本委員會ハ一方ニハ事務局ノ提出セル報告ヲ他方ニハ「シュルヒ」氏ノ提出ニ係ル決議案及「メルテンス」氏ノ提出ニ係ル決議案ヲ有スルカ委員會ハ此等ノモノヲ討議ノ基礎トスルヲ可トスト提案シ波蘭政府側顧問「ウオイシキ」氏モ亦最モ便利ナル方法ハ「シュルヒ」氏及「メルテンス」氏ノ決議案ヲ討議ノ基礎トスルニ在リト述ヘ斯クテ右ノ提案ハ採擇セラレタリ

尙ホ委員長ハ本委員會ノ討議ハ獨逸語ニモ翻譯スヘシトノ要求ヲ受ケタル旨ヲ述ヘ結局右ノ要求ハ可決セラレタリ

次テ委員長ハ本委員會ハ事務局提出ノ報告並ニ「シュルヒ」氏及「メルテンス」氏提出ノ決議案ノ審議ニ付如何ナル手續ヲ採ルヘキヤヲ決定スルノ要アリトシ報告ヲ全體トシテ審議スヘキヤ又ハ上記二箇ノ決議案並ニ「ギブソン」及「ジョシ」ノ兩氏ノ提出ニ係ル一決議案ト同時ニ報告ノ各章ヲ別々ニ審議スヘキヤト質シ「ギブソン」及「ジョシ」兩氏ノ提案ニ係ル決議案ハ失業問題ニ付一般討議ヲ爲ス爲總會本會議ニ於テ一日ヲ費スヘシトスル案ナリト説明セリ

英吉利政府側顧問「ブランドン」氏ハ最モ便利ナル方法ハ報告ノ各部ト「シュルヒ」氏及「メルテンス」

氏ノ決議案ノ之ニ相當スル部分トヲ同時ニ審議スルニ在リト述ヘ愛蘭政府側代表「フーガソン」氏ハ本報告ハ専門家ノミカ有效ニ研究シ得ルモノナリ尙ホ「シュルヒ」氏ノ決議案ハ單ニ或ル種ノ問題ヲ他ノ國際機關ニ附議スヘキコトヲ提案セルニ過キササルハ遺憾ナリ但シ「シュルヒ」氏ノ決議案ノ第三點即チ理事會ニ對シ石炭業及纖維業ニ於ケル失業緩和ノ最善策ヲ研究スルコトヲ懲慥セル點ハ實際的提案ニシテ此ノ點ニ關シテハ委員會ハ其ノ意見ヲ發表スヘキナリトシ最後ニ委員會ハ失業問題ニ關スル一般討議ヲ行フヘキナリト述ヘ次テ獨逸使用者側代表「フォーゲル」氏ハ使用者側ハ本問題ニ關スル一般討議ニ賛成ナリトシ更ニ「シュルヒ」氏ニ對シ其ノ決議案ノ提出理由ヲ説明センコトヲ希望セル處「シュルヒ」氏ハ余ノ決議案ハ報告ノ主要ナル部分ニ注意ヲ促シ且或ル種ノ方面ニ於テ一層ノ研究ヲ爲スヘキコトヲ提案セルモノナリト述ヘ次テ濠洲勞働者側代表「ギブソン」氏ハ失業問題ノ重大ナルコトヲ力説シ濠洲ハ大ナル天然資源ヲ有スル國ナルカソレテモ勞働者ノ十三「パーセント」ハ失業者ナリトシ總會ハ失業ト戰フノ問題ノ特殊方面ニノミ其ノ注意ヲ限定セス右ノ問題ヲ全體トシテ觀察スル要アリサレハ總會ニ於テハ一日此ノ問題ニ付一般討議ヲ爲スヘシトノ決議案ヲ提出シタルナリ尙斯ル討議ハ失業救濟策ニ付明カニスル處アランコトヲ希望ストシ更ニ共產主義者ニ依レハ資本主義制度ハ失業問題ヲ解決スル能力ナシト非難セルヲ以テ總會ハ本問題解決ノ爲凡ユル方法ヲ調査スルコトニ深甚ノ注意ヲ拂フヘキナリト述ヘタリ

次テ瑞典政府側顧問「スジェストランド」氏ハ一般討議ハ極メテ必要ナルヘシト思惟ス報告ハ特ニ貨幣價值ノ變動ト失業トノ關係ニ付事實上ノ幾多ノ觀察ヲ包含セリ一時ハ爲替相場ノ安定ハ經濟狀態ヲ改善シ失業ヲ減少セシムヘシトノ意見行ハレタリ然レトモ此ノ意見ハ事實ニ依リテ立證セラレサリキサレハ他ノ方面ニ於テ調査ヲ行フコト必要ナリトシ更ニ失業ノ程度ハ各國ニ於テ異リ例ハ北歐諸國ハ失業多キニ佛蘭西ノ如キハ斯ル困難ナシサレハ斯クノ如ク各國ニ依リ異ル原因ヲ研究スルコト望マシト述ヘ次テ英吉利政府側顧問「ブランダン」氏ハ本委員會ハ討議ノ手續即チ報告ハ全體トシテ討議スヘキカ又ハ各章ヲ別々ニ審議スヘキヤヲ決定セサルヘカラスト述ヘタル處委員長ハ今迄ノ如キ意見ノ交換ハ有益ナルヘシト思惟スル旨ヲ述ヘ「ブランダン」氏ハ委員長ノ意見ニ賛成ナルモ後日報告ノ各章ニ付若干ノ意見ヲ開陳スルノ權利ヲ留保セントスト述ヘタリ

次テ伊太利政府側顧問「アンセルミ」氏ハ本委員會及總會ハ「シュルヒ」氏ニ依リ提出セラレタル決議案中ニ指示セラルル事項特ニ第二項ハニ付研究スヘキナリトシ更ニ伊太利ニ於テハ失業ト戰フ爲若干ノ措置ヲ採用シタルカ右ハ他國政府ニ益スル處アルヘク同様ニ他國ニ於ケル措置ハ伊太利ニトリテ極メテ有益ナルヘシ調査ハ各方面ニ亘リ爲スヘキモノナリト述ヘ和蘭使用者側顧問「コルト、ヴァン、デル、リンデン」氏ハ事務局報告ハ失業問題ヲ經濟的方面ヨリモ寧ロ社會的方面ヨリ研究スヘカリシモノナリト思惟ス尙事務局ハ問題ヲ全體トシテ研究セス三個ノ特殊ノ點ニ限定シ他ノ重要ナル方面ヲ考慮

セサリシハ遺憾ナリトシ更ニ失業ヲ減少シ又ハ排除スル爲ニハ生産ヲ増加シ生産費ヲ減スルコトニ依リテ使用者ノ活動ヲ擴大スルコト必要ナリ失業ハ賃銀カ比較的ニ高キ國ニ多ク賃銀カ比較的ニ通常ノ平準ニ在ル國ニ於テハ消滅スルノ傾向アルハ注意スヘクサレハ失業ハ生産費ノ高キ國ニ於テ増加スル傾向アルモノト結論スルコトヲ得ヘシトシ尙ホ討議ノ基礎トシテ事務局報告ヲ採ルヘク又失業問題ノ一般的研究ヲ可ナリトシ最後ニ事務局報告ハ石炭「トラスト」ノ類ノ設立ヲ勸告シタルカスル方法ハ石炭ノ價格ヲ増加シ惹イテハ他國ノ生産費ヲ増加シ失業ヲ増加スルノ結果トナルヘシト説キタリ獨逸勞働者側顧問「クライル」氏ハ總會カ失業問題ニ對スル解決案ヲ見出サンコトヲ希望シ爲替相場ノ變動ハ失業ノ最モ重大ナル原因ナリトシ更ニ委員會ハ失業ノ各種原因ヲ探求スヘシト述ヘ英吉利勞働者側顧問「フィンドレー」氏ハ委員會ハ失業防止ノ爲凡ユル方法ヲ研究スヘシトシ更ニ各國政府ハ失業防止ノ爲更ニ積極的措置ヲ執ラサルハ遺憾ナリ英吉利ニ於ケルカ如ク或ル種ノ手段ハ執ラレタルモ失業ハ依然トシテ存續セリ失業勞働者ノ移住ヲ獎勵スルコトハ可能ナル一救濟策ナルカ右ハ單ニ小規模ニ於テ可能ナルコトカ立證セラレタリ貨幣政策ト失業トノ關係ハ未タ充分ニ研究セラレサレハ「シュルヒ」氏ノ決議案ハ此ノ問題ニ付一層ノ調査ヲ提案スルコトニ於テ都合好シトシ次テ失業ニ對シテ執ルヘキ措置ノ問題ハ特ニ石炭業及纖維業ニ於テ産業組織ノ改革問題ヲ惹起セルカスル改革ヲ計畫スルニ當リテハ特ニ合理化カ失業ヲ増加セシムルノ事實ニ鑑ミ勞働者トモ協議スヘキコト必要ナリト

シ尙八時間労働、六十才以上ノ者ニ對スル養老年金及學校卒業年齢ノ延長等ノ問題ハ失業問題ニ關聯シ本委員會ニ於テ考究スル價值アリト述ヘタリ

次テ事務局専門家「フス」氏ハ事務局報告ニ關シ「コルト、ヴァン、デル、リンデン」氏カ指摘セル二點ニ付簡單ニ回答セントスト前提シ失業ハ其ノ結果ニ於テハ社會的ナルモ同時ニ其ノ原因ニ於テハ經濟的ナリ其ノ結果ニ處スル爲ニハ失業保險ニ若クモノナキモ理事會ハ失業保險問題ヲ本總會ノ議題ニ掲クルコトヲ決定セサリシヲ以テ事務局ハ此ノ純然タル社會的問題ヲ度外視セサルヲ得サリキ次ニ事務局カ問題ヲ特殊ノ方面ノミニ限定シタル理由ニ關シテハ事務局ハ此等ノ點ニ付充分ナル資料ヲ所持シ居タルカ爲ナリトシ更ニ本委員會及總會ハ單ニ失業問題ニ付決議ヲ可決シ得ルニ過キス且其ノ決議ハ事務局ニ對シ乃至國際聯盟ノ他ノ機關ニ發スルモノニ過キスト述ヘ英吉利政府側顧問「ブランドン」氏ハ事務局報告ハ或ル特殊ノ方面ノミヲ取扱ヘルヲ以テ事務局ハ尙一層ノ研究ヲ要ストシ更ニ本委員會ハ報告ヲ詳シク研究スルノ地位ニナク唯タ報告ノ主要ナル點ヲ研究スヘキナリト述ヘ印度勞働者側顧問「セテイ」氏ハ印度ニハ失業多キモ失業保險制度ナク單ニ飢饉法ニ依リ僅カナル救濟方法ヲ設クルニ過キス尙ホ合理化ハ特ニ鑛山ニ於テ失業ヲ惹起シタリトシ事務局報告カ印度ノ事情ヲ一層廣汎ニ傳ヘサリシコトヲ遺憾トスル旨ヲ述ヘ波蘭勞働者側代表「スチユスキ」氏ハ廣汎ナル失業ハ大戰爭中ニ於ケル生産ノ激増ノ結果トシテ生シタルナリ現在ニ於テハ信用ノ欠缺、電力ノ如キ新方法ノ採用等ハ

失業増加ノ原因ナリトシ更ニ佛蘭西ニハ失業比較的ニ尠キモ右ノ事實ハ同國ニ於ケル人口ノ稀薄ニ歸スルコトヲ得ヘシトシ人口ノ濃度ト失業トノ關係ニ付調査スルヲ要スルコトヲ述ヘ獨逸使用者側代表「フォーゲル」氏ハ失業ハ絶エス其ノ原因ニ於テ層一層複雑トナリ其ノ救済ニ於テ層一層困難トナリツツアリ救済方法ニ付テハ各國政府カ積極政策ヲ採ルヘキナリトシ更ニ失業ハ資本主義制度ニ伴フモノナリトノ説ハ露西亞ニ失業者多キヲ見テモ成立セサルモノナリトシ最後ニ本委員會ノ討議ハ「シュルヒ」氏ノ決議案ニ付行フヲ可トスト述ヘタリ

次テ丁抹使用者側顧問「エーステルベルグ」氏ハ報告ハ主トシテ物價ト失業トノ關係ヲ述ヘタルモ失業ハ多クノ要素ヲ有スルコトヲ述ヘ波蘭政府側顧問「ウオイシキ」氏ハ本委員會ハ或ル實際的結論ニ達スル様努力カスヘク即チ本問題ノ性質ヲ明カニシ事務局ニ對シ原因及救済方法等ノ研究ヲ要求スヘキモノナリトシ更ニ「シュルヒ」氏及「メルテンス」氏ノ決議案ハ有益ナル討議ノ基礎ヲ成スヘク從テ委員會ハ直ニ是等ノ決議案ニ付考究スヘキナリト述ヘ和蘭使用者側顧問「コルト、ヴァン、デル、リンデン」氏ハ事務局報告ニ付討議ヲ繼續スルヲ有益ナリトシ更ニ報告ハ失業問題ニ付其ノ經濟的方面ヲ論セルモ右ハ殆ト權限外ノ事項ニシテ失業ノ社會的方面ニ付テノミ大ナル注意ヲ拂フヘカリシナリトシ尙ホ報告ハ一般物價ハ生産ト支拂方法トノ關係ニ依リ決定セラルルモノトセルモ尙他ニ原因アルコトヲ述ヘ事務局専門家「フス」氏ハ「コルト、ヴァン、デル、リンデン」氏ノ所説ニ對シ報告カ經濟的方面ニ亘

リタル由來ヲ述ヘ更ニ物價ト失業トノ關係即チ物價下落スレハ失業増加ストノ結論ハ正當ナリト述ヘタリ

茲ニ於テ洪牙利労働者側顧問「トブラー」氏ハ一般討議ヲ止メ「シュルヒ」氏及「メルテンス」氏ノ提出ニ係ル決議案ニ付詳細ニ討議スヘシト述ヘタル處「シュルヒ」氏之ニ賛成シ次テ委員長ハ今迄各委員ノ述ヘタル意見ヲ一括シテ結論ヲ與ヘ最後ニ次會ヨリ「シュルヒ」氏及「メルテンス」氏ノ提出ニ係ル決議案ノ審議ニ移ルヲ可トスル旨ヲ述ヘタリ

(一) 「シュルヒ」氏及「メルテンス」氏提出ノ決議案ノ審議

「シュルヒ」氏提出ノ決議案ノ前文及第一項

前文ニ付テハ別ニ異議ナク第一項ニ付テハ英吉利使用者側顧問「カーカルデイ」氏ヨリ「歡迎ス」ヲ「記録ス」ニ代フヘシトセルカ結局「カーカルデイ」氏ハ右ノ修正案ヲ撤回シ斯クテ第一項ハ原文ノ儘滿場一致可決セラレタリ

同第二項

第二項(イ)ニ付テハ獨逸使用者側代表「フォーゲル」氏ヨリ「之ニ援助ヲ與フルコト」ヲ「意ノ儘トナルコト」トスヘシトノ修正案出テタルモ右ハ十七票對九票ヲ以テ否決セラレ斯クテ第二項(イ)ハ原文ノ儘滿場一致ヲ以テ可決セラレ第二項(ロ)ニ付テハ別ニ議論ナク原文ノ儘滿場一致ヲ以テ可決セラレ第二項